

平成 28 年度
生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業
事業実績報告書

平成 29 年 2 月

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

目次

はじめに	1
第1章 研修の概要	2
◆自立相談支援事業従事者養成研修	2
1 研修の目的および種類	2
2 プログラムの概要 日程表、会場	2
3 職種別の受講パターン	24
4 受講対象者	24
5 受講者定員	25
6 テキスト	25
7 申込みから受講、修了までの流れ	25
8 修了証書の交付	26
◆就労準備支援事業従事者養成研修	27
1 研修の目的および種類	27
2 プログラムの概要 日程表、会場	27
3 受講対象者	31
4 研修の受講定員	31
5 テキスト	31
6 申込みから受講までの流れ	32
7 修了証書の交付	32
◆家計相談支援事業従事者養成研修	33
1 研修の目的および種類	33
2 プログラムの概要 日程表、会場	33
3 受講対象者	41
4 研修の受講定員	42
5 テキストおよびノートパソコン	42
6 申込みから受講までの流れ	42
7 修了証書の交付	42
◆都道府県研修に係る担当者研修	43
1 研修の目的および種類	43
2 プログラムの概要 日程表、会場	43
3 受講対象者	45
4 研修の受講定員	45
◆全研修の受講者数と修了者数	46
◆全研修の修了者の傾向	49

第2章 研修内容の企画	70
1 企画委員会の概要	70
2 企画に係る委員会・部会の実施状況	72
3 個別打合せの実施状況	73
第3章 研修内容の詳細	75
1 【前期】共通カリキュラム 養成研修	75
2 【後期】主任相談支援員養成研修	82
3 【後期】相談支援員養成研修	94
4 【後期】就労支援員養成研修	118
5 就労準備支援事業従事者養成研修	128
6 家計相談支援事業従事者養成研修	136
7 都道府県研修に係る担当者研修	145
第4章 受講者からの評価	147
1 【前期】共通カリキュラム 養成研修	147
2 【後期】主任相談支援員養成研修	150
3 【後期】相談支援員養成研修	151
4 【後期】就労支援員養成研修	153
5 就労準備支援事業従事者養成研修	154
6 家計相談支援事業従事者養成研修	155
7 都道府県研修に係る担当者研修	157
第5章 研修の評価	158
1 本研修の特色	158
2 成果と課題	160
第6章 業務の運営	168
1 受け入れから実施報告までのスケジュール	168
2 実施体制	169
付録	170
1 開催要項	
2 修了証書（ひな形）	

はじめに

平成 27 年 4 月より生活困窮者自立支援制度が施行され、全国の福祉事務所設置自治体が主体となって、官民協働による地域の支援体制を構築し、各支援事業が実施されている。

各支援事業の実施にあたっては、対象者の多様で複合的な課題に対応した包括的かつ継続的な支援が求められる。そこで、生活困窮者支援の理念を適切に理解し、高い支援技術を有する支援員を全国的に確保するため、国が計画的な養成研修を行うことになっている。

このたび、国研修「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業」を全国社会福祉協議会が受託実施する運びとなり、企画・運営委員会および企画部会を設置のうえカリキュラムを検討し、研修会を開催した。本年度は、昨年度に引き続き、自立相談支援事業従事者養成研修、就労準備支援事業従事者養成研修、家計相談支援事業従事者養成研修の 3 事業を対象とした研修に加え、都道府県研修推進を目的に都道府県研修に係る担当者研修を実施した。

全研修の方針として、制度の理念や事業の基本的な考え方を伝え、国として支援員に求められる力量（レベル）を教示した。そして、受講者の研修ニーズを考慮した実践的な視点を取り入れた研修を実施している。

本会では、関係者の参考に供するべく、研修の実施状況を記録として整理するとともに、研修事業の評価について言及した本報告書を作成した。今後の支援員養成の一助になれば幸いである。

平成 29 年 2 月
社会福祉法人 全国社会福祉協議会

第1章 研修の概要

◆自立相談支援事業従事者養成研修

1 研修の目的および種類

生活困窮者の自立を促進するため、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の評価・分析、自立支援計画(以下「プラン」という。)の策定、プランに基づく各支援の提供をはじめ、地域の関係機関とのネットワーク構築、社会資源の活用・開発等を行うため、相談及び就労等の支援技術を習得することにより、自立相談支援事業に従事する者の資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成27年度より施行された生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業において配置される主任相談支援員、相談支援員、就労支援員それぞれを対象とした3種の養成研修を実施した。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研修名	日程	会場
【前期】共通カリキュラム	【第1回】6月16日(木)~6月18日(土)	全社協・灘尾ホール
	【第2回】7月19日(火)~7月21日(木)	全社協・灘尾ホール
	【第3回】8月31日(水)~9月2日(金)	全社協・灘尾ホール
【後期】主任相談支援員養成研修	8月17日(水)~8月19日(金)	全社協・中央福祉学院
【後期】相談支援員養成研修	【第1回】10月5日(水)~10月7日(金)	全社協・中央福祉学院
	【第2回】11月30日(水)~12月2日(金)	大阪市内
【後期】就労支援員養成研修	12月7日(水)~12月9日(金)	全社協・中央福祉学院

<会場>

【前期】全国社会福祉協議会 灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

【後期】全国社会福祉協議会 中央福祉学院

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL 046-858-1355 FAX 046-858-1356

【後期】OMM Cホール（【後期】相談支援員養成研修【第2回】のみ）

〒540-6591 大阪府中央区大手前 1-7-31

TEL 06-6943-2020 FAX 06-6943-2021

【第1回】【前期】共通カリキュラム

日 程 表

【第1日目】6月16日（木）

時 間	科 目	講 師
8:15～ 9:00	受 付	
9:00～ 9:10	オリエンテーション	
9:10～ 9:20	厚生労働省挨拶、主催者挨拶	
9:20～ 9:30	アイスブレイク	
9:30～10:30 (60分)	【講義①】 生活困窮者支援の基本的考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 本後 健 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:40 (60分)	【講義②】 自立相談支援事業の目的、支援の流れ	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏
11:40～12:40 (60分)	昼食・休憩	
12:40～14:10 (90分)	【講義③】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 由美子 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏 野洲市役所 市民生活相談課 主任 宇都宮 誠実 氏
14:10～14:25	休 憩	
14:25～18:10 (休憩 15分) (研修 210分)	【講義と演習④】 支援員に求められる倫理・基本姿勢を支える人材育成と職場づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
18:10～18:30 (20分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
18:30～18:50	交流会会場へ移動	
18:50～19:50 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】6月17日（金）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～ 9:00	開 場		
9:00～12:00 (休憩 15分) (研修 165分)	【講義と演習⑤】 相談支援の展開	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏	
12:00～13:00 (60分)	昼食・休憩		
13:00～16:15 (休憩 15分) (研修 180分)	【講義と演習⑥】 就労支援の考え方と実施 方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏	A' ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター) 就労支援室 室長 西岡 正次 氏 社会福祉法人 光明会 社会貢献部長 山本 樹 氏
16:15～16:30	休 憩		
16:30～17:20 (50分)	【講義と演習⑦】 生活困窮者支援に必要と 考えられる視点① 一発達障害者への支援の あり方一	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 日詰 正文 氏	
17:20～17:40 (20分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】6月18日(土)

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～ 9:00	開 場		
9:00～14:00 (休憩 15分) (昼食 60分) 11:40～12:40 (研修 225分)	【講義と演習⑧】 生活困窮者支援に必要と 考えられる視点② 一対象者の特性を踏まえ た支援のあり方一	日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 名古屋市仕事・暮らし自立 サポートセンター大曽根 自立相談支援員 鈴木 美登里 氏 神奈川県立田奈高等学校 キャリア支援グループ 総括教諭 金澤 信之 氏
14:00～14:15	休 憩		
14:15～17:10 (休憩 15分) (研修 160分)	【講義と演習⑨】 生活困窮者支援を通じた 地域づくり	ルーテル大学 名誉教授 和田 敏明 氏	豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 長野県社会福祉協議会 主事 山崎 博之 氏
17:10～17:30 (20分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【第2回】 【前期】 共通カリキュラム

日 程 表

【第1日目】 7月19日（火）

時 間	科 目	講 師
8:15～ 9:00	受 付	
9:00～ 9:10	オリエンテーション	
9:10～ 9:20	厚生労働省挨拶、主催者挨拶	
9:20～ 9:30	アイスブレイク	
9:30～10:30 (60分)	【講義①】 生活困窮者支援の基本的考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 本後 健 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:40 (60分)	【講義②】 自立相談支援事業の目的、支援の流れ	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏
11:40～12:40 (60分)	昼食・休憩	
12:40～14:10 (90分)	【講義③】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 由美子 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏 野洲市役所 市民生活相談課 主任 宇都宮 誠実 氏
14:10～14:25	休 憩	
14:25～18:10 (休憩 15分) (研修 210分)	【講義と演習④】 支援員に求められる倫理・基本姿勢を支える人材育成と職場づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
18:10～18:30 (20分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
18:30～18:50	交流会会場へ移動	
18:50～19:50 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】7月20日（水）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～ 9:00	開 場		
9:00～14:00 (休憩 15分) (昼食 60分) 11:40～12:40 (研修 225分)	【講義と演習⑤】 生活困窮者支援に必要と 考えられる視点① 一対象者の特性を踏まえ た支援のあり方一	日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 名古屋市仕事・暮らし自立 サポートセンター大曾根 自立相談支援員 鈴木 美登里 氏 神奈川県立田奈高等学校 キャリア支援グループ 総括教諭 金澤 信之 氏
14:00～14:15	休 憩		
14:15～15:05 (50分)	【講義と演習⑥】 生活困窮者支援に必要と 考えられる視点② 一発達障害者への支援の あり方一	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 日詰 正文 氏	
15:05～15:20	休 憩		
15:20～18:15 (休憩 15分) (研修 160分)	【講義と演習⑦】 生活困窮者支援を通じた 地域づくり	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏	豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 長野県社会福祉協議会 主事 山崎 博之 氏
18:15～18:35 (20分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】7月21日（木）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～ 9:00	開 場		
9:00～12:00 (休憩 15分) (研修 165分)	【講義と演習⑧】 相談支援の展開	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏	
12:00～13:00 (60分)	昼食・休憩		
13:00～16:15 (休憩 15分) (研修 180分)	【講義と演習⑨】 就労支援の考え方と実施 方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏	A' ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター) 就労支援室 室長 西岡 正次 氏 社会福祉法人 光明会 社会貢献部長 山本 樹 氏
16:15～16:35 (20分)	まとめ・振り返り (第3日目)	事務局	

【第3回】 【前期】 共通カリキュラム

日 程 表

【第1日目】 8月31日（水）

時 間	科 目	講 師
8:15～ 9:00	受 付	
9:00～ 9:10	オリエンテーション	
9:10～ 9:20	厚生労働省挨拶、主催者挨拶	
9:20～ 9:30	アイスブレイク	
9:30～10:30 (60分)	【講義①】 生活困窮者支援の基本的考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 本後 健 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:40 (60分)	【講義②】 自立相談支援事業の目的、支援の流れ	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏
11:40～12:40 (60分)	昼食・休憩	
12:40～14:10 (90分)	【講義③】 他制度の活用・連携	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 由美子 氏 野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏 野洲市役所 市民生活相談課 主任 宇都宮 誠実 氏
14:10～14:25	休 憩	
14:25～18:10 (休憩 15分) (研修 210分)	【講義と演習④】 支援員に求められる倫理・基本姿勢を支える人材育成と職場づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
18:10～18:30 (20分)	まとめ・振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
18:30～18:50	交流会会場へ移動	
18:50～19:50 (60分)	交流会（会場：新霞が関ビル5階）	

日 程 表

【第2日目】9月1日（木）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～ 9:00	開 場		
9:00～14:00 (休憩 15分) (昼食 60分) 11:40～12:40 (研修 225分)	【講義と演習⑤】 生活困窮者支援に必要と 考えられる視点① 一対象者の特性を踏まえ た支援のあり方一	日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏 名古屋市仕事・暮らし自立 サポートセンター大曽根 自立相談支援員 鈴木 美登里 氏 神奈川県立田奈高等学校 キャリア支援グループ 総括教諭 金澤 信之 氏
14:00～14:15	休 憩		
14:15～15:05 (50分)	【講義と演習⑥】 生活困窮者支援に必要と 考えられる視点② 一発達障害者への支援の あり方一	有限会社 SNOW DREAM 取締役 山口 久美 氏	
15:05～15:20	休 憩		
15:20～18:15 (休憩 15分) (研修 160分)	【講義と演習⑦】 生活困窮者支援を通じた 地域づくり	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏	豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 長野県社会福祉協議会 主事 山崎 博之 氏
18:15～18:35 (20分)	まとめ・振り返り (第2日目)	事務局	

日 程 表

【第3日目】9月2日（金）

時 間	科 目	講 師	実践事例紹介者
8:30～ 9:00	開 場		
9:00～12:00 （休憩 15分） （研修 165分）	【講義と演習⑧】 相談支援の展開	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏	
12:00～13:00 （60分）	昼食・休憩		
13:00～16:15 （休憩 15分） （研修 180分）	【講義と演習⑨】 就労支援の考え方と実施 方法	明治学院大学 教授 新保 美香 氏	A' ワーク創造館 （大阪地域職業訓練センター） 就労支援室 室長 西岡 正次 氏 一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏
16:15～16:35 （20分）	まとめ・振り返り （第3日目）	事務局	

【後期】主任相談支援員養成研修

日 程 表

【第1日目】8月17日（水）

時 間	科 目	講 師
9:30~10:00	受 付	
10:00~10:10	オリエンテーション	
10:10~11:30 (80分)	【講義と演習①】 主任相談支援員の役割	日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏 雄勝福祉会 人材育成次長 佐藤 博 氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏
11:30~11:45	休 憩	
11:45~17:00 (研修 240分) (昼食 60分) 12:30~13:30 (休憩 15分)	【講義と演習②】 職員の資質向上と職場（組織）づくり	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:00~17:30 (30分)	研修の振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
17:30~17:40	交流会会場へ移動	
17:40~19:10 (90分)	交流会（会場：大楠）	

日 程 表

【第2日目】8月18日(木)

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	開 場	
9:00～12:45 (研修 210分) (休憩 15分)	【講義と演習③】 アセスメント・プラン作成	<ul style="list-style-type: none"> ・市川市生活サポートセンターそら (so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏 ・我孫子市役所 健康福祉部 社会福祉課 主査 松本 拓馬 氏
12:45～13:45 (60分)	昼食・休憩	
13:45～14:45 (60分)	【講義④】 生活困窮者支援と地域づくりの意義	ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏
14:45～15:00	休 憩	
15:00～18:15 (研修 180分) (休憩 15分)	【講義と演習⑤】 個を支える地域づくり	<p>【ファシリテーター】 日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏</p> <p>【コメンテーター】 ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏</p> <p>【実践報告者】 氷見市社会福祉協議会 森脇 俊二 氏</p>
18:15～18:45 (30分)	研修の振り返り (第2日目)	事務局

日 程 表

【第3日目】8月19日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	開 場	
9:00～12:20 (研修 185分) (休憩 15分)	【講義と演習⑥】 社会資源とネットワークの開発	【ファシリテーター】 日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏 【実践報告者】 ・高島市社会福祉協議会 常務理事・事務局長 井岡 仁志 氏 ・金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏 ・NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
12:20～13:10 (50分)	昼食・休憩	
13:10～16:25 (研修 180分) (休憩 15分)	【講義と演習⑦】 支援困難事例の検討	【ファシリテーター】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【スーパーバイザー】 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支 援センター つながり 所長 上原 久 氏 【アドバイザー】 ・高島市社会福祉協議会 常務理事・事務局長 井岡 仁志 氏 ・金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏 ・NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
16:25～16:35	休憩	
16:35～17:05 (30分)	【講義と演習⑧】 研修の振り返り	日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏
17:05～17:40 (35分)	アンケート記入、修了式	

【後期】相談支援員養成研修（第1回）

日 程 表

【第1日目】10月5日（水）

時 間	科 目	講 師
9:30~10:00	受 付	
10:00~10:10	オリエンテーション	
10:10~12:30 (研修 125分) (休憩 15分)	【講義と演習①】 個別支援の基本	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏 社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課長 田中 奈美 氏
12:30~13:30	昼食・休憩	
13:30~17:15 (研修 210分) (休憩 15分)	【講義と演習②】 アウトリーチの考え方	【コーディネーター】 一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏 【実践報告者】 ・認定 NPO 法人 育て上げネット 若年支援事業部 関西担当部長 高崎 大介 氏 ・浜松市役所 健康福祉部 精神保健福祉センター 副主幹 河合 龍紀 氏
17:15~17:45 (30分)	研修の振り返り（第1日目）	事務局
17:45~17:55	交流会会場へ移動	
17:55~19:25 (90分)	交流会（会場：大楠）	

日 程 表

【第2日目】10月6日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	開 場	
9:00～ 9:10	オリエンテーション	
9:10～11:55 (研修 150分) (休憩 15分)	【講義③】 任意事業と連携のあり方	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鏑木 奈津子 氏 【実践報告者】 ・ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子 氏 ・グリーンコープ生活協同組合ふくおか 家計相談支援員 北島 千恵 氏 ・社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
11:55～12:55	昼食・休憩	
12:55～14:40 (105分)	【講義④】 援助関係をつくりにくい人への支援	NPO 法人 ふわり ケアコンサルタント 有限会社 SNOW DREAM 取締役 山口 久美 氏
14:40～14:55	休 憩	
14:55～16:35 (100分)	【講義と演習⑤】 地域を基盤とした相談支援のあり方	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏
16:35～16:50	休 憩	
16:50～17:50 (60分)	【講義と演習⑥】 相談支援の展開 〔導入講義〕 〔セッション 1〕 包括的な相談受付	【講師】 大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏 【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
17:50～18:20 (30分)	研修の振り返り（第2日目）	事務局

日 程 表

【第3日目】10月7日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00		開 場
9:00～12:20 (研修 185分) (休憩 15分)	【講義と演習⑦】相談支援の展開 〔セッション2〕アセスメント	【講師】 大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏
12:20～13:20	昼食・休憩	【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏 ・社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
13:20～15:05 (105分)	【講義と演習⑦】相談支援の展開 〔セッション3〕プラン	
15:05～15:20	休憩	
15:20～17:20 (120分)	【講義と演習⑦】相談支援の展開 〔セッション4〕評価・終結 〔3日間の総括〕	
17:20～17:40 (20分)	まとめ・振り返り・修了式	事務局

【後期】相談支援員養成研修（第2回）大阪会場

日 程 表

【第1日目】11月30日（水）

時 間	科 目	講 師
9:30~10:00	受 付	
10:00~10:10	オリエンテーション	
10:10~12:30 (140分)	【講義と演習①】 個別支援の基本	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏 社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課長 田中 奈美 氏
12:30~13:30	昼食・休憩	
13:30~15:10 (100分)	【講義と演習②】 地域を基盤とした相談支援のあり方	大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏
15:10~15:25	休 憩	
15:25~17:10 (105分)	【講義③】 援助関係をつくりにくい人への支援	NPO 法人 ふわり ケアコンサルタント 有限会社 SNOW DREAM 取締役 山口 久美 氏
17:10~17:40 (30分)	研修の振り返り（第1日目）	事務局
17:40~18:00	交流会会場へ移動	
18:00~19:30 (90分)	交流会（会場：東天紅大阪天満橋OMM店（研修会場と同一建物内20階））	

日 程 表

【第2日目】12月1日(木)

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	開 場	
9:00～ 9:10	オリエンテーション	
9:10～11:55 (研修 150分) (休憩 15分)	【講義④】 任意事業と連携のあり方	<p>【コーディネーター】 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏</p> <p>【実践報告者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子 氏 ・グリーンコープ生活協同組合ふくおか 家計相談支援員 北島 千恵 氏
11:55～12:55	昼食・休憩	
12:55～16:40 (研修 210分) (休憩 15分)	【講義と演習⑤】 アウトリーチの考え方	<p>【コーディネーター】 一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏</p> <p>【実践報告者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定NPO法人 育て上げネット 若年支援事業部 関西担当部長 高崎 大介 氏 ・浜松市役所 健康福祉部 精神保健福祉センター 副主幹 河合 龍紀 氏
16:40～16:55	休 憩	
16:55～17:55 (60分)	<p>【講義と演習⑥】 相談支援の展開</p> <p>〔導入講義〕 〔セッション 1〕 包括的な相談受付</p>	<p>【講師】 大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏</p> <p>【コメンテーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏 ・社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
17:55～18:25 (30分)	研修の振り返り(第2日目)	事務局

日 程 表

【第3日目】12月2日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00		開 場
9:00～12:30 (研修 195分) (休憩 15分)	【講義と演習⑦】相談支援の展開 〔セッション2〕アセスメント	【講師】 大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏
12:30～13:30	昼食・休憩	【コメンテーター】 ・市川市生活サポートセンターそら(so-ra) 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏 ・一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏 ・社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏
13:30～14:30 (60分)	【講義と演習⑦】相談支援の展開 〔セッション3〕プラン	
14:30～14:45	休 憩	
14:45～17:20 (155分)	【講義と演習⑦】相談支援の展開 〔セッション4〕評価・終結 〔3日間の総括〕	
17:20～17:40 (20分)	まとめ・振り返り・修了式	事務局

【後期】就労支援員養成研修

日 程 表

【第1日目】12月7日（水）

時 間	科 目	講 師
9:15~10:00	受 付	
10:00~10:15	オリエンテーション	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局
10:15~11:45 (研修 90分)	【講義と演習①】 はじめに	明治学院大学 教授 新保 美香 氏
11:45~12:45	昼食・休憩	
12:45~14:40 (研修 115分)	【講義と演習②】 包括的な相談支援の視点	【講師】 ライフデザイン・ラボ 代表理事 白水 崇真子 氏 【コーディネーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
14:40~14:55	休 憩	
14:55~16:25 (研修 90分)	【講義と演習③】 支援関係の構築	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鏑木 奈津子 氏 【報告者】 ・沖縄県労働者福祉基金協会 就職・生活支援パーソナル・サポート・センター 次長 岡野 みゆき 氏 ・インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏
16:25~16:40	休 憩	
16:40~18:40 (研修 120分)	【講義と演習④】 個人への就労支援	【コーディネーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 【報告者】 ・釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 ・八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課係長/相談支援員・就労支援員 前田 善明 氏
18:40~18:50 (10分)	研修の振り返り（第1日目）	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局
18:50~19:05	交流会会場へ移動	
19:05~20:35 (90分)	交流会（会場：大楠）	

日 程 表

【第2日目】12月8日(木)

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	開 場	
9:00～ 9:10	オリエンテーション	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局
9:10～11:15 (研修 125分)	【講義と演習⑤】 アウトリーチの実際と危機管理	NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
11:15～11:30	休 憩	
11:30～12:45 (研修 75分)	【講義と演習⑥】 労働行政について	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 高木 剛 氏
12:45～13:45	昼食・休憩	
13:45～15:45 (120分)	【講義と演習⑦】 自治体による就労支援	【講師】 ・A' ワーク創造館(大阪地域職業訓練センター) 就労支援室 室長 西岡 正次 氏 ・豊中市 無料職業紹介所 企業支援チーム チームリーダー 常松 順子 氏 【報告者】 弘前市役所 健康福祉部 就労自立支援室 総括主査 金川 浩人 氏 【コーディネーター】 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
15:45～16:00	休 憩	
16:00～17:40 (100分)	【講義と演習⑧】 多様なプログラムづくり	沖縄県労働福祉基金協会 就職・生活支援パーソナル・サポート・センター 次長 岡野 みゆき 氏
17:40～17:50	研修の振り返り(第2日目)	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局
18:00～19:00	テーマ別交流会(任意参加)	一部の講師

日 程 表

【第3日目】12月9日（金）

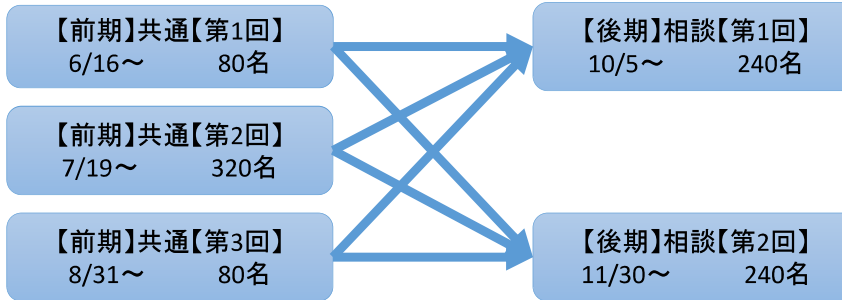
時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	開 場	
9:00～ 9:15	オリエンテーション	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局
9:15～10:40 (研修 85 分)	【講義と演習⑨】 就労支援と地域づくり	【講師】 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏 【コーディネーター】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏
10:40～10:55	休 憩	
10:55～12:00 (研修 65 分)	【講義と演習⑩】 企業へのアプローチ	社会福祉法人 光明会 社会貢献部長 山本 樹 氏
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～14:05 (研修 65 分)	【講義と演習⑩】 企業へのアプローチ	
14:05～14:20	休 憩	
14:20～16:20 (研修 120 分)	【講義と演習⑪】 研修全体のまとめ	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
16:20～16:50 (30 分)	まとめ・振り返り・修了式	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 事務局

3 職種別の受講パターン

(1) 主任相談支援員 (240名)



(2) 相談支援員 (480名)



相談支援員は、【前期】、【後期】それぞれ受講希望回を受講申込書にて確認します。各回の内容は同様です。受講回の決定は事務局および厚生労働省が行い、基本的に変更はできません。あらかじめご了承ください。

(3) 就労支援員 (240名)



4 受講対象者

(1) 主任相談支援員養成研修

自立相談支援事業において主任相談支援員として配置されている者。

なお、以下の①～③までのいずれかに該当する者。

- ① 社会福祉士、精神保健福祉士、保健師として保険、医療、福祉、就労、教育等の分野における業務に5年以上従事している者であり、かつ、生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に3年以上従事している者
- ② 生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に5年以上従事している者
- ③ 相談支援業務に準ずる業務として、実施主体である地方自治体の長が認めた業務に5年以上従事している者

(2) 相談支援員養成研修

自立相談支援事業において相談支援員として配置されている者。

なお、相談支援業務に従事している者(これまで従事していた者も含む。)など、生活困窮者への相談支援を適切に行うことができる者。

(3) 就労支援員養成研修

自立相談支援事業において就労支援員として配置されている者。

なお、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者

(これまで従事していた者も含む。)など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる者。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」

(平成28年4月1日付社援発0401第9号厚生労働省社会・援護局長通知)

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」(平成28年4月21日付厚生労働省事務連絡)

5 受講者定員

各回240名

※平成27年5月12日付厚生労働省事務連絡に基づき、各都道府県の各研修受講者枠を定めております。

6 テキスト

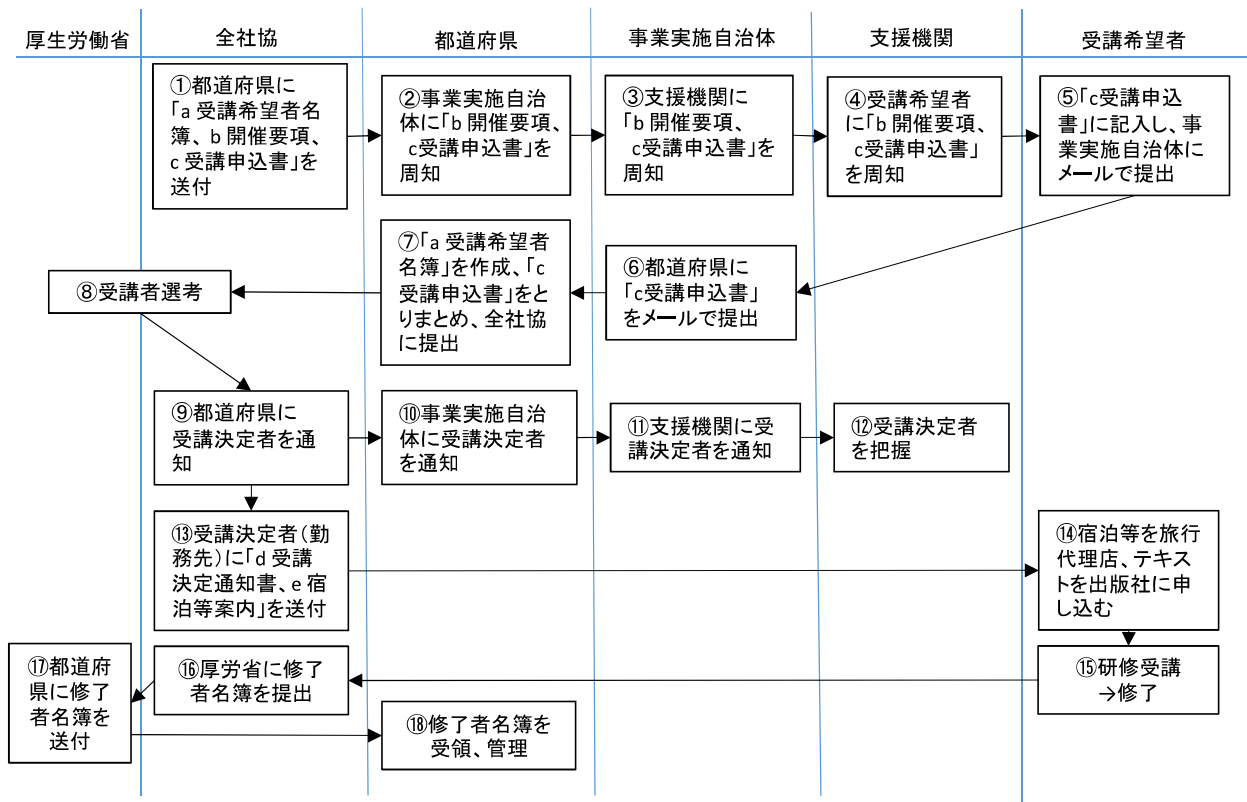
各研修で使用するテキストは下記の1冊となります。各自ご用意ください(自己負担)。

①『生活困窮者自立支援法 自立相談支援事業従事者養成研修テキスト』(中央法規出版株式会社)

※昨年「平成27年度自立相談支援事業従事者養成研修」に使用したテキストと同様です。

※書店等でお買い求めください。

7 申込みから受講、修了までの流れ



8 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①前・後期のすべての科目に出席すること。
 - ②前期終了後の事後課題を提出すること（課題を課した場合）。
- (3) 修了証書は、後期研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

◆就労準備支援事業従事者養成研修

1 研修の目的および種類

複合的な課題を抱え、直ちに就労が困難な者に対して、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援するため、就労準備支援事業に従事する者に必要とされる姿勢・知識・能力を習得することにより、資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成 27 年度より施行された生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業において配置される就労準備支援担当者を対象とした養成研修を実施した。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研修名	日程	会場
就労準備 支援事業従事者養成研修	9月26日(月)~9月29日(木)	タイム24

<会場>

タイム24ビル HALL1 (1階)

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32

TEL:03-5531-0024 FAX:03-5531-0025

平成 28 年度 就労準備支援事業従事者養成研修

日 程 表

【第 1 日目】 9 月 26 日（月）

時 間	科 目	講 師
12:40~13:30	受 付	
13:30~13:50 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:50~14:50 (60 分)	【講義①】 生活困窮者自立支援法と就労準備支援 事業の基本的な考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 高木 剛 氏
14:50~15:05	休 憩	
15:05~15:55 (50 分)	【講義②】 ハローワークとの連携	埼玉労働局 地方訓練受講者支援室 室長 渋沢 修一 氏
15:55~16:10	休 憩	
16:10~17:10 (60 分)	【講義と演習③】 就労準備支援担当の役割と基本姿勢	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鎬木 奈津子 氏
17:10~17:30 (20 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
17:30~17:45	交流会会場へ移動	
17:45~18:45 (60 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 9月27日（火）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～ 9:40 (10分)	オリエンテーション	
9:40～12:20 (160分)	【講義④】 本人の状態像に応じた支援のあり方	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調査官 鍋木 奈津子 氏 【実践報告者】 ・釧路社会的企業創造協議会 副代表 榎部 武俊 氏 ・ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子 氏 ・名古屋市仕事・暮らし自立サポート センター センター長 大熊 宗麿 氏
12:20～13:20 (60分)	昼 食 休 憩	
13:20～17:15 (研修 220分) (休憩 15分)	【講義と演習⑤】 支援に向けたインテークとアセスメント のあり方 就労準備支援プログラムの作成	NPO スチューデント・サポート・フェ イス 代表理事 谷口 仁史 氏
17:15～17:35 (20分)	研修の振り返り（第2日目）	
17:45～18:45 (60分)	テーマ別交流会（任意参加）	

日程表

【第3日目】 9月28日(水)

時間	科目	講師
9:00~ 9:30	受付	
9:30~ 9:40 (10分)	オリエンテーション	
9:40~12:00 (140分)	【講義と演習⑥-1】 支援プログラム・メニューの開発	沖縄県労働者福祉基金協会 就職・生活支援パーソナル・サポート・センター 次長 岡野 みゆき 氏
12:00~13:00 (60分)	昼食休憩	
13:00~14:15 (75分)	【講義⑥-2】 支援プログラム・メニューの開発	【コーディネーター】 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 高木 剛 氏 【実践報告者】 ・釧路社会的企業創造協議会 事務局長 相原 真樹 氏 ・パーソナルサポートセンター 理事 立岡 学 氏
14:15~14:30	休憩	
14:30~16:00 (90分)	【講義⑦】 支援関係の構築Ⅰ	明治学院大学 教授 新保 美香 氏
16:00~16:15	休憩	
16:15~18:10 (115分)	【講義と演習⑧】 支援関係の構築Ⅱ	【コーディネーター】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏 【実践報告者】 ・インクルージョンネットかながわ 理事 鈴木 晶子 氏 ・沖縄県労働者福祉基金協会 就職・生活支援パーソナル・サポート・センター 次長 岡野 みゆき 氏
18:10~18:30 (20分)	研修の振り返り(第3日目)	

日 程 表

【第4日目】 9月29日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	受 付	
9:30～12:35 (研修 170分) (休憩 15分)	【講義と演習◎】 4日間の振り返りとまとめ	明治学院大学 教授 新保 美香 氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 高木 剛 氏
12:35～12:55 (20分)	振り返り（第4日目） 修了式	

3 受講対象者

就労準備支援事業において就労準備支援担当者として配置されている者。

なお、対象者の選定に当たっては、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる人材が望ましい。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」

（平成28年4月1日付社援発0401第9号厚生労働省社会・援護局長通知）

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成28年4月21日付厚生労働省事務連絡）

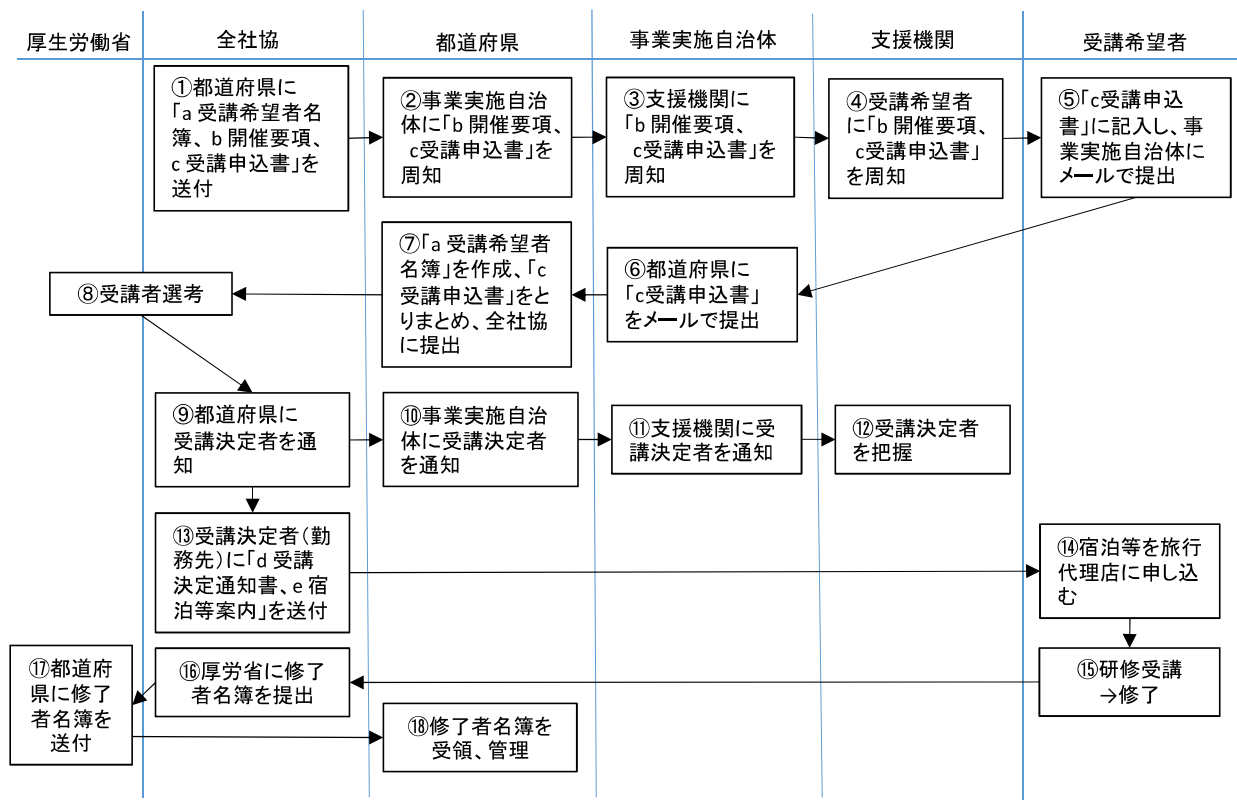
4 研修の受講定員

120名

5 テキスト

有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。

6 申込みから受講までの流れ



7 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

◆家計相談支援事業従事者養成研修

1 研修の目的および種類

生活困窮の背景にある根源的な課題を相談者とともに理解し、相談者自身が主体的に「家計を管理しよう」という意欲を引き出すための、支援姿勢や方法等を学ぶことを目的とする。加えて、相談者が再び生活困窮状態になることを予防する観点からも、家計相談支援のねらいや基本的な考え方を十分に理解したうえで、効率的かつ確実に支援を行うための技術を習得し、家計相談支援事業に従事する者の資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成 27 年度より施行された生活困窮者自立支援制度の家計相談支援事業において配置される家計相談支援員を対象とした養成研修を実施した。研修は 3 回実施したが、各回の内容は同様。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研修名	日程	会場
第1回 養成研修	7月26日(火)~ 7月29日(金)	全社協・会議室
第2回 養成研修	12月19日(月)~ 12月22日(木)	全社協・会議室

<会場>

全国社会福祉協議会 (5 階 会議室)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

平成 28 年度 家計相談支援事業従事者養成研修【第 1 回】

日 程 表

【第 1 日目】 7 月 26 日（火）

時 間	科 目	講 師
12:40~13:20	受 付	
13:20~13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40~14:10 (30 分)	【講義①】 家計相談支援の基本的な考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏
14:10~15:10 (60 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 相談支援係長 三森 雅之 氏 全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
15:10~15:25	休 憩	
15:25~16:55 (90 分)	【講義③-1】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解①	野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏
16:55~17:05 (10 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
17:05~17:15	交流会会場へ移動	
17:15~18:15 (60 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 7月27日（水）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:30 (60分)	【講義③-2】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解②	日本司法支援センター 総務部付 常勤弁護士 馬場 真由子 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:40 (60分)	【講義④】 ある相談窓口の事例から家計相談支援 へのアプローチを探る～自立の第一歩 につながる家計相談支援～	グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
11:40～12:40 (60分)	昼 食 休 憩	
12:40～14:40 (研修 110分) (休憩 10分)	【講義⑤-1】 家計相談支援の基本的な考え方と相談 の流れ ～相談者のエンパワーメントを！！～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 一丸 直子 氏 近澤 和子 氏
14:40～14:55	休 憩	
14:55～16:25 (90分)	【講義⑤-2】 家計相談支援の基本的な考え方と相談 の流れ ～相談者のエンパワーメントを！！～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 一丸 直子 氏 藤浦 久美 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏 名張市社会福祉協議会 事務局次長 福井 浩司 氏
16:25～16:40	休 憩	
16:40～17:30 (50分)	【講義⑥】 家計相談支援の失敗事例の検討 ～相談時の留意点や連携のあり方～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 一丸 直子 氏
17:30～17:40 (10分)	研修の振り返り（第2日目）	
17:40～18:30 (50分)	オプション交流会（任意参加）	

日 程 表

【第3日目】 7月28日（木）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～11:15 (105分)	【実習①】 家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表作成	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 北島 千恵 氏
11:15～11:25 (10分)	休 憩	
11:25～12:05 (40分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成	
12:05～13:05 (60分)	昼 食 休 憩	
13:05～15:05 (研修 110分) (休憩 10分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成	
15:05～15:20	休 憩	
15:20～18:00 (160分)	【実習③-1】 キャッシュフロー表の作成と家計再生プランなどの立案 （キャッシュフロー表の作成）	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 丸山 恵子 氏 中島 明美 氏
18:00～18:10 (10分)	研修の振り返り（第3日目）	

日 程 表

【第4日目】 7月29日（金）

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	受 付	
9:00～10:50 (110分)	【実習③-2】 キャッシュフロー表の作成と家計再生 プランなどの立案 (家計再生プランの立案、貸付あっせん 書の作成)	グリーンコープ連合 丸山 恵子 氏 藤浦 久美 氏 近澤 和子 氏
10:50～11:00 (10分)	休 憩	
11:00～12:30 (90分)	【講義⑦】 家計相談支援の帳票の書き方	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 北島 千恵 氏
12:30～12:50 (20分)	振り返り（第4日目） 修了式	

平成 28 年度 家計相談支援事業従事者養成研修【第 2 回】

日 程 表

【第 1 日目】 12 月 19 日（月）

時 間	科 目	講 師
12:40~13:20	受 付	
13:20~13:40 (20 分)	挨拶・オリエンテーション	
13:40~14:10 (30 分)	【講義①】 家計相談支援の基本的な考え方	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 相談支援係長 三森 雅之 氏
14:10~15:10 (60 分)	【講義②】 生活福祉資金貸付制度について	厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 相談支援係長 三森 雅之 氏 全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司
15:10~15:25	休 憩	
15:25~16:55 (90 分)	【講義③-1】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解①	野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏
16:55~17:05 (10 分)	研修の振り返り（第 1 日目）	
17:05~17:15	交流会会場へ移動	
17:15~18:15 (60 分)	交流会（任意参加・当日申込可能）	

日 程 表

【第2日目】 12月20日（火）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～10:30 (60分)	【講義③-2】 利用できる制度および多重・過剰債務の 解決方法の理解②	日本司法支援センター 第一事業部付 常勤弁護士 浅川 剛志 氏
10:30～10:40	休 憩	
10:40～11:40 (60分)	【講義④】 ある相談窓口の事例から家計相談支援 へのアプローチを探る～自立の第一歩 につながる家計相談支援～	グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏
11:40～12:40 (60分)	昼 食 休 憩	
12:40～14:40 (研修 110分) (休憩 10分)	【講義⑤-1】 家計相談支援の基本的な考え方と相談 の流れ ～相談者のエンパワーメントを！！～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 近澤 和子 氏
14:40～14:55	休 憩	
14:55～16:25 (90分)	【講義⑤-2】 家計相談支援の基本的な考え方と相談 の流れ ～相談者のエンパワーメントを！！～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 藤浦 久美 氏 一丸 直子 氏 中島 明美 氏 近澤 和子 氏 名張市社会福祉協議会 事務局次長 福井 浩司 氏
16:25～16:40	休 憩	
16:40～17:30 (50分)	【講義⑥】 家計相談支援の失敗事例の検討 ～相談時の留意点や連携のあり方～	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 一丸 直子 氏
17:30～17:40 (10分)	研修の振り返り（第2日目）	
17:40～18:30 (50分)	オプション交流会（任意参加）	

日 程 表

【第3日目】 12月21日（水）

時 間	科 目	講 師
9:00～ 9:30	受 付	
9:30～11:15 (105分)	【実習①】 家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表作成	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 北島 千恵 氏
11:15～11:25 (10分)	休 憩	
11:25～12:05 (40分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 丸山 恵子 氏
12:05～13:05 (60分)	昼 食 休 憩	
13:05～15:05 (研修110分) (休憩10分)	【実習②】 家計表とライフイベント表の作成	
15:05～15:20	休 憩	
15:20～18:00 (160分)	【実習③-1】 キャッシュフロー表の作成と家計再生プランなどの立案 (キャッシュフロー表の作成)	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 丸山 恵子 氏 中島 明美 氏
18:00～18:10 (10分)	研修の振り返り（第3日目）	

日 程 表

【第4日目】 12月22日（木）

時 間	科 目	講 師
8:30～ 9:00	受 付	
9:00～10:50 (110分)	【実習③-2】 キャッシュフロー表の作成と家計再生プランなどの立案 （家計再生プランの立案、貸付あっせん書の作成）	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 丸山 恵子 氏 藤浦 久美 氏 近澤 和子 氏
10:50～11:00 (10分)	休 憩	
11:00～12:30 (90分)	【講義⑦】 家計相談支援の帳票の書き方 全体の質疑・応答	グリーンコープ連合 行岡 みち子 氏 北島 千恵 氏
12:30～12:50 (20分)	振り返り（第4日目） 修了式	

3 受講対象者

家計相談支援事業において家計相談支援員として配置されている者。

なお、対象者の選定に当たっては、相談支援に関わる知識・技術、家計管理に関わる知識・技術、社会保障制度や金融に関わる知識等を有していることが必要であり、以下の①から⑤のような人材が考えられる。

- ① 消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー又は消費生活コンサルタントの資格を有する者
- ② 社会福祉士の資格を有する者
- ③ 社会保険労務士の資格を有する者
- ④ ファイナンシャルプランナーの資格を有する者
- ⑤ 上記①～④に掲げる者と同等の能力または実務経験を有する者

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」

（平成28年4月1日付社援発0401第9号厚生労働省社会・援護局長通知）

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成28年4月21日付厚生労働省事務連絡）

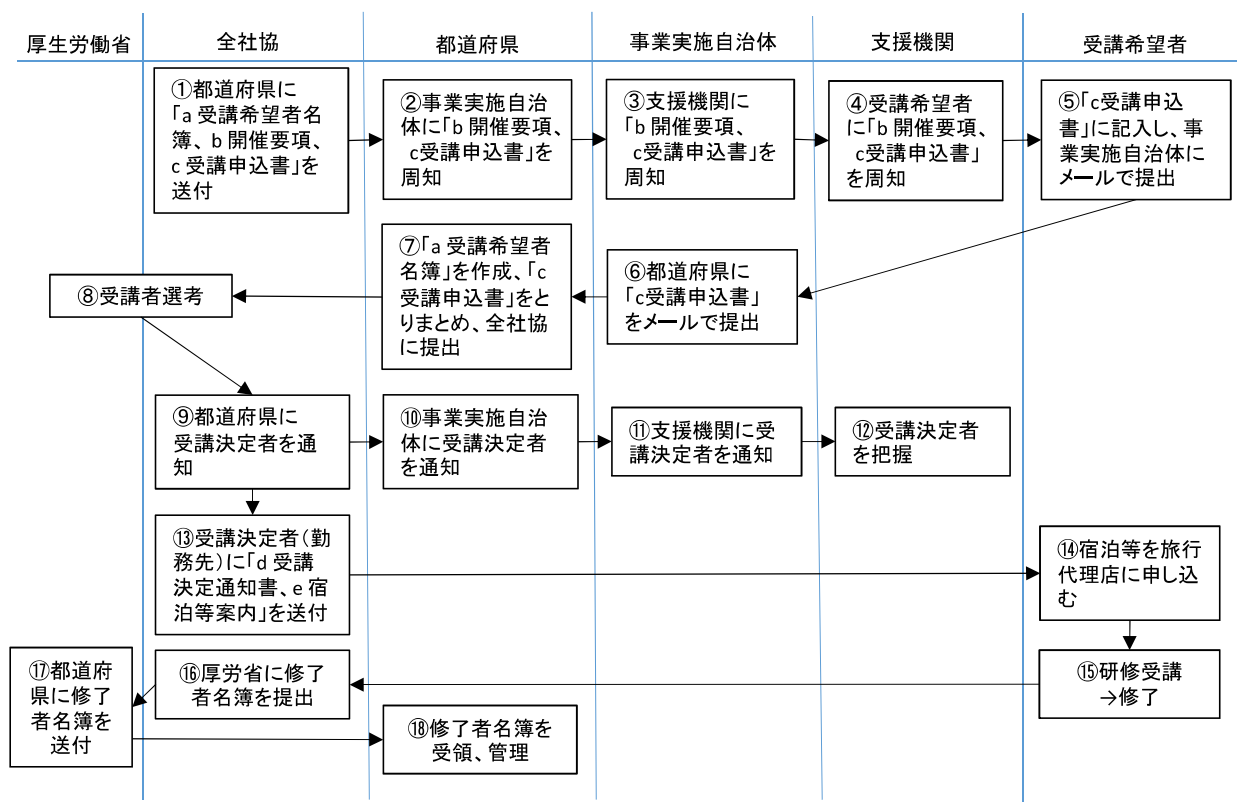
4 研修の受講定員

1回あたり 60名

5 テキストおよびノートパソコン

- (1) 有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。
- (2) 第3日目においてノートパソコン（Microsoft Word、Microsoft Excel を使用）を使用します。持参できない方には、レンタルサービスを提供する予定です。

6 申込みから受講までの流れ



7 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①すべての科目に出席すること。
- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

◆都道府県研修に係る担当者研修

1 研修の目的および種類

複合的な課題を抱え、直ちに就労が困難な者に対して、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援するため、就労準備支援事業に従事する者に必要とされる姿勢・知識・能力を習得することにより、資質の確保・向上を図ることを目的とした。

平成 27 年度より施行された生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業において配置される就労準備支援担当者を対象とした養成研修を実施した。

2 プログラムの概要 日程表、会場

研修名	日程	会場
都道府県研修に係る担当者研修	2月3日(金)	全社協・灘尾ホール

<会場>

全国社会福祉協議会 灘尾ホール
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

平成 28 年度 都道府県研修に係る担当者研修

日 程 表

2月3日(金)

時 間	科 目	講 師
10:30~11:00	受 付	
11:00~11:15 (15分)	挨拶・オリエンテーション	
11:15~12:15 (60分)	【都道府県における研修の 取り組み事例紹介】	<p>【事例発表者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県 福祉部 社会福祉課 主幹 服部 孝 氏 ・宮城県 保健福祉部 社会福祉課 主事 木村 秀和 氏 <p>【コーディネーター】</p> <p>厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 錦木 奈津子 氏</p>
12:15~13:15	昼食・休憩	
13:15~16:30 (研修 180分) (休憩 15分)	【講義と演習】 研修の企画立案について	九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏
16:30~16:40	アンケート記入、事務連絡等	
16:50~17:50 (60分)	個別相談会（任意参加） 加留部先生に質問や相談をすることができます。	

3 受講対象者

都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者 ※主に①又は②を想定。

①都道府県の研修担当者

②国が実施する研修の修了者（条件：平成 26-28 年度自立相談支援事業従事者養成研修の修了者）

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」

（平成28年4月1日付社援発0401第9号厚生労働省社会・援護局長通知）

「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成28年4月21日付厚生労働省事務連絡）

4 研修の受講定員

140 名

◆全研修の受講者数と修了者数

	主任相談 支援員 養成研修	相談 支援員 養成研修	就労 支援員 養成研修	就労準備 支援事業 従事者 養成研修	家計相談 支援事業 従事者 養成研修	合計
受講者数※1	240名	405名	237名	124名	128名	1,134名
修了者数	234名	384名	228名	120名	127名	1,093名

※1：受講決定通知を発行した人数

■【前期】共通カリキュラム（実際の受講者数）

【第1回】 264名（主任187名、相談61名、就労1名、前期のみ受講15名）

【第2回】 272名（主任11名、相談226名、就労11名、前期のみ受講24名）

【第3回】 269名（相談78名、就労181名、前期のみ受講10名）

【前期免除】 54名（主任36名、相談19名、就労35名）

■ 相談支援員養成研修 受講者数と修了者数の内訳

受講者数 405名（第1回241名、第2回164名）

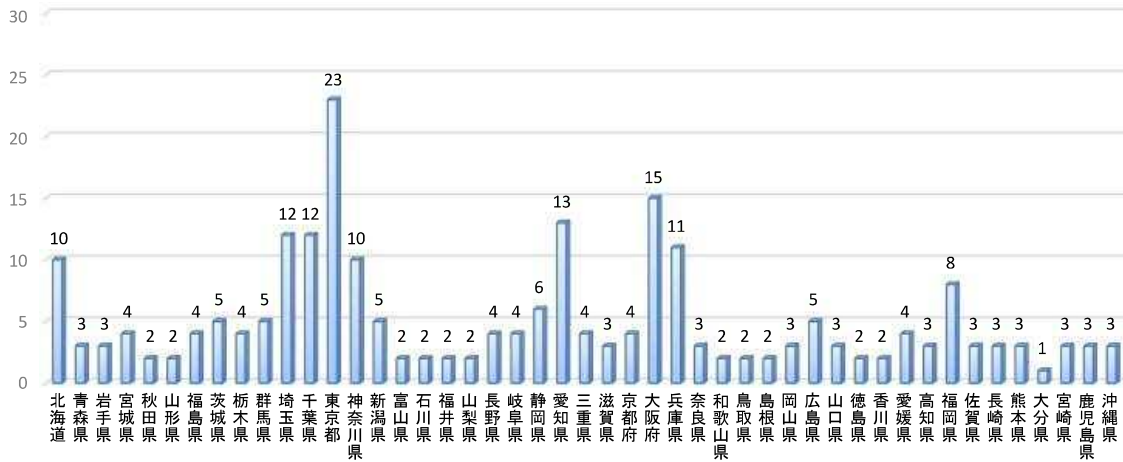
修了者数 384名（第1回230名、第2回154名）

■ 都道府県研修に係る担当者研修

受講者数 64名

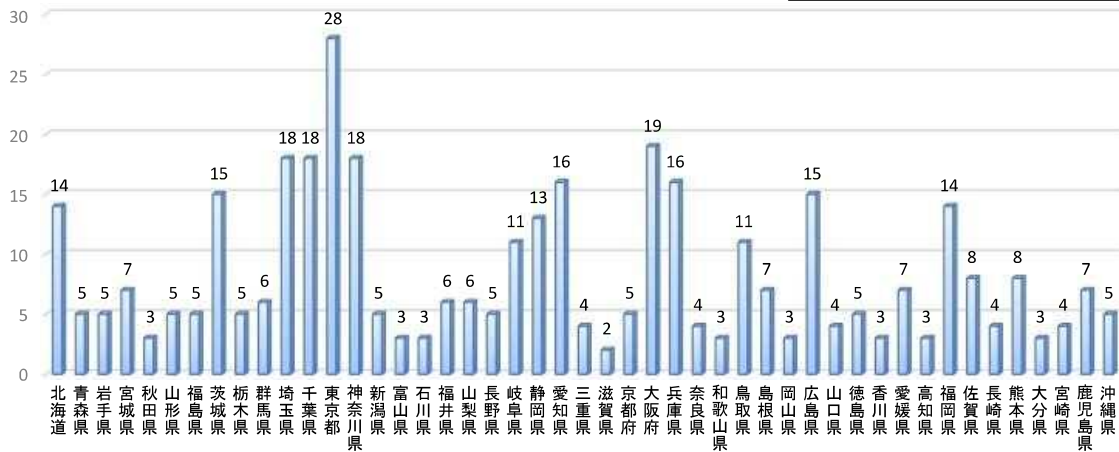
主任相談支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者234名／受講者240名



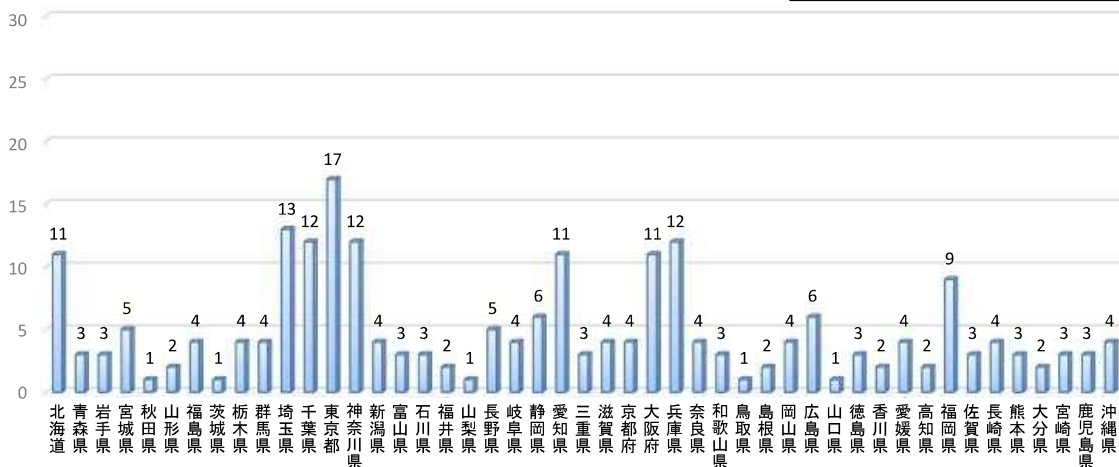
相談支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者384名／受講者404名



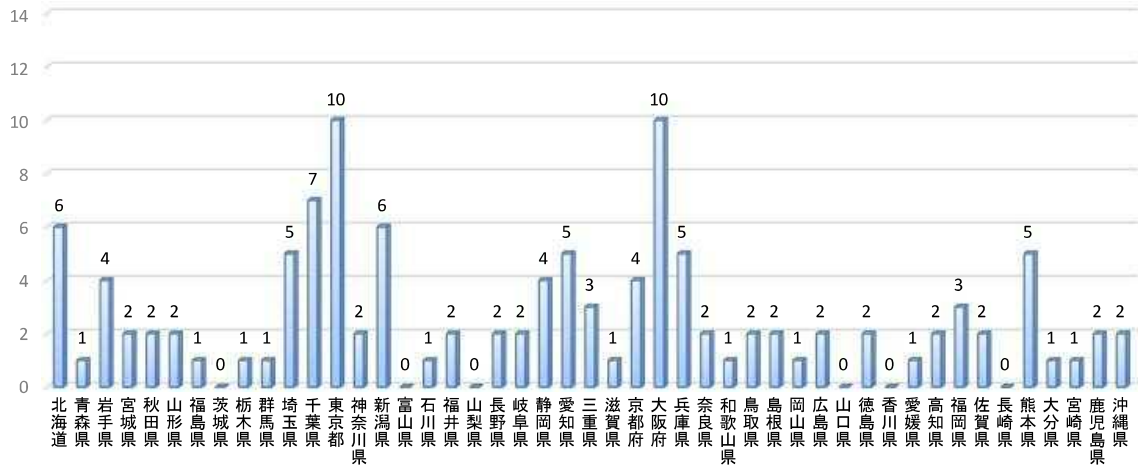
就労支援員養成研修 都道府県別 修了者数

修了者228名／受講者237名



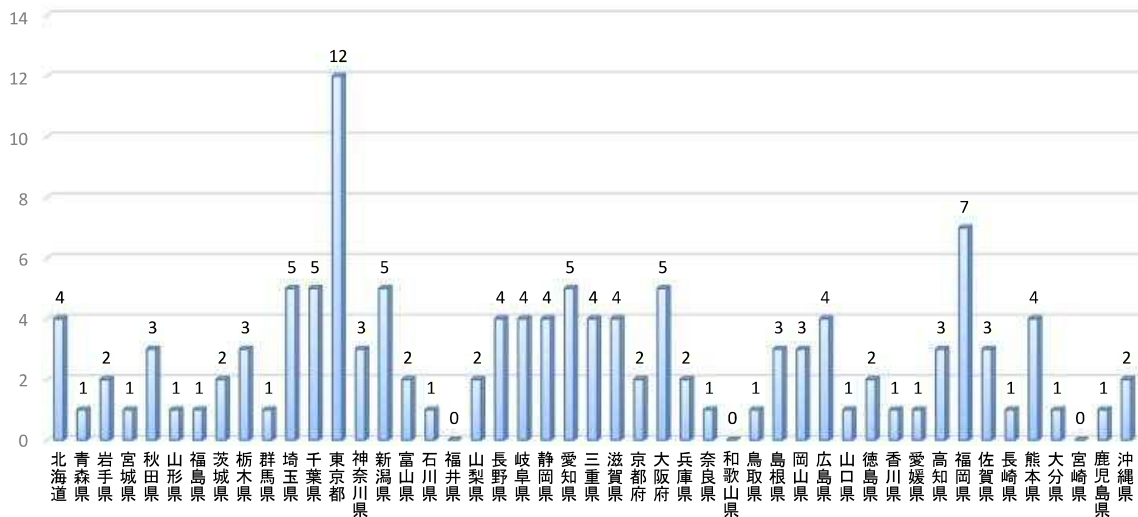
就労準備支援事業従事者養成研修 都道府県別 修了者数

修了者120名／受講者124名



家計相談支援事業従事者養成研修 都道府県別 修了者数

修了者127名／受講者128名



◆全研修の修了者の傾向

平成28年度
自立相談支援事業従事者養成研修
主任相談支援員養成研修
修了者属性傾向

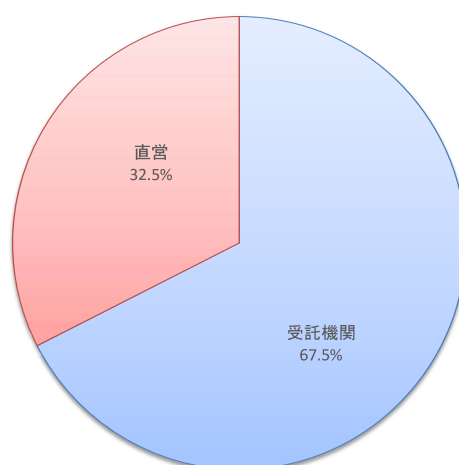
平成28年度 主任相談支援員養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	158
直営	76
計	234

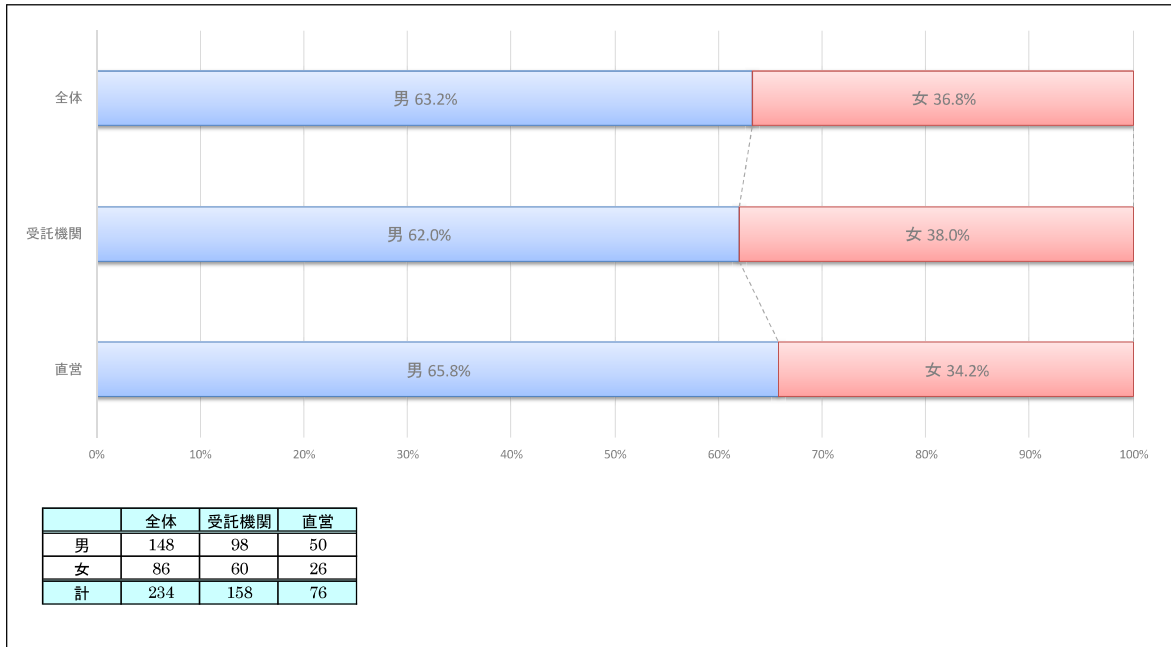
うち

前期免除者	36
-------	----

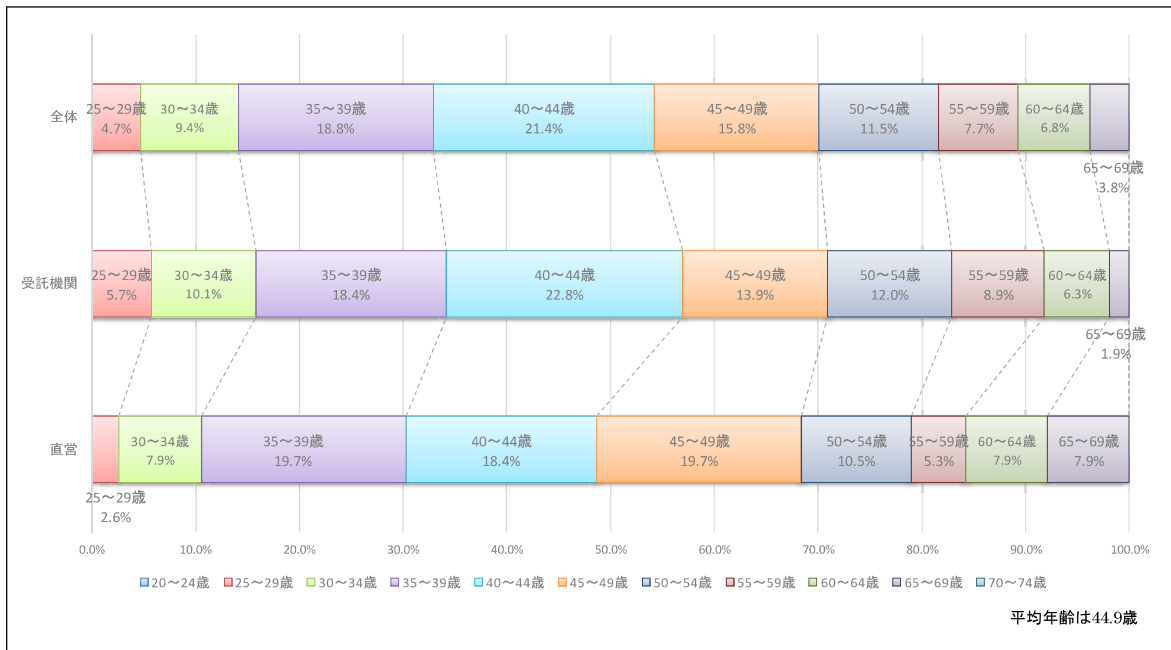
※受託機関158のうち
社協は112(約70.9%)
となっている。



平成28年度 主任相談支援員養成研修 修了者の男女比



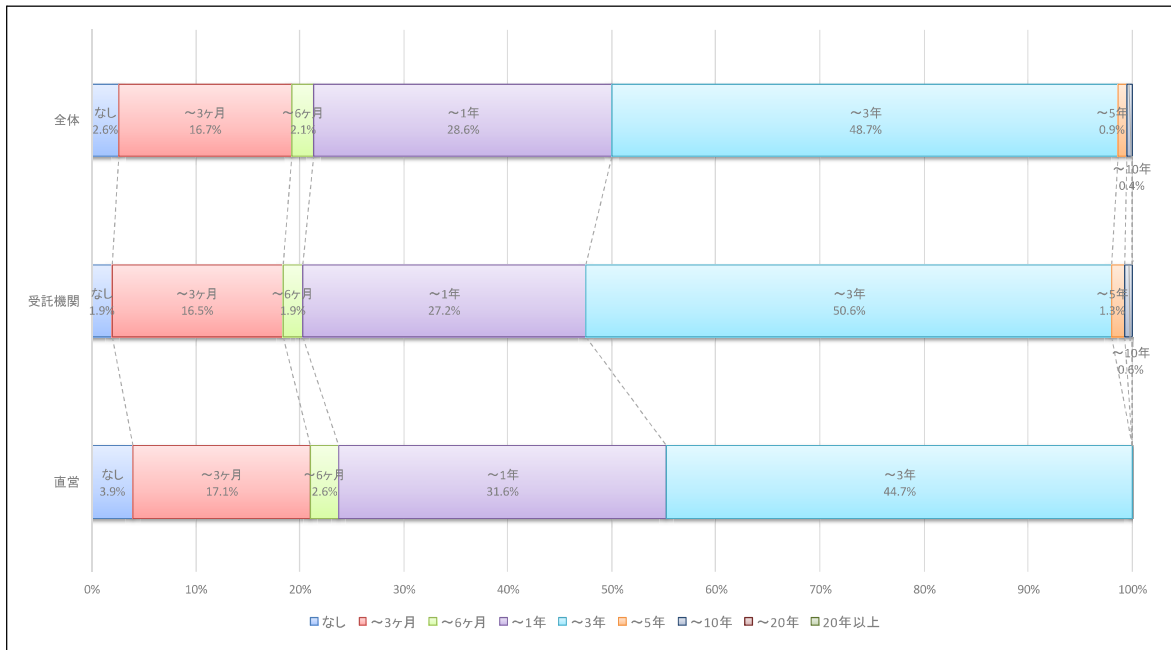
平成28年度 主任相談支援員養成研修 修了者の年齢構成



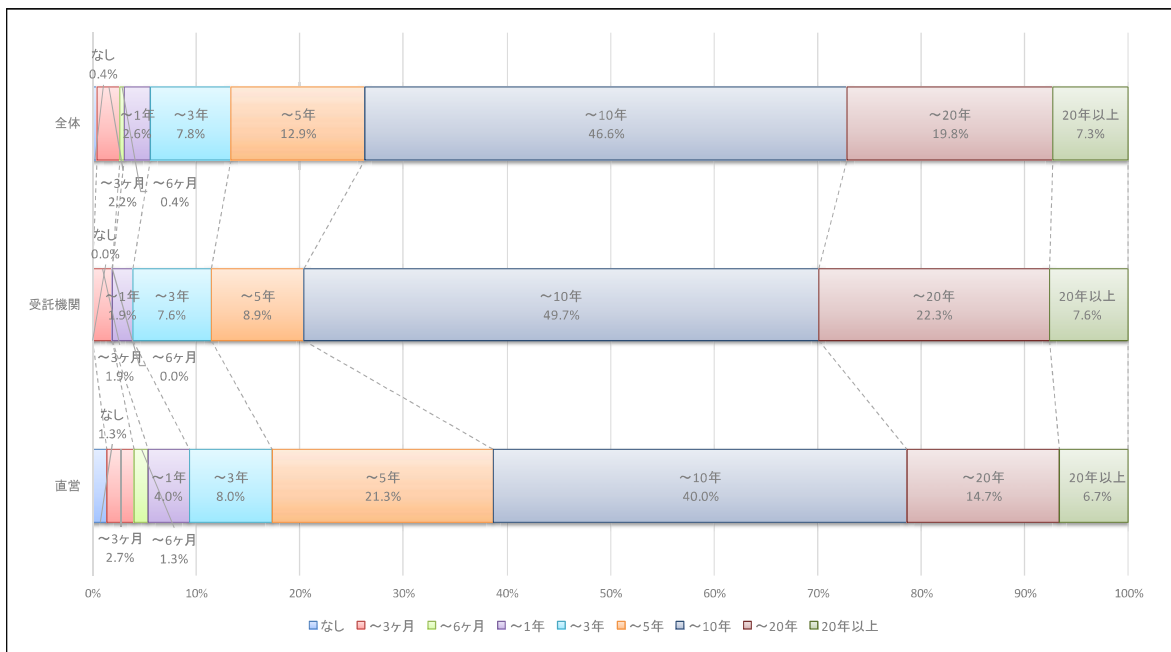
平成28年度 主任相談支援員養成研修 修了者の勤務形態



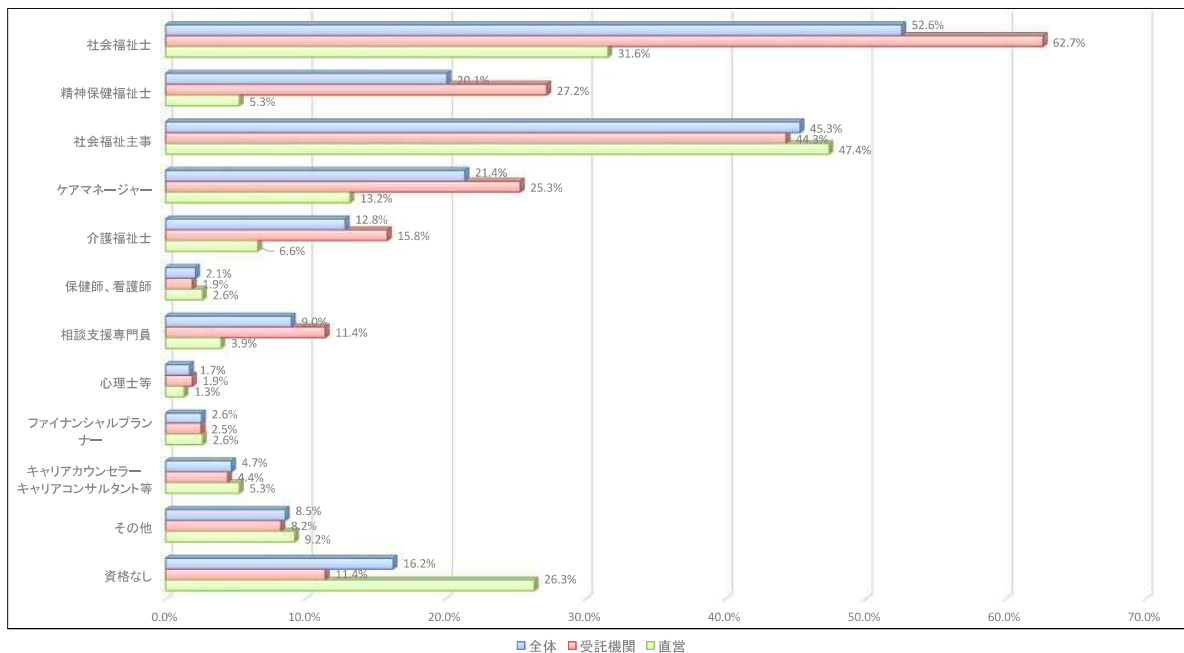
平成28年度 主任相談支援員養成研修 修了者の現職経験年数



平成28年度 主任相談支援員養成研修 修了者の相談就労支援通算経験年数



平成28年度 主任相談支援員養成研修 修了者の資格保有状況



平成28年度 自立相談支援事業従事者養成研修

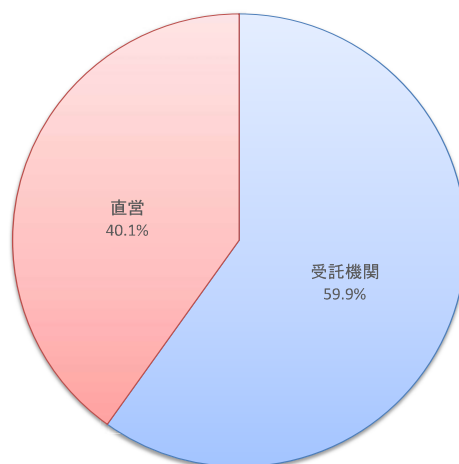
相談支援員養成研修 修了者属性傾向

平成28年度 相談支援員養成研修 修了者の割合

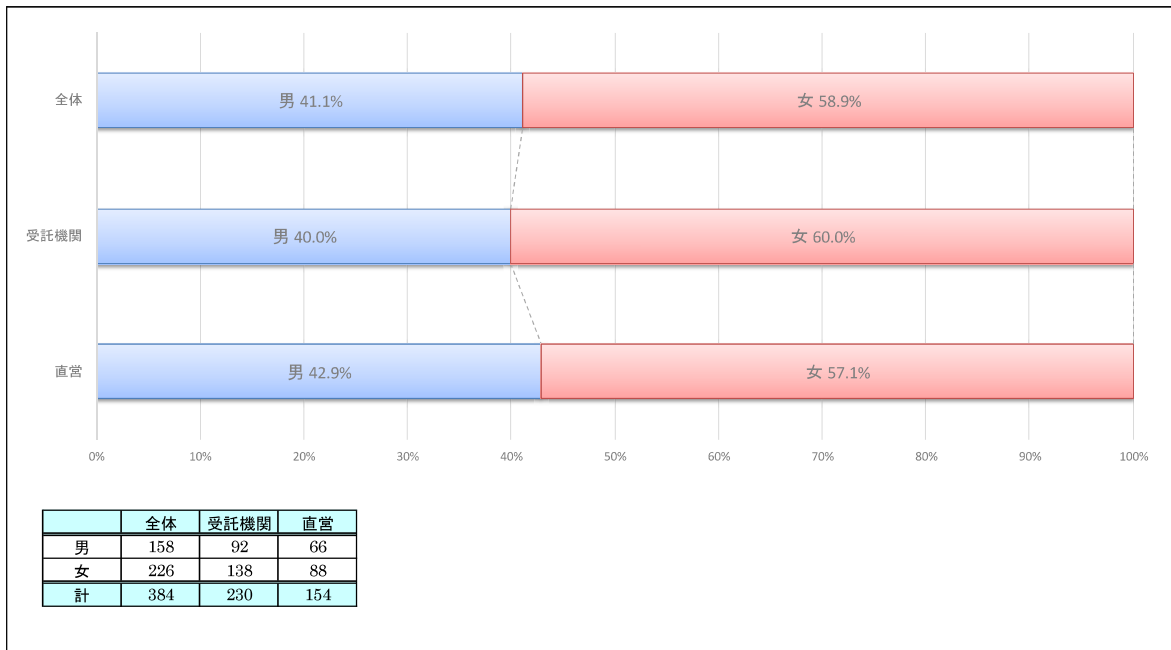
	人数
受託機関	230
直営	154
計	384

うち	
前期免除者	19

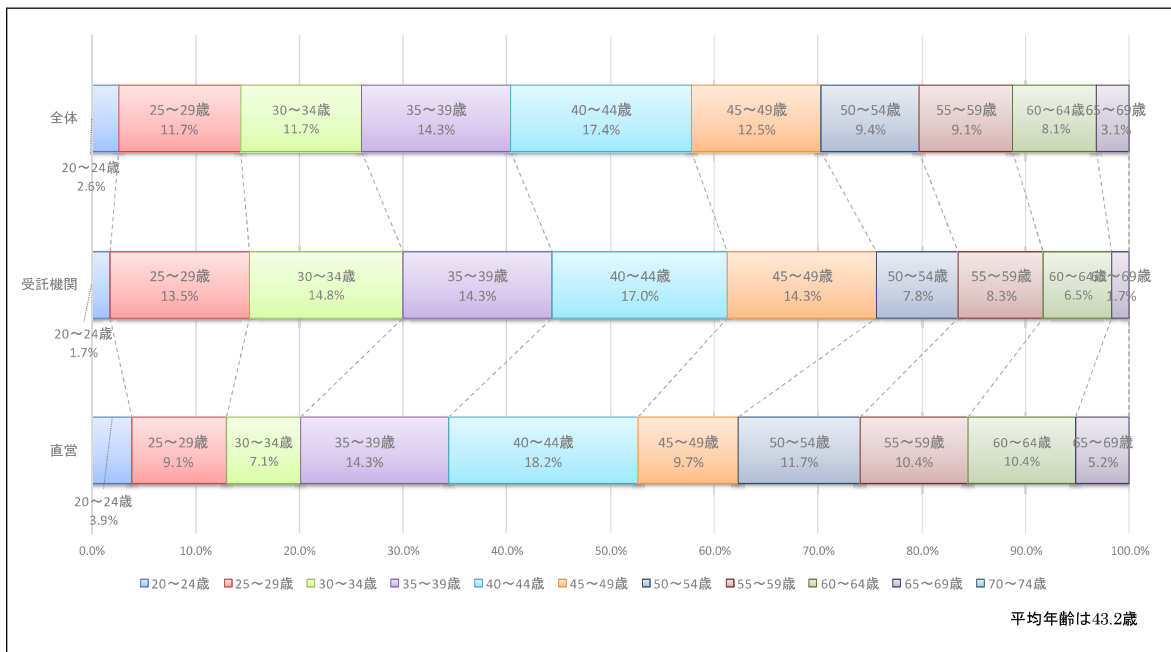
※受託機関230のうち
社協は179(約77.8%)
となっている。



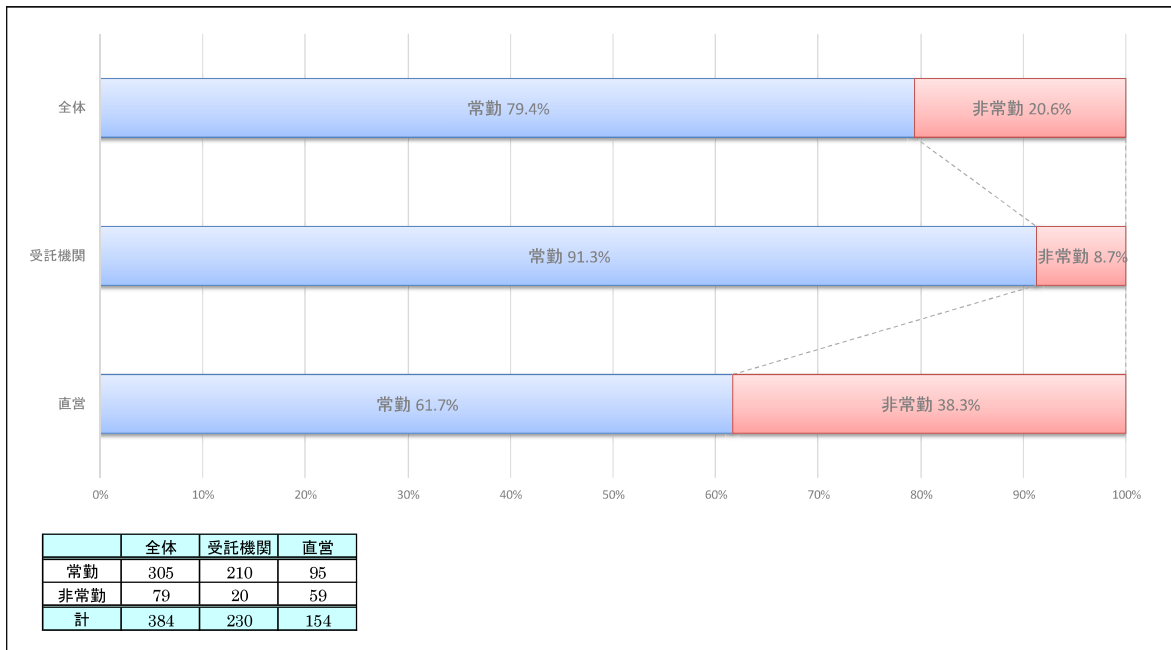
平成28年度 相談支援員養成研修 修了者の男女比



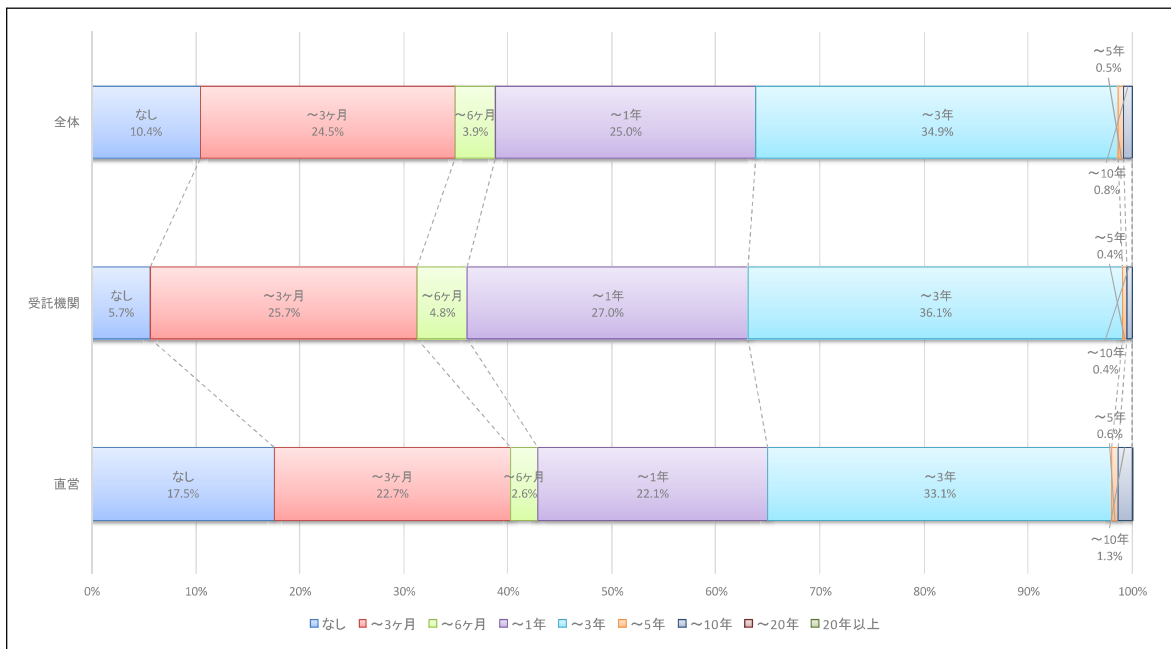
平成28年度 相談支援員養成研修 修了者の年齢構成



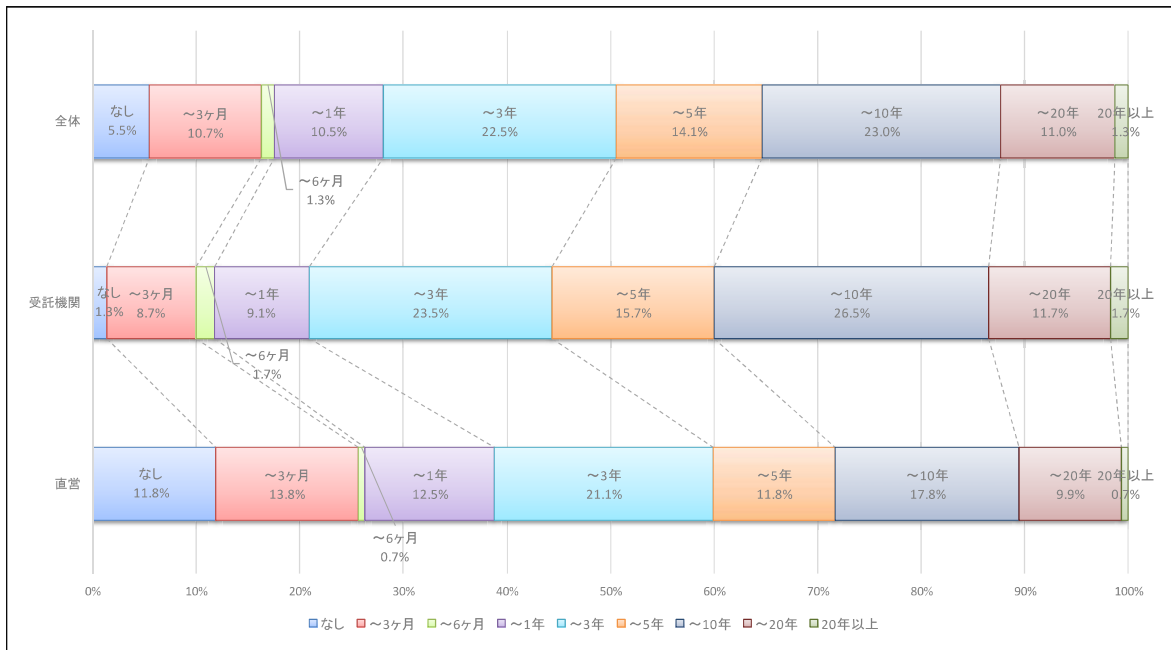
平成28年度 相談支援員養成研修 修了者の勤務形態



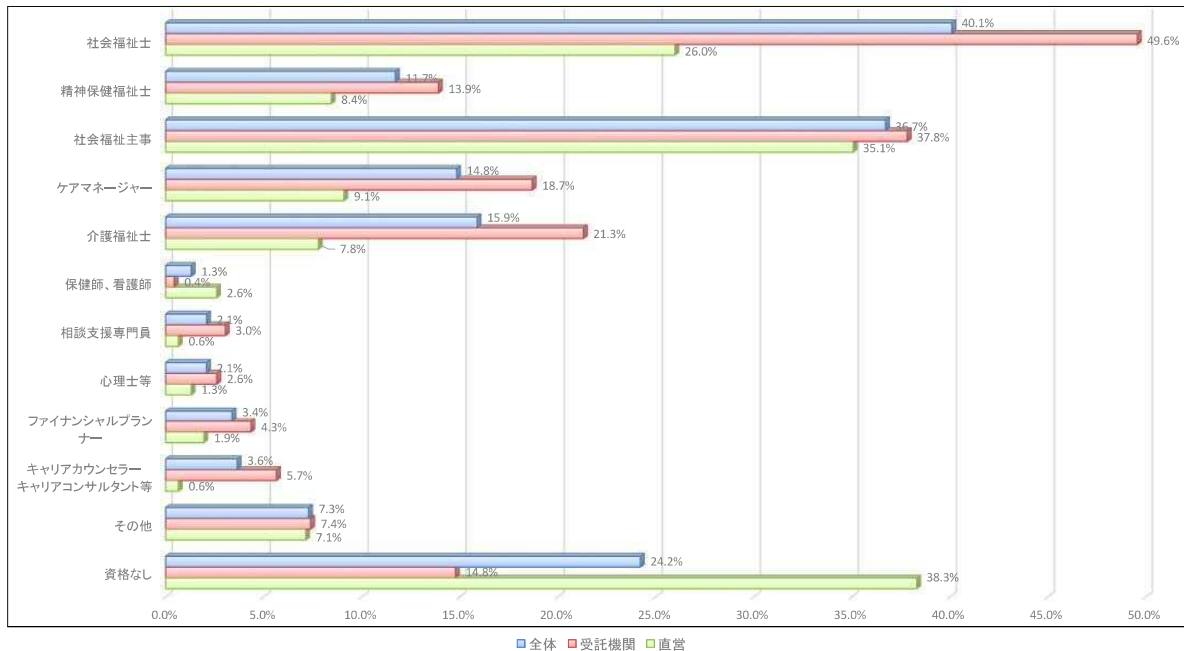
平成28年度 相談支援員養成研修 修了者の現職経験年数



平成28年度 相談支援員養成研修 修了者の相談就労支援通算経験年数



平成28年度 相談支援員養成研修 修了者の資格保有状況

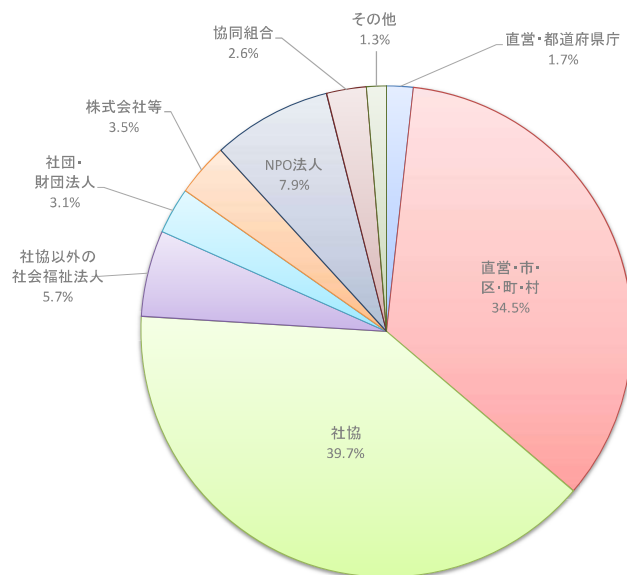


平成28年度 自立相談支援事業従事者養成研修

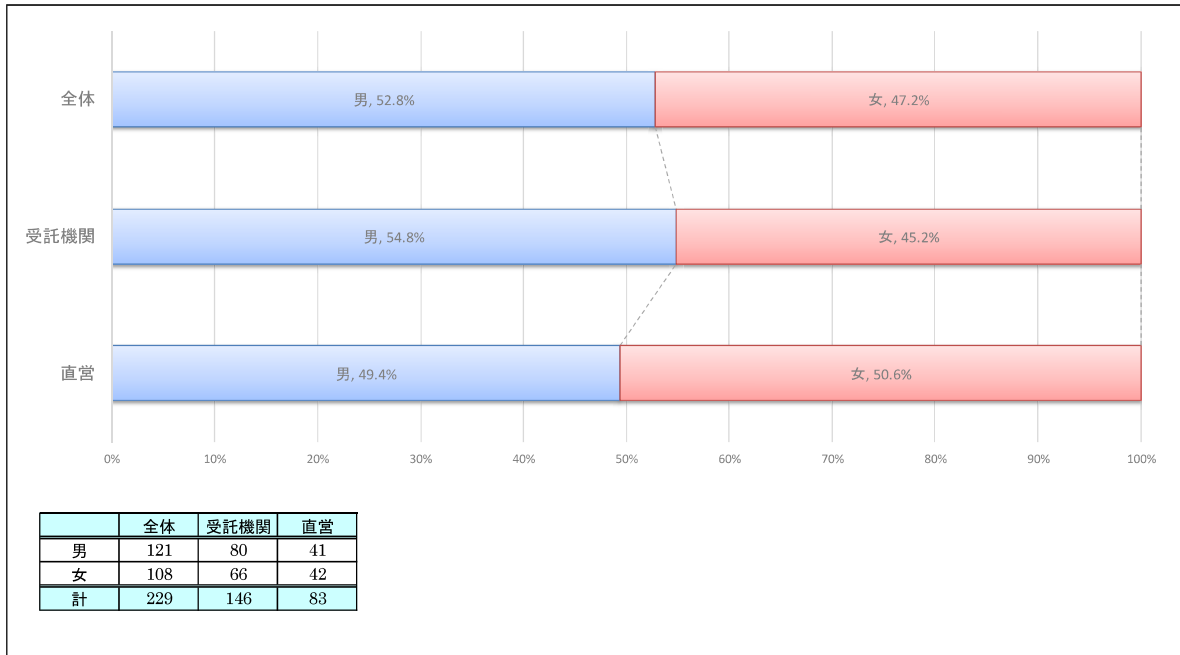
就労支援員養成研修 修了者属性傾向

平成28年度 就労支援員養成研修 修了者の割合

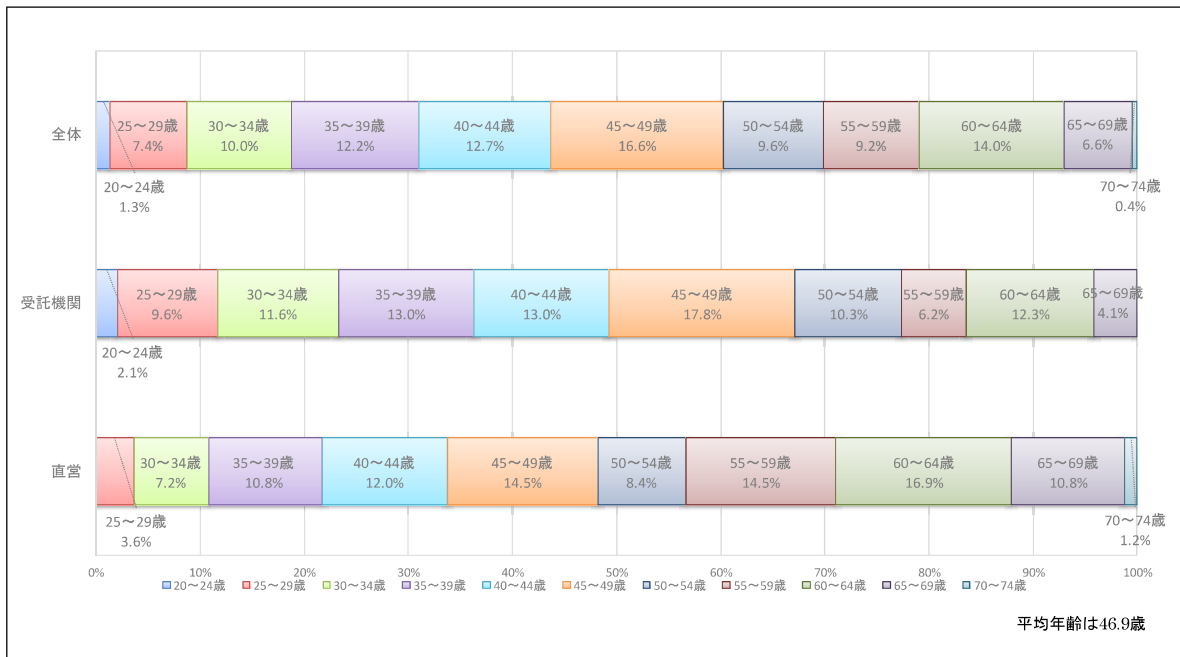
	人数
直営・都道府県庁	4
直営・市・区・町・村	79
社協	91
社協以外の社会福祉法人	13
社団・財団法人	7
株式会社等	8
NPO法人	18
協同組合	6
その他	3
計	229



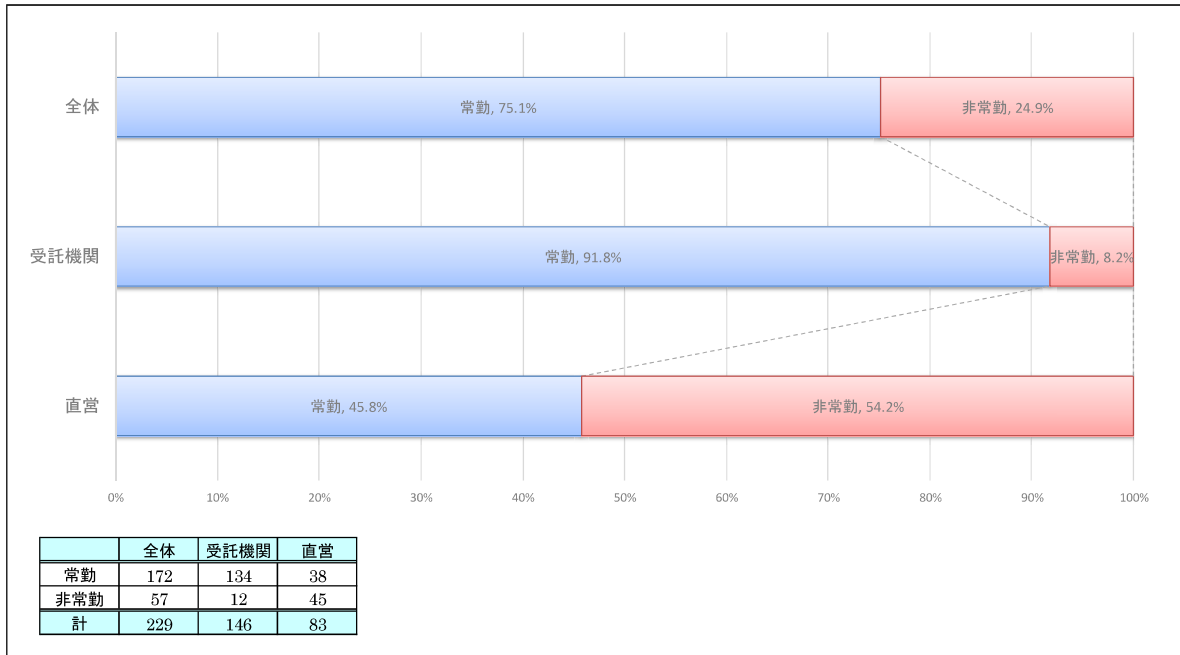
平成28年度 就労支援員養成研修 修了者の男女比



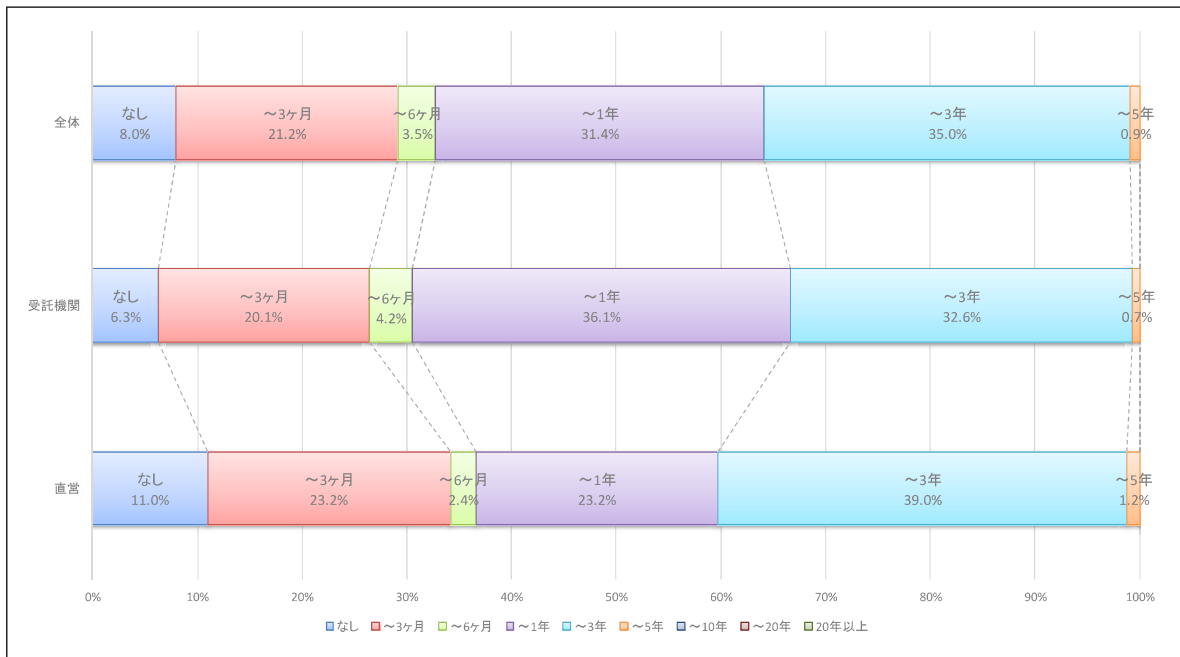
平成28年度 就労支援員養成研修 修了者の年齢構成



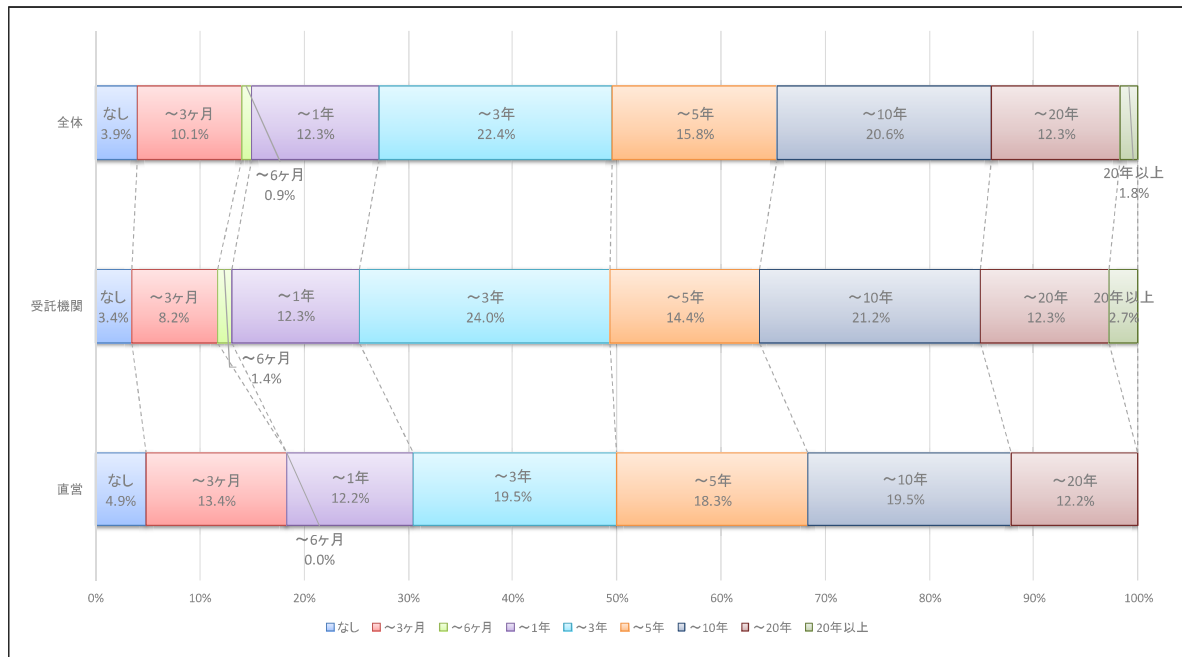
平成28年度 就労支援員養成研修 修了者の勤務形態



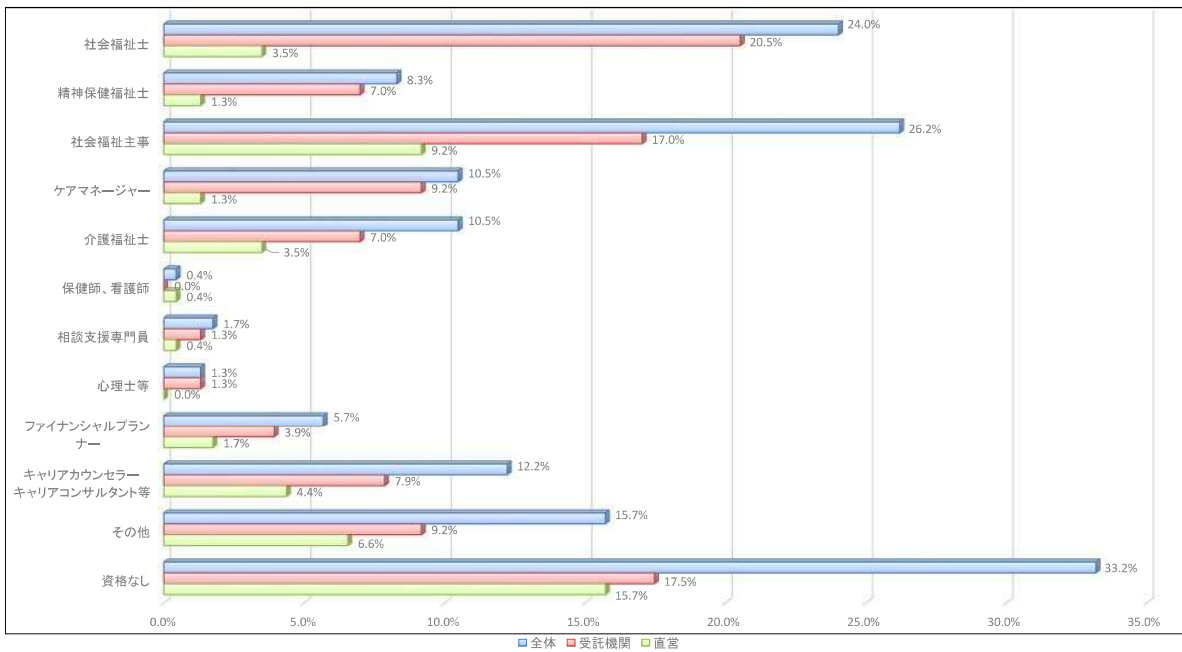
平成28年度 就労支援員養成研修 修了者の現職経験年数



平成28年度 就労支援員養成研修 修了者の就労支援通算経験年数



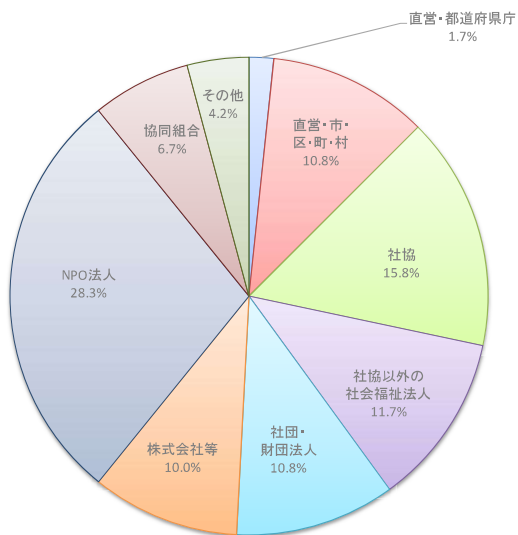
平成28年度 就労支援員養成研修 修了者の資格保有状況



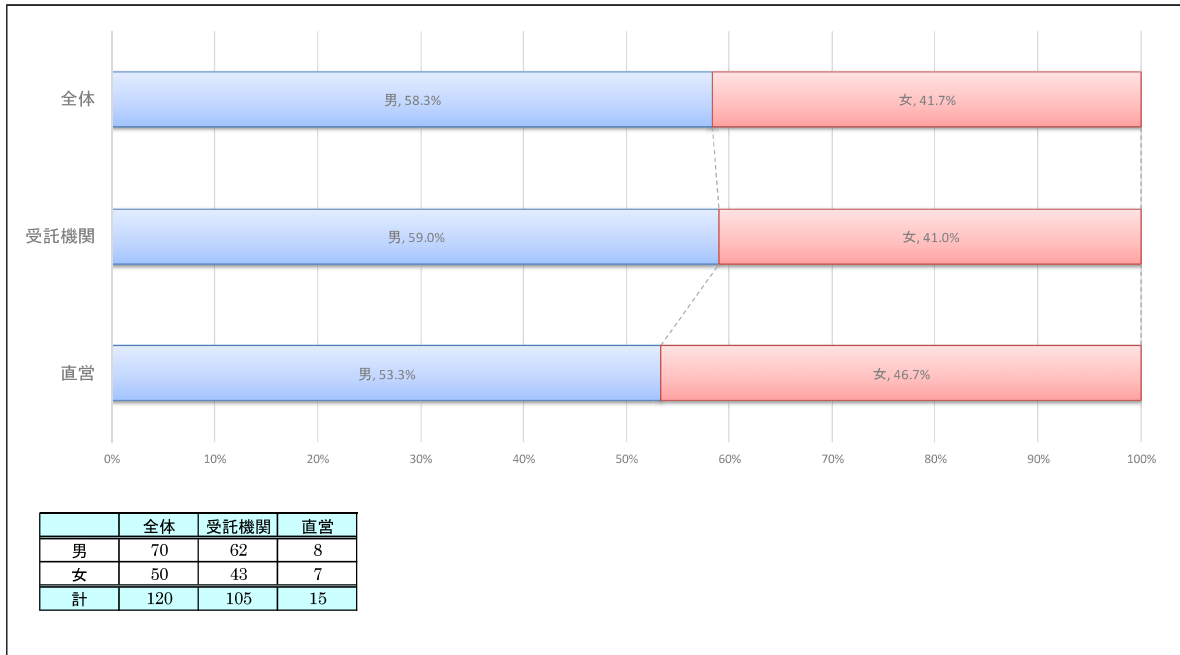
平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の状況

平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の割合

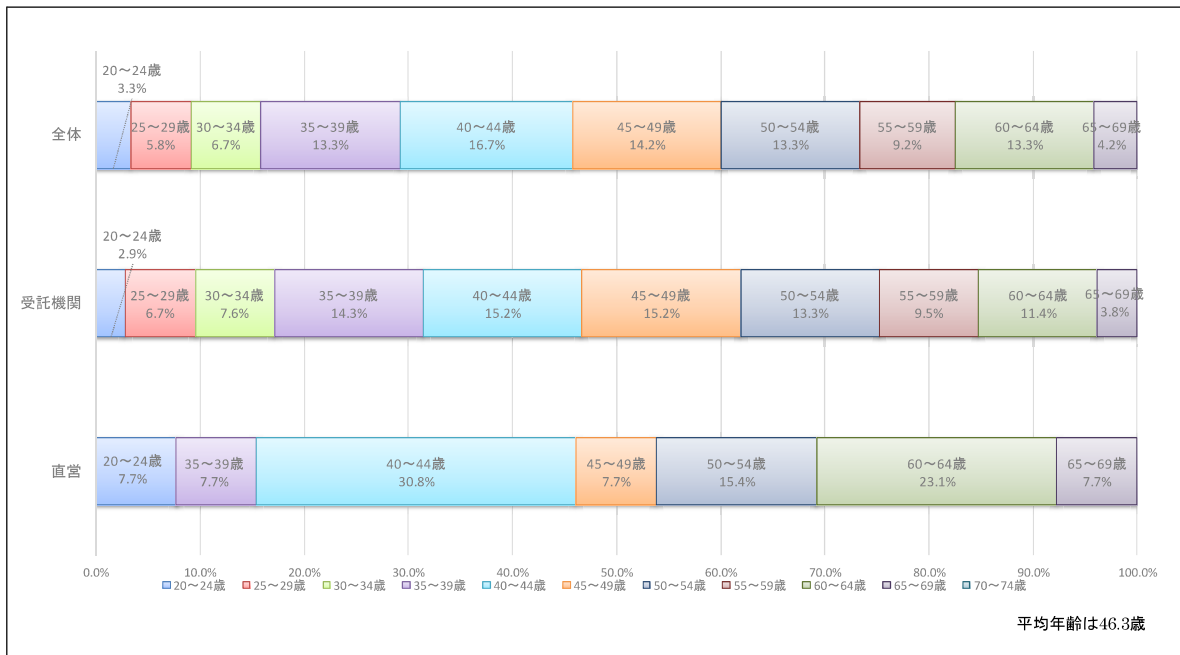
	人数
直営・都道府県庁	2
直営・市・区・町・村	13
社協	19
社協以外の社会福祉法人	14
社団・財団法人	13
株式会社等	12
NPO法人	34
協同組合	8
その他	5
計	120



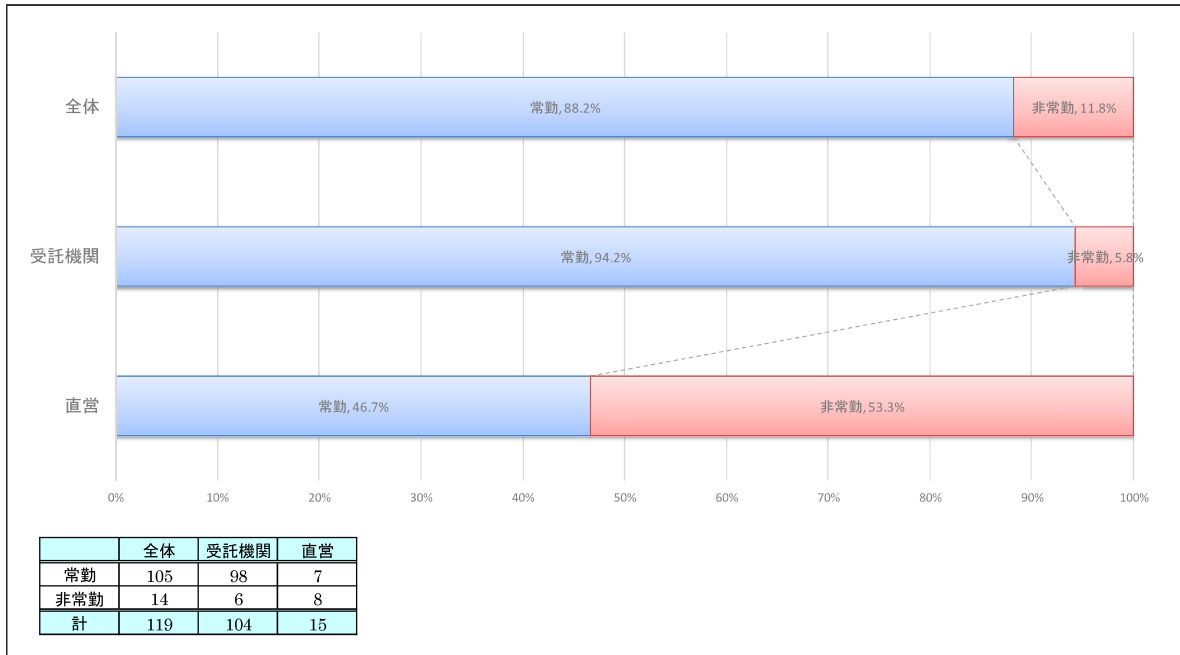
平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の男女比



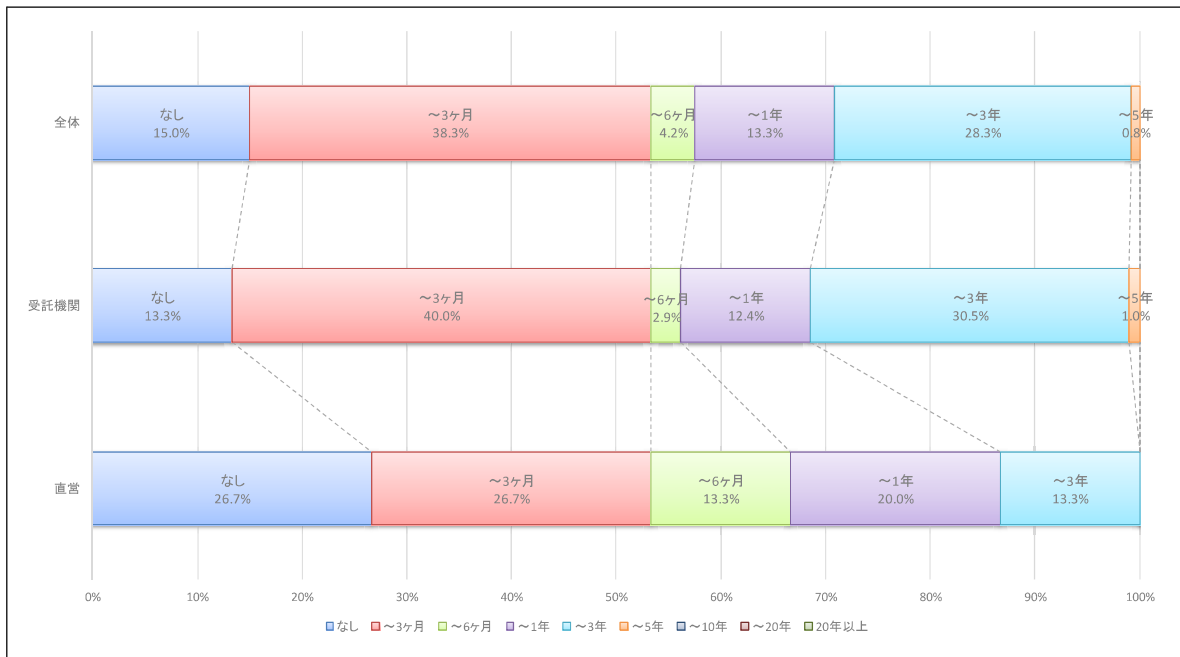
平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の年齢構成



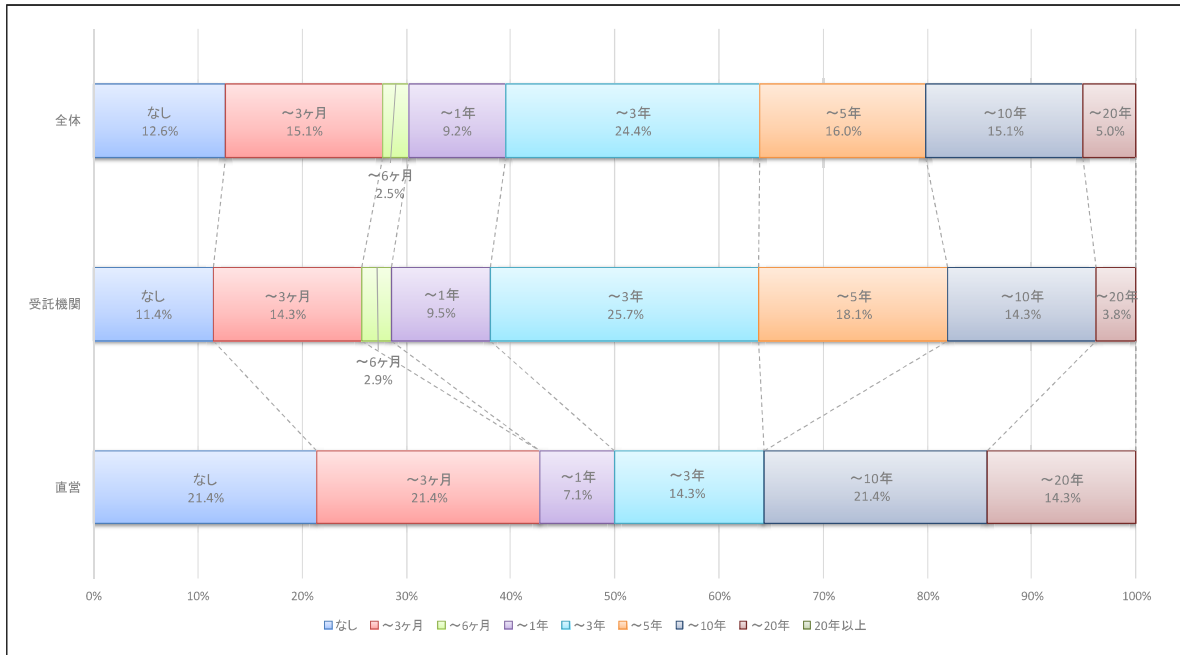
平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の勤務形態



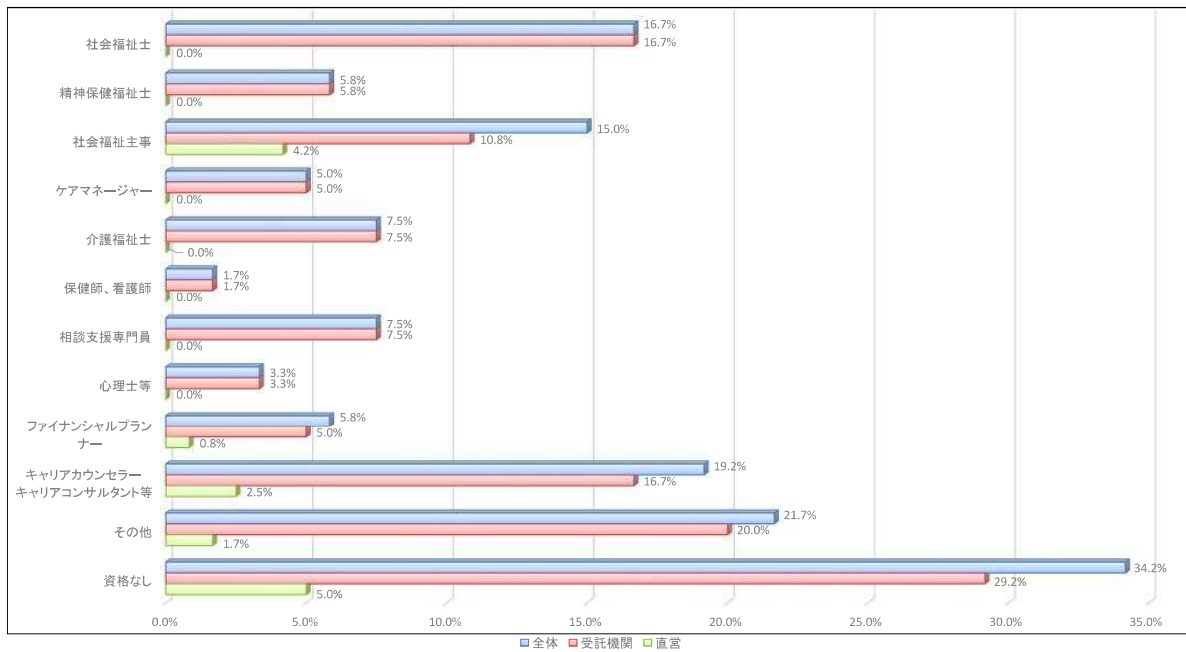
平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の現職経験年数



平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の就労支援通算経験年数



平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 修了者の資格保有状況



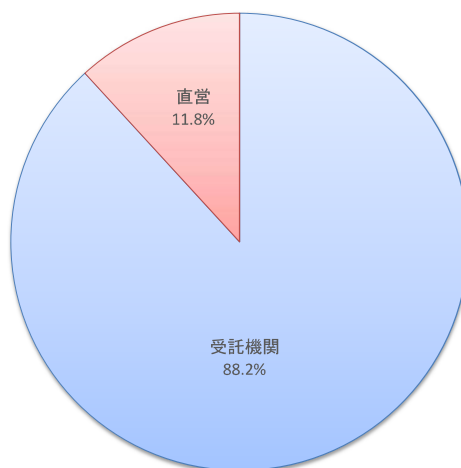
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 【第1,2回】

修了者の傾向

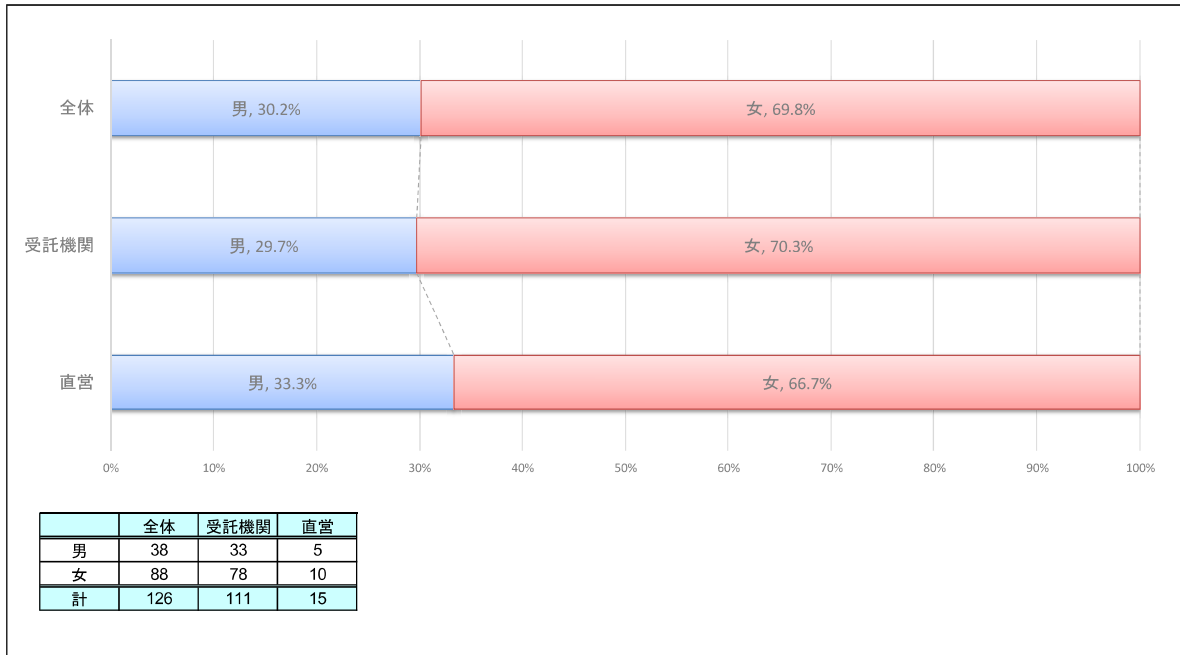
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の割合

	人数
受託機関	112
直営	15
計	127

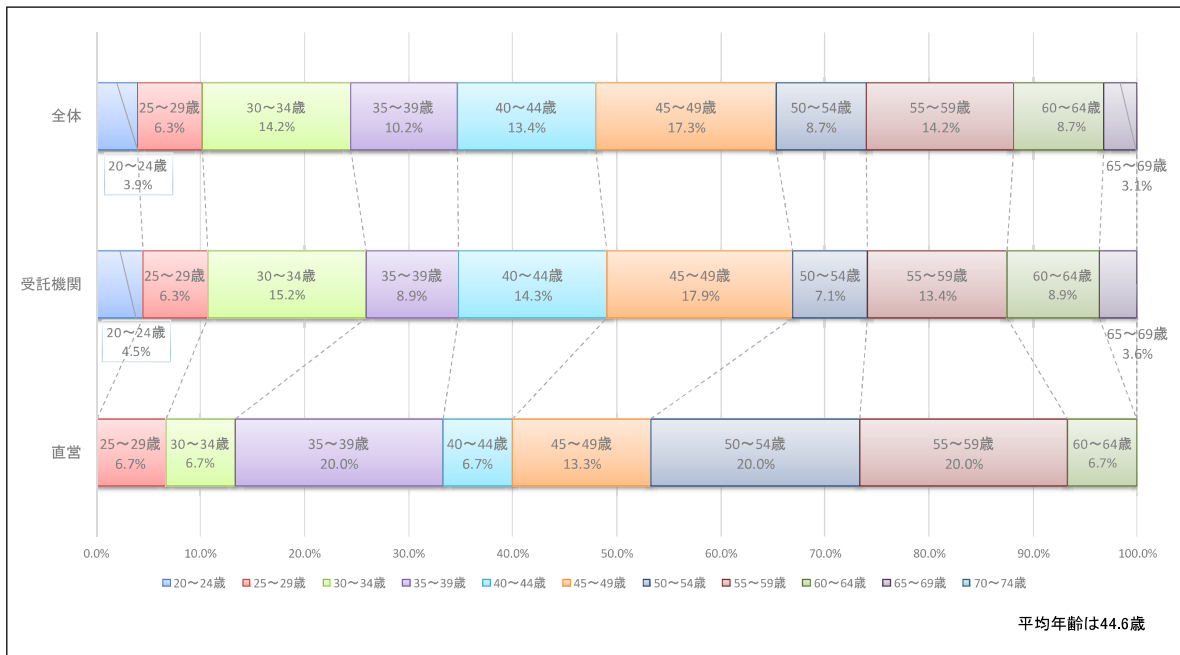
※受託機関112のうち
社協は79(70.5%)
となっている。



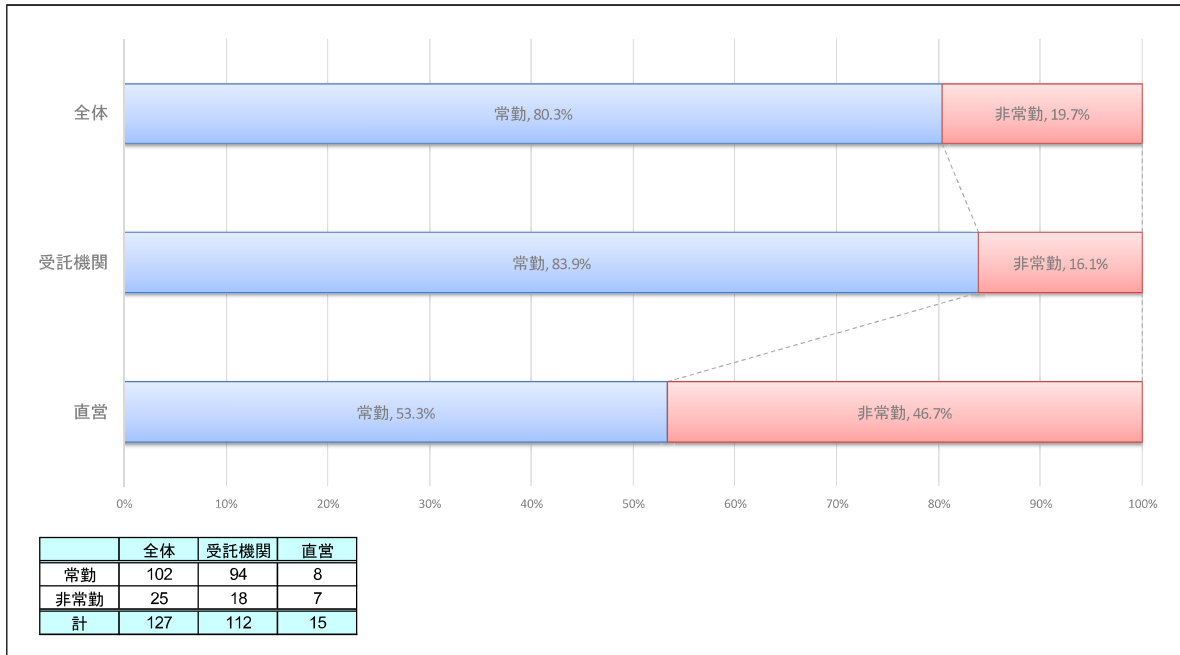
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の男女比



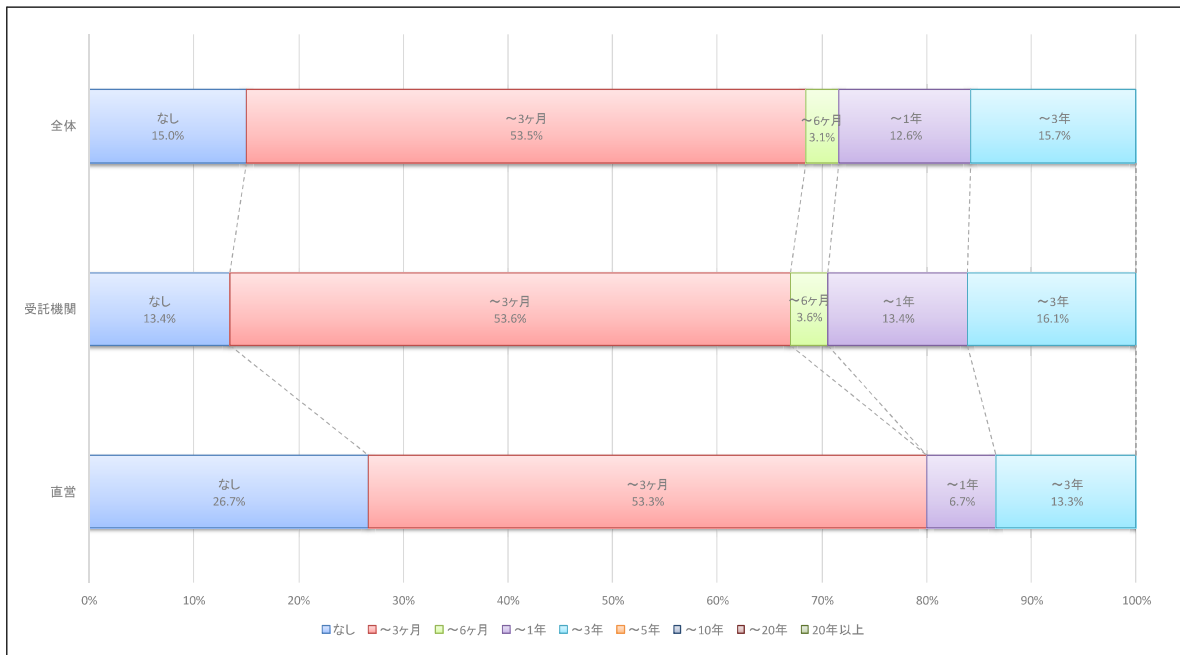
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の年齢構成



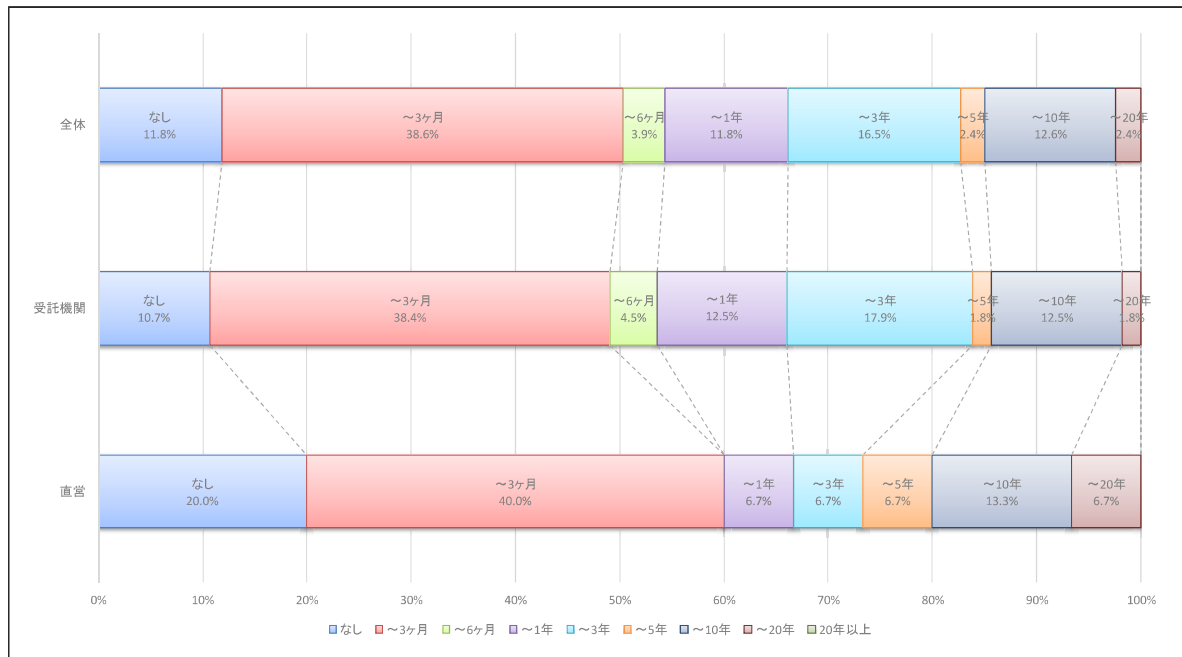
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の勤務形態



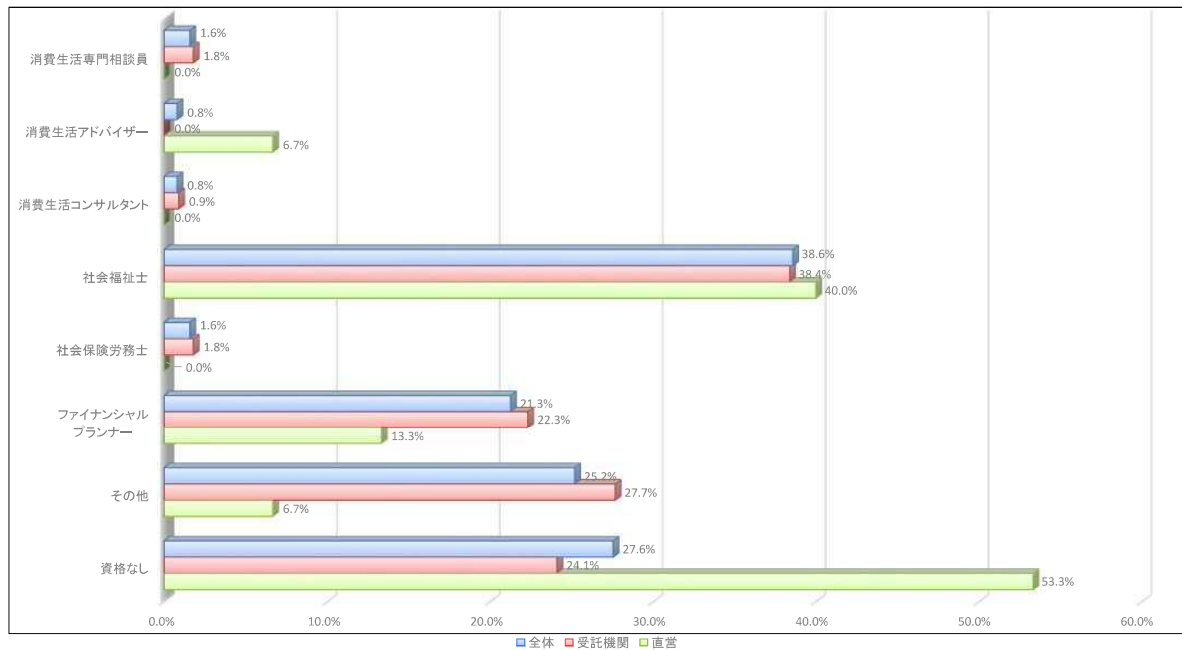
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の現職経験年数



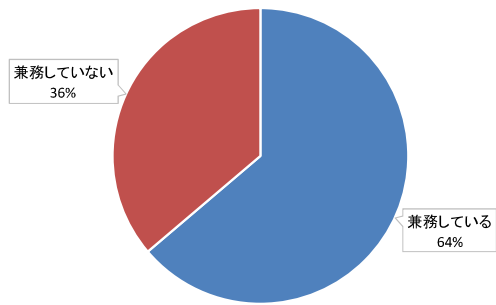
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の家計相談支援通算経験年数



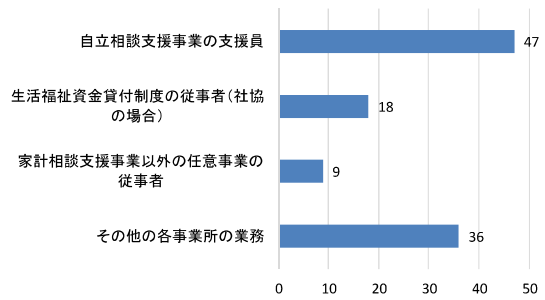
平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 修了者の資格保有状況



平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 兼務の状況



兼務の有無 N=127



兼務の職種

第2章 研修内容の企画

1 企画委員会の概要

委員名簿

氏名(敬称略)	所属	役職	備考
企画・運営委員会			
岩間 伸之	大阪市立大学大学院	教授	
奥田 知志	特定非営利活動法人 抱樸	理事長	
新保 美香	明治学院大学	教授	
高橋 良太	全国社会福祉協議会 地域福祉部	部長	
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	代表理事	
原田 正樹	日本福祉大学	教授	
行岡 みち子	生活協同組合連合会グリーンコープ連合・共同体	常務理事・生活再生 事業推進室長	
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	委員長
自立相談支援研修企画部会 後期主任相談支援員研修チーム			
勝部 麗子	豊中市社会福祉協議会	事務局参事兼 地域福祉課長	
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
新保 美香	明治学院大学	教授	
原田 正樹	日本福祉大学	教授	部会長
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	
自立相談支援研修企画部会 後期相談支援員研修チーム			
朝比奈 ミカ	市川市生活サポートセンター そら (so-ra)	主任相談支援員	
岩間 伸之	大阪市立大学大学院	教授	部会長
上原 久	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センター つながり	所長	
鈴木 晶子	一般社団法人 インクルージョンネットよこはま	理事	

自立相談支援研修企画部会 後期就労支援員研修チーム			
岡野 みゆき	公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会 就職・生活支援パーソナル・サポート・センター	次長兼パーソナル・サ ポート・アドバイザー	
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
櫛部 武俊	一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会	副代表	
新保 美香	明治学院大学	教授	部会長
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	代表理事	
西岡 正次	A'ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）	就労支援室長	
就労準備支援事業従事者養成研修 企画部会			
岡野 みゆき	公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会 就職・生活支援パーソナル・サポート・センター	次長兼パーソナル・サ ポート・アドバイザー	
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	
櫛部 武俊	一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会	副代表	
新保 美香	明治学院大学	教授	
谷口 仁史	特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス	代表理事	部会長
家計相談支援事業従事者養成研修 企画部会			
浅川 剛志	日本司法支援センター 本部 第1事業部	部付弁護士	
北島 千恵	福岡県自立相談支援事務所（筑紫郡・糟屋郡） くらし・しごと・家計 困りごと相談室	家計相談支援員	
福井 浩司	三重県・名張市社会福祉協議会	事務局次長	
行岡 みち子	生活協同組合連合会グリーンコープ連合・共同体	常務理事・生活再生 事業推進室室長	
和田 敏明	ルーテル学院大学	名誉教授	部会長
都道府県研修に係る担当者研修 企画部会			
加留部 貴行	九州大学	客員准教授	部会長

2 企画に係る委員会・部会の実施状況

	開催日時・場所	主な議題(◆出席者)
第1回 企画運営 委員会	平成28年4月11日(月) 19:00～21:00 フクラシア東京ステーション	1. 各研修カリキュラムの概要について 2. 【前期】共通カリキュラム ◆新保氏・高橋(良)・谷口氏・原田氏・和田氏・厚生労働省
主任相談 企画部会	平成28年5月25日(水) 14:00～16:00 全社協 第7会議室	1. 主任相談支援員養成研修プログラムについて 2. 今後の進め方 3. その他 ◆新保氏・原田氏・和田氏・厚生労働省
家計相談 企画部会	平成28年6月8日(水) 18:00～20:00 商工会館 BC 会議室	1. 家計相談支援事業従事者養成研修プログラムについて 2. 今後の進め方 3. その他 ◆浅川氏・北島氏・福井氏・行岡氏・和田氏・厚生労働省
就労準備 企画部会	平成28年6月23日(木) 14:00～16:00 全日通労働組合 7階会 議室	1. 就労準備支援事業従事者養成研修プログラムについて 2. 今後の進め方 3. その他 ◆岡野氏・櫛部氏・新保氏・谷口氏・厚生労働省
相談支援 企画部会	平成28年8月8日(月) 14:00～16:00 全社協 第6会議室	1. 相談支援員養成研修プログラムについて 2. 今後の進め方 3. その他 ◆朝比奈氏・岩間氏・上原氏・鈴木氏・厚生労働省
就労支援 企画部会	平成28年10月17日(月) 14:00～16:00 全社協 第1会議室	1. 就労支援員養成研修プログラムについて 2. 今後の進め方 3. その他 ◆岡野氏・櫛部氏・新保氏・西岡氏・厚生労働省
担当者 企画部会	平成29年1月10日(火) 9:30～11:30 全社協 4階ミーティングスペース	1. プログラムの企画検討について 2. 今後の進め方 3. その他 ◆加留部氏・厚生労働省

3 個別打合せの実施状況

開催日時・場所	主な議題(◆出席者)
【前期】共通カリキュラム	
平成 28 年 5 月 9 日(月) 10:00~11:30 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 前期共通カリキュラム 生活困窮者支援を通じた地域づくり(講義と演習⑨)について (2) その他 ◆和田氏・厚生労働省
平成 28 年 5 月 13 日(金) 13:30~15:30 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 前期共通カリキュラム 就労支援の考え方と実施方法(講義と演習⑥)について (2) その他 ◆新保氏・厚生労働省
平成 28 年 5 月 18 日(水) 17:30~ みずほ情報総研(株)	(1) 前期共通カリキュラム 支援員に求められる基本倫理と基本姿勢(講義と演習④)について (2) その他 ◆新保氏・加留部氏・厚生労働省
平成 28 年 5 月 20 日(金) 11:00~13:00 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 前期共通カリキュラム 相談支援の展開(講義と演習⑤)について ◆岩間氏・厚生労働省
平成 28 年 5 月 25 日(水) 10:00~ 神奈川県立田奈高等学校	(1) 前期共通カリキュラム 生活困窮者支援に必要と考えられる視点②(講義と演習⑧)について (2) その他(視察) ◆原田氏・金澤氏・厚生労働省
【後期】主任相談支援員養成研修	
平成 28 年 7 月 7 日(木) 15:00~17:00 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 後期主任カリキュラム アセスメント・プラン作成(講義と演習③)について (2) その他 ◆朝比奈氏・上原氏・松本氏・厚生労働省
平成 28 年 7 月 19 日(火) 15:40~17:30 全社協 3 階会議室	(1) 後期主任カリキュラム 支援困難事例の検討(講義と演習⑦)について (2) その他 ◆上原氏・新保氏・厚生労働省
【後期】相談支援員養成研修	
平成 28 年 9 月 13 日(火) 14:00~16:00 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 後期相談カリキュラム アウトリーチの考え方(講義と演習⑤)について (2) その他 ◆鈴木氏・高崎氏・河合氏・厚生労働省
平成 28 年 9 月 16 日(金) 11:30~13:00 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 後期相談カリキュラム 相談支援の展開(講義と演習⑥、⑦)について ◆岩間氏・厚生労働省

平成 28 年 9 月 23 日 (金) 10:30~17:00 全社協 第 5 会議室	(1) 後期相談カリキュラム 相談支援の展開(講義と演習⑥、⑦)について ◆岩間氏・朝比奈氏・上原氏・鈴木氏・厚生労働省
平成 28 年 10 月 31 日 (月) 10:00~12:00 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 後期相談カリキュラム 援助関係をつくりにくい人への支援(講義③)について ◆山口氏・厚生労働省
【後期】就労支援員養成研修	
平成 28 年 11 月 3 日 (木) 16:00~17:00 オルター・トレード・ジャパン会議室	(1) 後期就労カリキュラム 自治体による就労支援(講義と演習⑦)について ◆加留部氏・西岡氏・厚生労働省
平成 28 年 11 月 6 日 (日) 10:00~12:00 全社協 4 階ミーティングスペース	(1) 後期就労カリキュラム 個人への就労支援(講義と演習④)について ◆加留部氏・櫛部氏・前田氏・厚生労働省

第3章 研修内容の詳細

1 【前期】共通カリキュラム 養成研修

≪【前期】共通カリキュラム プログラムシート≫

■期日 【第1回】6月16日（木）～18日（土）

【第2回】7月19日（火）～21日（木）

【第3回】8月31日（水）～9月2日（金）

■研修の目標 ①基本を学ぶ ②学んだことを実践できる ③伝達できる（講師になれる）

■各科目の内容について

◆科目：生活困窮者支援の基本的考え方（研修60分）

日時：第1回目 <1日目> 6/16（木） 9：30～10：30

第2回目 <1日目> 7/19（火） 9：30～10：30

第3回目 <1日目> 8/31（水） 9：30～10：30

登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 本後 健 氏

講義のポイント：①制度創設の背景、制度の理念、制度の全体概要、対象者について説明

②任意事業について説明する。とくに、就労準備支援事業と就労訓練事業の違い、家計相談支援事業の支援の流れなど

③連携の必要性（連携通知も提示）について説明

◆科目：自立相談支援事業の目的、支援の流れ（研修60分）

日時：第1回目 <1日目> 6/16（木） 10：40～11：40

第2回目 <1日目> 7/19（火） 10：40～11：40

第3回目 <1日目> 8/31（水） 10：40～11：40

登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏

講義のポイント：①みずほの帳票の役割と支援のプロセスについて。インテーク、アセスメント（課題と支援の方向性の書き方）、プランニング、支援調整会議の方法等

②制度評価指標について

◆科目：自立相談支援事業の目的、支援の流れ（研修90分）

日時：第1回目 <1日目> 6/16（木） 12：40～14：10

第2回目 <1日目> 7/19（火） 12：40～14：10

第3回目 <1日目> 8/31（水） 12：40～14：10

登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長補佐 渡邊 由美子 氏

野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏

野洲市役所 市民生活相談課 主任 宇都宮 誠実 氏

講義のポイント：各種制度の減免・給付制度の活用の実際、医療、介護、障害、年金、住居に関する制度との連携について ※事例を用いて解説

◆科目：支援員に求められる倫理・基本姿勢を支える人材育成と職場づくり(研修 210分+休憩 15分)

日時：第1回目 <1日目> 6/16(木) 14:25~18:10

第2回目 <1日目> 7/19(火) 14:25~18:10

第3回目 <1日目> 8/31(水) 14:25~18:10

登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

講義のポイント：①3つの基本倫理と8つの基本姿勢について演習を用いて説明【新保先生】

②より良い職場づくり、チームづくりについて【新保先生・加留部先生】

③職場や都道府県研修での伝達方法について(動機づけ)【加留部先生】

進行案：

進行時刻	内容
14:25~15:25	<u>1. 新保先生の講義(60分)</u> ・講義の導入で自己紹介フリップを活用する ・昨年度のレジュメにおける「研修企画のポイント(P.11)」以降は、加留部先生が担当する
15:25~15:40	<u>【休憩(15分)】</u>
15:40~18:10	<u>2. 加留部先生の講義(150分)</u> ・新保先生の昨年度のレジュメにおける「研修企画のポイント(P.11)」以降を加留部先生が追加で担当する ・途中で小休憩を入れる予定
終了	

◆科目：相談支援の展開(研修 165分+休憩 15分)

日時：第1回目 <2日目> 6/17(金) 9:00~12:00

第2回目 <3日目> 7/21(木) 9:00~12:00

第3回目 <3日目> 9/2(金) 9:00~12:00

登壇者：大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏

講義のポイント：①相談支援の展開プロセスについて

②インテーク・アセスメントシートおよびプランの作成方法について

資料構成：①講義1レジュメ(昨年度分をベースに作成)

②講義2レジュメ(昨年度分をベースに作成)

③事例シート1、事例シート2(昨年度をベースに作成)

④事例シート3(事例シート2の次の展開について(新規作成))

⑤講義3レジュメ(帳票類標準様式を活用する意義の要点(新規作成))

- ⑥帳票類標準様式を活用する意義（みずほ報告書 P. 44）
- ⑦基本帳票類（みずほ報告書 PP. 9-22）
- ⑧「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すためのポイント（みずほ報告書 PP. 64-65）
- ※④事例シート 3 以外は初日に研修資料一式として配付する
- ※⑥～⑧は事務局が準備する

進行案：

進行時刻	内容
9:00～10:45	<u>講義 1「相談支援の展開」、講義 2「個別支援から地域支援への展開」(105 分)</u> テキスト、資料①～③を用いて講義を行う
10:45～11:00	<u>【休憩 (15 分)】</u> 資料④事例シート 3 を休憩中に事務局が配付する
11:00～12:00	<u>講義 3「帳票類の意義と活用方法」(計 60 分)</u> 資料④～⑧を用いて講義を行う
(～11:37)	1 帳票類概説(37 分)
(～11:40)	2 事例シート 3 の共有(3 分)
(～11:50)	3 個人ワーク(10 分) 資料⑦基本帳票類アセスメントシート「課題と背景要因」に記入
(～11:55)	4 同じ机の 3 人で共有(5 分)
(～12:00)終了	5 まとめ(5 分)

◆科目：就労支援の考え方と実施方法（研修 180 分＋休憩 15 分）

日時：第 1 回目 <2 日目> 6/17（金）13：00～16：15

第 2 回目 <3 日目> 7/21（木）13：00～16：15

第 3 回目 <3 日目> 9/ 2（金）13：00～16：15

登壇者：【講師】明治学院大学 教授 新保 美香 氏

【実践者】A' ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター） 西岡 正次 氏（第 1, 2, 3 回）

社会福祉法人 光明会 山本 樹 氏（第 1, 2 回）

草の根ささえあいプロジェクト 渡辺 ゆりか 氏（第 3 回）（第 1 回聴講予定）

学びのポイント：①就労支援の基本的な考え方について、テキスト 6 章第 1 節を中心に学ぶ

②実践者から基本的な考え方と実践方法について学ぶ

ご講義いただきたいレジュメのテーマ：

①西岡氏…就労支援の基本的考え方について（何故、働く場の開拓をする必要があるのか）

②山本氏・渡辺氏…企業開拓の手法を中心とした、就労支援の実践方法について

進行案：

進行時刻	内容
13:00～13:50	<u>1. 講師（新保先生）によるプログラムの趣旨説明・講義（50 分）【基礎編】</u>
13:50～14:00	<u>2. 実践者の紹介（計 10 分）【実践編】</u>

	①新保先生から、実践編について趣旨説明（2分） ②西岡氏の自己紹介（4分） ③山本氏、渡辺氏の自己紹介（4分） ※自己紹介の際に、就労支援の3か条を示していただきます。
14:00～14:15	<u>【休憩（15分）】</u>
14:15～15:15	<u>3. 西岡氏の講義（計60分）</u> ①西岡氏の講義（50分） ②新保先生から西岡氏にインタビュー、まとめ（10分）
15:15～16:15	<u>4. 山本氏・渡辺氏の講義（計60分）</u> ①山本氏・渡辺氏の講義（50分） ②新保先生から山本氏・渡辺氏にインタビュー、まとめ（10分）
終了	

◆科目：生活困窮者支援に必要と考えられる視点—発達障害者への支援のあり方—（研修50分）

日時：第1回目 <2日目> 6/17（金）16：30～17：20

第2回目 <2日目> 7/20（水）14：15～15：05

第3回目 <2日目> 9/1（木）14：15～15：05

登壇者：厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室
 発達障害対策専門官 日詰 正文 氏（第1,2回）

有限会社 SNOW DREAM 代表 山口 久美 氏（第3回）

講義のポイント：①発達障害者の行動特性と、特性に応じた対応方法

②自立相談支援窓口での対応方法や留意点

◆科目：生活困窮者支援に必要と考えられる視点—対象者の特性を踏まえた支援のあり方—（研修225分）

日時：第1回目 <3日目> 6/18（土）9：00～14：00

第2回目 <2日目> 7/20（水）9：00～14：00

第3回目 <2日目> 9/1（木）9：00～14：00

登壇者：【講師】日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏

【実践者】社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子 氏

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター大曾根 鈴木 美登里 氏

神奈川県立田奈高等学校 金澤 信之 氏

学びのポイント：対象者の特性に合った支援のあり方について学ぶ

テーマ①DV 被害者への支援（遠藤氏）

テーマ②ひきこもり支援の考え方とアウトリーチ（鈴木氏）

テーマ③学校（教育）における支援と連携のあり方（金澤氏）

ご報告いただきたい資料の基本構成（計30分）：

●遠藤氏、鈴木氏

- ①ご自身の紹介や組織・活動の概要（5分程度）
- ②各テーマについての支援事例（典型例、創作も可、フォーマットあり）（約10分）
- ③各テーマについての支援のあり方（約15分）

●金澤氏

- ①ご自身の紹介や組織・活動の概要（約10分）
- ②各テーマについての支援事例（2事例）（約10分）
- ③各テーマについての支援のあり方（約10分）

進行案：

進行時刻	内容
9:00～ 9:05	原田先生 講義の目的等について説明（5分）
9:05～ 9:35	<u>報告者発表①</u> 遠藤氏（DV被害者への支援）（30分）
9:35～ 9:55	原田先生から報告者にインタビュー（20分）
9:55～10:05	受講者が机3人でバズセッション（10分）
	「青（参考になった点）」と「ピンク（課題）」のカードを作って、話し合う
10:05～10:15	会場全体でシェア（10分）
10:15～10:30	【休憩（15分）】
10:30～11:00	<u>報告者発表②</u> 鈴木氏（ひきこもりのアウトリーチ）（30分）
11:00～11:20	原田先生から報告者にインタビュー（20分）
11:20～11:30	受講者が机3人でバズセッション（10分）
11:30～11:40	会場全体でシェア（10分）
11:40～12:40	【昼食休憩（60分）】
12:40～13:10	<u>報告者発表③</u> 金澤氏（学校との連携）（30分）
13:10～13:30	原田先生から報告者にインタビュー（20分）
13:30～13:40	受講者が机3人でバズセッション（10分）
13:40～13:50	会場全体でシェア（10分）
～14:00 修了	原田先生のまとめ（10分）（先生お一人で登壇）

◆科目：生活困窮者支援を通じた地域づくり（研修 160 分＋休憩 15 分）

日時：第 1 回目 <3 日目> 6/18（土）14：15～17：10

第 2 回目 <2 日目> 7/20（水）15：20～18：15

第 3 回目 <2 日目> 9/ 1（木）15：20～18：15

登壇者：【講師】ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏

【実践者】豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏

釧路社会的企業創造協議会 副代表 榎部 武俊 氏

【修了者】長野県社会福祉協議会 主事 山崎 博之 氏

学びのポイント：①地域づくりに関する概念や課題解決の糸口を学ぶ。

②先駆者の報告だけでなく、受講者と近い立場にある修了者の方にご報告いただくことで、自分が取り組むことができる地域づくりの具体的なイメージを持っていただく。

ご報告いただきたいテーマ（自身（組織）の取組に加えて）：

山崎氏…県（県社協）の役割と、県の立場から見た市町村との広域的な連携のあり方について

勝部氏…関係性の構築が困難な相談者への支援と、相談者を取り巻く近隣住民への働き掛けの方法について

榎部氏…参加する場や働く場づくりの考え方と方法について

進行案：

進行時刻	内容
14:15～14:35	1. <u>講師（和田先生）によるプログラムの趣旨説明・講義（20 分）</u>
14:35～15:05	2. <u>修了者（山崎氏）の報告（30 分）</u> ①修了者の報告（15 分） ②報告に対して、和田先生から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（10 分） ③和田先生のまとめ（5 分）
15:05～15:20	<u>【休憩（15 分）】</u>
15:20～17:00	3. <u>実践者（①勝部氏、②榎部氏）の報告（50 分×2 回＝100 分）</u> ①実践者 1 人の報告（勝部氏から）（15 分） ②報告に対して、講師から参考になる点や疑問点等についてインタビュー（15 分） ※受講者は①報告、②インタビューを聞きながら、付箋に「参考になったこと」、「今の自分や地域では難しいと感じたこと」、「報告者に質問したいこと」を記入する。 ③同じ机 3 人で付箋の内容を共有（5 分） ④会場からの質問を受ける（5 分） ⑤実践者、講師それぞれからまとめのコメント（10 分） ※上記①～⑤を 2 回行う。付箋は回収しない。
17:00～17:10	4. <u>講師（和田先生）によるプログラムのまとめ（10 分）</u>
終了	

【前期】共通カリキュラム 研修会の様子



2 【後期】主任相談支援員養成研修

《【後期】主任相談支援員養成研修 プログラムシート》

■期日：8月17日（水）～19日（金） ■受講者数：235名 ■会場：太宰ホール（3日間）

■会場の着席形式 3日間終日グループ形式

最小単位を3人のグループとして、2つのグループ（計6人）で着席する。

1日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる

2日目：近隣

3日目：1日目の3人グループは同じで、組み合わせるグループを別にする

■各科目の内容について

◆科目：【講義と演習①】主任相談支援員の役割

◆日時：＜1日目＞ 8/17（水）10：10～11：30（80分）

◆登壇者：【コーディネーター】

- ・日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏
- ・雄勝福社会 人材育成次長 佐藤 博 氏
- ・厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
自立支援企画調整官 鏑木 奈津子 氏

◆学びのポイント：主任相談支援員の役割、期待される機能について確認する。

◆ご報告いただきたい資料の基本構成

①鏑木氏（20分）

- ・全国の業務実施体制等の現状について
- ・厚生労働省が求める現在の主任相談支援員の役割について

②佐藤氏（25分）

- ・制度を創った当事者の主任相談支援員に対する当時の期待
- ・現在の活動を通して、現場で見えてきている主任相談支援員の役割について

※壇上（下手）原田先生（スクリーン） 佐藤氏、鏑木氏（上手）

※午後のプログラムの関係で6人のグループ形式で着席

◆進行案

進行時刻	内容
10:10～10:20	※最初から3名全員登壇した状態で開始する。事務局が所属と名前を紹介する。 <u>1. 原田先生 本講義の目的、研修3日間の流れ等について説明（10分）</u> 学びの見取り図を使用する
10:20～10:40	<u>2. 鏑木氏の報告（合計20分）</u> ・報告（20分）
10:40～11:05	<u>3. 佐藤氏の報告（合計35分）</u> ・報告（25分）

11:05~11:15	・原田先生から佐藤氏にインタビュー（10分）
11:15~11:30 終了	<u>4. 3者の対談、講義のまとめ（15分）</u> 【コーディネーター】原田先生

◆科目：【講義と演習②】職員の資質向上と職場（組織）づくり

◆日時：＜1日目＞ 8/17（水）11：45～17：00（研修240分+昼食休憩60分+休憩15分、合計315分）

◆登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◆学びのポイント：○職員の育成・教育に向けた方法を学ぶ。

○自立相談支援機関の職場特性を踏まえた職場づくりのあり方を考える。

○スーパービジョンの方法を学ぶ。

◆進行案

進行時刻	内容
10:45~12:30	<u>1. 新保先生 講義（45分）</u> 前期研修の振り返り、事前課題（困難事例）について（支援を育てる等）、スーパービジョンの解説等
12:30~13:30	<u>【昼食休憩（60分）】</u>
13:30~15:45	<u>2. 加留部先生 演習（135分【途中休憩15分】）</u> 演習はロールプレイを行う。同じ机の3人で、主任相談支援員、相談支援員、相談者（自分の事例の相談者）の役割を進める。 ①相談支援員と相談者だけで相談の面談をする。このとき主任は話を背中越しに聴く。 ②主任相談支援員と相談支援員がスーパーバイザーの視点で面談をする。その様子を相談者役が聴いている。 ③相談支援員から相談者役に内容を伝える。 ④主任相談支援員へ面談の方法と内容の両面からフィードバックを行う。
13:30~13:45	・進め方の説明（15分）
13:45~14:20	・1人目（30分+入替5分）
14:20~14:50	・2人目（30分）
14:50~15:05	・休憩（15分）
15:05~15:35	・3人目（30分）
15:35~15:45	・振り返り（10分）
15:45~17:00	<u>3. 新保先生 加留部先生 講義のまとめ（65分）</u>
15:45~16:50	・全体振り返り（ワールド・カフェ）
~17:00 終了	・全体まとめ

※13:30～ 学校形式または6人の島形式、備品なし

※15:45～ 6人の島形式で、各島に模造紙1枚、プロッキー1セット、A4用紙を人数分

◆科目：【講義と演習③】アセスメント・プラン作成

◆日時：＜2日目＞ 8/18（木）9：00～12：45（研修210分＋休憩15分）

◆登壇者：・市川市生活サポートセンター そら（so-ra） 主任相談支援員 朝比奈 ミカ 氏
 ・聖隷福祉事業団 浜松市生活自立相談支援センター つながり 所長 上原 久 氏
 ・我孫子市役所 健康福祉部 社会福祉課 主査 松本 拓馬 氏

◆学びのポイント：○各種帳票を用いてインターク・アセスメントシートを作成する。
 ○事例を通して、スーパービジョンの視点を学ぶ。

※受講形式は6人1組のグループ（属性ランダム）を予定しております。

※壇上（下手）朝比奈氏、松本氏、上原氏（スクリーン）（上手）

◆進行案

進行時刻	内容
	<u>演習1：インターク・アセスメントシート、プランシート（ポイントのみ）の作成（120分）</u>
9:00～9:10	①導入（朝比奈氏）（3分）、事例シート1を紹介（松本氏）（7分）
9:10～9:20	②インターク・アセスメントシートを紹介（松本氏）（10分）
9:20～9:35	③個人ワーク インターク・アセスメントシートに記入（15分） 記入項目（アセスメント結果の整理と支援方針の検討「課題と背景要因」、 「※課題のまとめと支援の方向性」（これ以外の項目は記入済み）
9:35～10:05	④グループ共有→グループシートA1サイズに整理（30分） →講師陣は会場内を回り、グループ発表をするグループを決める
10:05～10:35	⑤グループ発表（3グループ×5分=15分）＋解説（15分）＝（30分） →解説は朝比奈氏が各実践者に振る
10:35～10:40	⑥「 <u>インターク・アセスメントシート参考案</u> 」、「 <u>プラン兼事業等利用申込書参考案</u> 」を 事務局が配付する（5分）
10:40～11:00	⑦朝比奈氏と松本氏が参考案について解説する（20分）
11:00～11:15	【休憩（15分）】 事例シート2、ワークシートを配付
	<u>演習2：主任の視点・スーパービジョンについて学ぶ（90分）</u>
11:15～11:20	①導入（上原氏）（5分）
11:20～11:30	②事例シート②を紹介（松本氏）（10分）
11:30～11:37	③個人ワーク ワークシートに記入（主任としてどう対応するか考える）（上原氏）（7分）
11:37～11:55	④グループワーク 共有（18分） →講師陣は会場内を回り、グループ発表をするグループを決める
11:55～12:10	⑤グループ発表（3グループ×5分=15分）
12:10～12:45	⑥レジュメに基づき解説（上原氏）、まとめ（全員）（35分）

◆研修資料

①自立相談支援事業における使用標準様式の実用化に向けた調査研究 報告書（みずほ情報総研 平成26

年度)PP.64-65 「課題のまとめと支援の方向性」を導き出すための実践上のポイント(事務局)

- ②事例から学ぶ自立相談支援の基本 (みずほ情報総研 平成 27 年度) PP. 2-3 本人理解にもとづく相談支援の考え方 (事務局)
- ③事例シート 1 (松本氏)
- ④インテーク・アセスメントシート 個人ワーク用 (松本氏)
- ⑤インテーク・アセスメントシート グループワーク用 A1 サイズ (事務局)
- ⑥インテーク・アセスメントシート 参考案 (松本氏) ※当日配布
- ⑦プラン件事業等利用申込書 参考案 (松本氏) ※当日配布
- ⑧演習 2 レジュメ (上原氏)
- ⑨事例シート 2 (松本氏) ※当日配布
- ⑩演習 2 ワークシート (事務局) ※当日配布

◆科目：【講義④】生活困窮者支援と地域づくりの意義

- ◆日時：<2 日目> 8/18 (木) 13:45~14:45 (60 分)
- ◆登壇者：ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏
- ◆学びのポイント：○なぜ困窮者支援に地域づくりが必要なのか
 - 生活困窮者自立支援と地域福祉計画
 - 生活困窮者自立支援と他の分野との連携
- ◆講義形式

◆科目：【講義と演習⑤】個を支える地域づくり

- ◆日時：<2 日目> 8/18 (木) 15:00~18:15 (研修 180 分+休憩 15 分)
- ◆登壇者：【講師】日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏
【コメンテーター】ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏
【実践者】氷見市社会福祉協議会 森脇 俊二 氏
- ◆学びのポイント：○個と地域の一体的支援について学ぶ。
 - 事例を通して地域を作る必要性や地域づくりを他人事にせず、一体的に考える必要性を伝える。
- ◆資料の基本構成
 - (前半) ①ケースの概略シート (エコマップ記入シート付)
 - ②プロセスレポートシート個人記入用 A3
 - ③エコマップパワーポイント ※当日配布
 - ④プロセスレポートシート記入済み※当日配布
 - (後半) ①ケースメソッド 3つの事例
 - ②予防と新しい支援の仕組みを考えるワークシート (個人用 A3)
 - ③予防と新しい支援の仕組みを考えるワークシート (グループ用 A1)

※受講者は6人1組のグループ

※壇上 (下手) 原田先生、森脇氏 (スクリーン) (上手)

和田先生は会場後方の関係者席で聴講していただき、コメントをいただく際に登壇する。

◆進行案

進行時刻	内容
	◆前半 (90分) ソーシャルサポートネットワークを作るプロセスを学ぶ
15:00~15:10	1. 講義の目的 (原田先生) + 事例紹介①「会う前」 (森脇氏) 10分 事例概略シートで紹介する
15:10~15:20	2. 個人ワーク エコマップ①書き方説明 (原田先生) + 作成 10分
15:20~15:30	3. 事例紹介②「会ってから現在」 (森脇氏) 10分
15:30~15:35	4. 個人ワーク エコマップ②作成 5分
15:35~15:45	5. 個人ワーク プロセスレポートシートの整理 10分
15:45~16:00	6. グループワーク プロセスレポートシート共有 15分 <u>7. の前にエコマップ、プロセスレポートシート記入済み</u> を配付する
16:00~16:10	7. グループワーク 支援のポイント共有 10分
16:10~16:30	8. 全体共有 グループ発表+解説 (原田先生) 20分
16:30~16:45	◆休憩 15分
	◆後半 (90分) ソーシャルサポートネットワークの作り方を学ぶ
16:45~16:47	1. 講義の目的 (原田先生) 2分
16:47~16:57	2. 事例紹介 (森脇氏) 10分
16:57~17:05	3. 個人ワーク ワークシート記入 8分
17:05~17:25	4. グループワーク 支援内容について討議 20分
17:25~17:45	5. グループワーク 報告・ディスカッション 10分×2セット
17:45~18:05	6. 解説・事例紹介仕組みづくりについて (原田先生・和田先生) 20分
~18:15 終了	<u>※10分の余裕をもたせています</u>

※6人の島形式で、プロッキー1セット (なお、付箋 (赤、青) は事前配付済みです)

◆科目:【講義と演習⑥】社会資源とネットワークの開発

◆日時: <3日目> 8/19 (金) 9:00~12:20 (研修 185分+休憩 15分)

◆登壇者:【講師】日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏

【実践者】・高島市社会福祉協議会 常務理事・事務局長 井岡 仁志 氏

・金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏

・NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏

◆学びのポイント: ○社会資源開発や創出の必要性和、他分野との具体的な連携の作法を学ぶ。

○ネットワークを作る手法を持ち帰ってもらう。

※受講者は6人1組のグループ

※壇上（下手）原田先生、井岡氏（スクリーン） 中氏、谷口氏（上手）

◆進行案

進行時刻	内容
9:00～ 9:05	1. <u>原田先生 講義の目的等について説明（5分）</u> ※最初から4名全員登壇
9:05～ 9:20	2. <u>実践者の自己紹介（合計15分）</u> ①井岡氏、②中氏、③谷口氏（各自5分）
9:20～ 9:30	3. <u>【シンポジウム】事例を通じた実践者の報告（合計75分）</u> ①井岡氏から事例①の報告（10分）
9:30～ 9:37	②【問1】井岡氏の事例①を踏まえ、同じソーシャルワーカーとして、どのように対応するのかプロセスについて発言（計7分） 中氏（5分）、井岡氏補足等（2分）
9:37～ 9:45	③【問2】井岡氏の事例①を踏まえ、他機関連携の視点からの発言（計8分） 中氏（包括として、どのように対応するのか）（5分）、井岡氏補足等（3分）
9:45～ 9:55	④井岡氏から事例②の報告（10分）
9:55～10:02	⑤【問1】井岡氏の事例②を踏まえ、同じソーシャルワーカーとして、どのように対応するのかプロセスについて発言（計7分） 谷口氏（5分）、井岡氏補足等（2分）
10:02～10:10	⑥【問2】井岡氏の事例②を踏まえ、他機関連携の視点からの発言（計8分） 谷口氏（サポステとして、どのように対応するのか）（5分）、井岡氏補足等（3分）
10:10～10:25	⑦【問3】各実践者が考える社会資源開発において大切にしていることやポイント、留意点を紹介（計15分） 井岡氏、中氏、谷口氏（各自5分）
10:25～10:35	⑧会場からの質問対応、まとめ（10分）
10:35～10:50	【休憩（15分）】
10:50～11:05	4. <u>【演習】ネットワーク構築むけた企画（合計95分）</u> 【目的】 社会資源開発をしていくためには、日常的に関係機関とネットワークを構築しておく必要がある。そのためにも関係機関を召集して会議をする際に、効果的な会議を運営していくことが大切である。本演習では、ネットワークにより新しい取り組みや社会資源開発を促していけるよう、議論を活性化させるための工夫について検討する。
11:05～11:10	【プログラム】 ①演習の目的： 高島市の事例（運営委員会の運営の仕方）
11:10～11:30	②演習の進め方の説明
11:30～12:00	③演習Ⅰ： 生活困窮者支援に必要な諸機関を確認する。
12:00～12:25	④演習Ⅱ： 関係機関の担当者を集めてネットワークをつくるための会議の企画をする。 ⑤発表とコメント
※適宜5分短縮して12:20	【進め方】

<p>に終了</p>	<p>井岡さんから高島市での「つながり応援センターよろず運営委員会」の事例報告 → 井岡さん資料作成 ※各グループに模造紙一枚、マジック一式、カード1セットを配布する。 模造紙を半分にしてラインをマジックで書き、左右にする。</p> <p>演習Ⅰ 各自で必要だと思われる諸機関の名称をカードに記入する。5分間で書けるだけ。 模造紙に左側に張り出して確認をする。必要なものがあれば書き足す。</p> <p>演習Ⅱ 諸機関の担当者が集まって最初の会議を行うことになった。 120分の会議の企画を考える。 模造紙の右側に会議の企画を記入する。約25分 (記入解説シートを配付する可能性あり) いくつかのグループに報告をしてもらう。</p> <p>それに対して、3人からコメントをしてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを通してのコメント ・多機関がネットワークをしていくための留意点についてコメント
------------	--

◆実践者の皆様にご用意いただきたい資料：

- 井岡氏、谷口氏、中氏 … ①ご自身や所属団体の紹介(各自5分)(パワポ形式、フォーマット自由)
②問3. 社会資源開発の留意点(各自5分)(パワポ形式、フォーマットあり)
- 井岡氏のみ … ①個別支援を通してネットワークを構築した事例(20分)
(パワポ形式、フォーマット自由、個人が特定できない内容)
テーマは①高齢者の介護、就労等(包括)と②若者のひきこもり等(サポステ)が
関わる事例です。
- ②「つながり応援センターよろず運営委員会」の事例報告
- 谷口氏、中氏 … 井岡氏が作成する事例を受けて、下記の2つの間にお答えいただく
(パワポ形式、フォーマットあり)
- 問1. 同じソーシャルワーカーとして、この事例にどのように対応するのか
プロセスを教えてください(各自5分)
- 問2. 他機関連携の視点から
谷口氏 サポステとして、どのように対応するのか教えてください(5分)
中氏 包括として、どのように対応するのか教えてください(5分)
- 原田先生 … 後半 会議の企画に関して、記入解説シートを配付する可能性あり
- ※6人の島形式で、各島に模造紙1枚、プロッキー1セット(なお、付箋(赤・青)は事前配付済みです)

◆科目：【講義と演習⑦】支援困難事例の検討

◆日時：＜3日目＞ 8/19（金）13：10～16：25（研修180分＋休憩15分、合計195分）

◆登壇者：ファシリテーター：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

スーパーバイザー：聖隷福祉事業団

浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏

アドバイザー：高島市社会福祉協議会 常務理事・事務局長 井岡 仁志 氏

金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏

NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏

◆位置づけ：研修のまとめ（個別支援、職場づくり、地域づくり）

◆学びのポイント：①高度な相談支援（困難ケース）について、具体的な支援の考え方やその方法について学ぶ。

②主任研修であるため、個別支援とともに地域支援の視点も取り入れる。

※受講者には「高度な相談支援が必要とされる（された）」支援事例をまとめる事前課題を提出してもらっている。それをふまえた内容とする。

◆進行案

進行時刻	内容
13:10～13:30 (20分)	<p><u>1. 導入</u>（※6名×1グループで着席する）</p> <p>①登壇者紹介、本講義・演習のすすめかたの説明（10分）</p> <p>②支援事例の振り返り（3日間の研修で「事前課題」の事例に対して、どのような示唆が与えられたか各自で振り返り、報告の準備をする）（10分）</p>
13:30～14:40 (70分)	<p><u>2. ピアスーパービジョン</u></p> <p>①報告者が「事例の概要と今後の対応の方向性」を報告し、報告者以外のメンバーは付箋にスーパービジョンの視点をふまえた「ひとことメッセージ」を記入する。 → 報告：5分 + 付箋：2分 計7分×6人分 = 42分</p> <p>②最後に、グループで1つ深めたい事例を選定し、模造紙に可視化する。（約30分） ※スーパーバイザー・アドバイザーは、適宜グループを巡回し、可能であれば、報告をきき、付箋にメッセージを書いて渡していただく。</p>
14:40～14:55	【休憩（15分）】
14:55～15:35 (40分)	<p><u>3. 事例検討 パート1</u>（ワールドカフェ方式で）</p> <p>①テーブルごとに、事例検討を行う。</p> <p>1）はじめのグループでの検討（15分）</p> <p>2）近くのテーブルを移動しての検討（20分） （移動5分→説明5分→ディスカッション10分）</p> <p>3）元のテーブルに戻っていただく。</p> <p>②全体で共有したい事例を1つ選定する。（5分） ※スーパーバイザー・アドバイザーに、適宜グループを巡回していただき、全体で共有し、深めるとよいと思われる事例を1つ選定していただく。（この時間の最後に、すぐ</p>

	に指名していただけるよう、時間中にあらかじめご相談いただく。)
15:35~16:05 (30分)	<u>4. 事例検討パート2 (アドバイザー・スーパーバイザーによるスーパービジョン)</u> ①事例紹介：事例提供者に事例の概要と検討結果を報告していただく (5分) ②アドバイザーからのアドバイス (3分×3名=10分) 井岡さん→中さん→谷口さん ③事例提供者からのフィードバックと上原さんコメント (10分) ※この枠については、進行に5分間の余裕を持たせています。
16:05~16:15	<u>5. 上原さんによるスーパービジョン (全体総括) (10分)</u>
16:15~16:25 (10分)	<u>6. まとめ</u> ①参加者振り返り (ひとことフィードバック) ②本講義・演習を振り返り、締めくくりのメッセージを伝える (新保先生)

※6人の島形式で、各島に模造紙1枚、プロッキー1セット (付箋は事前配付済み)

◆科目：【講義と演習⑧】研修の振り返り

- ◆日時：<3日目> 8/19 (金) 16:35~17:05 (30分)
- ◆登壇者：日本福祉大学 教授 原田 正樹 氏
- ◆学びのポイント：○3日間の研修を振り返る
- ◆講義形式

生活困窮者自立支援制度における主任相談支援員の役割

- 個人への丁寧な相談支援とともに、地域づくりを視野に入れた、チームによる包括的な支援体制を整備する視点を持つ必要がある。
- 社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発することが求められる。
- なお、支援困難事例に対応するとともに、スーパービジョンや人材養成を通して、支援の抜け漏れや偏りを防ぐことも重要である。
- また、支援員一人一人が自らの専門性を発揮し、より良い実践を展開していけるよう、職場づくりやリスクマネジメントにも取り組む必要がある。

⇒ 主任相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しましょう。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 支援困難な事案への対応
- ・ 高度な相談支援の展開
- ・ 包括的、個別的、早期的、継続的、創造的な支援の実施

“しつかり”

相談業務のマネジメント

- ・ スーパービジョンや人材育成
- ・ 支援内容及び進捗状況の確認、助言、指導
- ・ 業務全体のリスクマネジメント
- ・ 理念の共有に向けた働き掛け
- ・ リーダーシップの発揮

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 関係機関との連携、協働
- ・ 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援
- ・ より良い職場づくり
- ・ 相談支援員、就労支援員との協働・支援

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者とのネットワークの構築
- ・ 働く場、参加する場の開拓
- ・ 地域住民への普及、啓発活動
- ・ 地域の支援レベルの向上に向けた取組

【後期】主任相談支援員養成研修 学びの見取り図

平成28年度【後期】主任相談支援員養成研修 学びの見取り図

科目	“まっち” 丁寧な相談支援			“しっかい” 相談業務のマネジメント			“みんな” チームによる支援			“つながる・つくる” 社会資源の活用と開発				
	支援困難な事業への対応	高度な相談支援の展開	体系的・創造的な支援の実施	スーパージョイントや人材育成	支援内容及び進捗状況の確認・助言指導	業務全体、理念の共有に向けた働きかけ	リーダーシップの発揮	関係機関との連携、調整	自立相談支援事業と任意事業との一体的支援	相談支援員、相談員との協働・支援	関係機関等とのネットワークの構築	地域住民への普及啓発活動	勉強会、参加する場の確保に向けた取り組み	地域の支援レベルの向上
1 日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【後期】主任相談支援員養成研修 研修会の様子



3 【後期】相談支援員養成研修

≪【後期】相談支援員養成研修【第1回】プログラムシート≫

■期日：10月5日（水）～7日（金） ■受講者数：234名 ■会場：太宰ホール（3日間）

■会場の着席形式 3日間終日グループ形式

最小単位を3人のグループとして、2つのグループ（計6人）で着席する。

1日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる

2日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく

3日目：2日目と同じグループ

■各科目の内容について

◆科目：個別支援の基本

◆日時等：10月5日（水）10：10～12：30（研修125分+休憩15分、合計140分）

◆登壇者：大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏

八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課長 田中 奈美 氏

◆学びのポイント：○個別支援の基本姿勢について学ぶ。

○援助関係を構築するとはどういう意味を持つのか、構築することでどういう援助が可能になるのかを学ぶ。

○前半は講義、後半は事例検討を行う。扱う事例は地域と個別支援の関係性が分かる内容とする。

◆ステージ：中央に机2本 岩間先生、田中氏

◆備品：なし

◆進行案

進行時刻	内容
	※事前に「事例シート」、「ワークシート」を配付済み
10:10～10:35	①講義（25分） 岩間先生 ※テキストを使用する
10:35～11:00	②事例の共有（25分） 岩間先生・田中氏 6人グループでロールプレイ（読み合わせ）
11:00～11:10	③個人ワーク（10分） ※ワークシートの設問1について記入する
11:10～11:25	④グループミーティング（15分） ※3人グループで共有する。
11:25～11:35	⑤グループ発表（10分）
11:35～11:45	⑥講師まとめ（10分）
11:45～12:00	【休憩（15分）】
12:00～12:10	⑦グループミーティング（10分） ※ワークシート設問2について話し合う
12:10～12:20	⑧グループ発表（10分）
～12:30 終了	⑨講師まとめ（10分）

◆科目：アウトリーチの考え方

◆日時等：10月5日（水）13：30～17：15（研修210分+休憩15分、合計225分）

◆登壇者

【コーディネーター】一般社団法人インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏

【実践者】認定NPO法人育て上げネット 若年支援事業部 関西担当部長 高崎 大介 氏

浜松市役所 健康福祉部 精神保健福祉センター 副主幹 河合 龍紀 氏

◆学びのポイント：○アウトリーチの基本的考え方と概要を説明する

（テキスト追補に掲載した、アウトリーチの3つの種類についても説明）。

○具体的な実践事例や具体的な支援方法を説明する。

◆備品：各受講者に青と赤の付箋を1冊、グループに黄の付箋を1冊

◆進行案

進行時刻	内容
	<u>1. 講義（前半）（計125分）</u>
13:30～13:40	①鈴木さんからセッションの趣旨、付箋の使い方、アウトリーチの考え方について説明（10分） ※付箋の使い方…講師の講義を聴きながら、各自で付箋に「参考になったこと」（青）、「今の自分や地域では難しいと感じたこと」（赤）、「質問したいこと」（黄）を記入する。
13:40～14:10	②高崎さん、河合さんの事業・自己紹介（お一人15分×2人 計30分）
14:10～15:30	③アウトリーチの目的別種類4つのテーマを1つずつ紹介する。 各テーマについて、鈴木さんが解説（10分）、高崎さん、河合さんから実践紹介（各自5分）（各テーマ20分 計80分）
15:30～15:35	④まとめ（5分）
15:35～15:50	【休憩（15分）】
	<u>2. 演習（後半）（計85分）</u>
15:50～16:05	①記入した付箋を使って、6人グループで意見をシェア（15分）※講師陣は会場を回る
16:05～16:20	②シェアした内容を発表（15分） 3グループ程度を予定。2つのグループは講師が指名。1つのグループは拳手。
16:20～16:55	③質疑応答（35分）ここの時間で進行を調整する。
16:55～17:05	④アクションポリシーを作成（10分） 各自でワークシートに「今日からできること」と「長期的に取り組みたいこと」を記入してもらう。時間があれば、グループ内で共有してもらう。
17:05～17:15	<u>3. まとめ（10分）</u>
終了	お三方から受講者へメッセージ

◆鈴木さんにご準備いただく資料

- ・昨年度の資料をベースにテキスト追補を追加した講義資料（4つのテーマ入り）
- ・アクションポリシーワークシート

◆高崎さん、河合さんにご準備いただく資料

- ・自己紹介、法人の事業（15分）
- ・4つのテーマそれぞれの実践を紹介するパワーポイントのスライド（各テーマ5分）

◆科目：任意事業との連携の在り方

◆日時等：10月6日（木）9：10～11：55（研修150分＋休憩15分、合計165分）

◆登壇者：【コーディネーター】厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鎗木 奈津子 氏

【実践報告者】 ・ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子 氏

・グリーンコープ生活協同組合ふくおか 家計相談支援員 北島 千恵 氏

・社会福祉法人 聖隷福祉事業団

浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏

◆学びのポイント：

○ 自立相談支援事業と任意事業との連携の在り方を学ぶ。

① 任意事業実施側から「自立のプランに組み込まれていない」「プラン作成中に関与させてもらっていない」といった声があることに対応し、任意事業実施者によるミニシンポとしている。ただし、任意事業側からの要求セッションにならないよう注意し、上原さん（自立相談の立場）にもご登壇いただく。

② 任意事業を実施していない事業者に向けた本講義のねらい

- ・任意事業との連携方法を学ぶことは、地域の人や関係機関を巻き込む方法や連携手法を学ぶことにもつながる。（例えば、就労準備支援事業との連携は、ハローワークとの連携方法にも応用可能。）

【留意点】

○ 連携のあり方は関係機関との関係性や地域性に左右させることから、自立と任意の連携の在り方も多様である。可能であれば、インテークからアセスメント、支援調整会議に任意事業の担当者が参画することが望ましいとした上で、事案内容や数などにより困難な場合には、通常から顔の見える関係を作り、事前に良く役割分担などを話しておくことが重要。

◆備品：なし

◆事前打合せ：前日10月5日（水）19：00から研修会場で最終進行確認

◆進行案

① 9：10～9：20（10分）セッションのねらいの説明：鎗木氏

※ 包括的な支援を提供するため、様々な社会資源を活用することが必要だが、ここでは、例として任意事業を取り上げる旨を、説明する。任意事業を行うか否かは主に自治体が決める。任意事業を行っていない自治体の相談支援員が本セッションでモチベーションを下げないよう、普遍的な問題であることを理解してもらう。

② 9：20～10：05（45分）取組内容の説明

平田さん、北島さん、上原さんから、それぞれパワーポイントを使って説明（15分×3人）

※ 自己紹介を含めどの任意事業を実施しているか、自立と任意の実施者は同じか異なるかなどの基本情報を説明に盛り込む。

※ 任意事業の実施者は、任意事業を行うことで、全体又は自立相談にどのような効果があるのか積極的にPRをしてください。

※ 状況に応じて途中で鏑木氏から質問をすることがあります。

③ 10:05～10:20（15分）個人＋グループワーク

○個人ワーク

以下の点について付箋に記入。

- ①任意事業と連携を図るうえで、どのような課題が生じていますか。
- ②工夫している点を教えてください。
- ③登壇者に質問したいこと(あれば)。

○グループワーク 6人

各テーブルで共有し、特に「課題となっているもの」と「工夫しているもの」「質問したいこと(あれば)」演習シートに貼り付け事務局に渡す。会場後方にて事務局に提出したグループから休憩に入る。

◎ 10:20～10:35（15分）休憩 ※登壇者は集まった付箋を確認。

④ 10:35～11:50（75分）ミニセッション

鏑木氏から質問

※ 一人4～5問程度の予定。下記の質問以外に受講生から集めた質問も織り交ぜる。
プラン作成前→プラン実施中→終結後という順で聞きます。

○プラン作成前

問1 任意事業を実施されている方は、どの段階で本人に関わりますか？

※ インテークのときか、アセスメントのときか、アセスメントが十分に行われた後のケース会議のときか。また、支援調整会議にメンバーとして入っているか？

問2 そこで関わるメリットはどのようなところにありますか？

※ 本人にとって。加えて自立にとってのメリットを意識する。

○プラン実施中（支援提供中）

問3 プランが作成され任意事業が組み込まれた場合、任意事業の実施中は、自立相談支援事業と任意事業はどのように関わっていますか？

○終結後のフォローアップ

問4 任意事業での支援が終了する際、あるいはその後は自立と任意事業ではどのように連携していますか？

問5 連携を深めるために、それぞれの立場で工夫していることや課題を教えてください。

問6（時間があれば、上原さんへ）ほかにも様々な事業があります。浜松市では子どもの学習支援事業も実施していると思いますが、子どもの学習支援事業と自立相談支援事業はどのように関わっていますか？

※ 自立で支援する中で気になる子どもは学習支援につなぐ。あるいは逆に、子どもへの支援から気になる家庭を自立につなぐなどが考えられる。

※ この他、適宜付箋の内容も質問に盛り込む。

⑤ 11:50～11:55（5分）セッションのまとめ

鏑木氏からもう一度、任意事業だけの話ではないことに触れてまとめる。

◆科目：援助関係をつくりにくい人への支援

◆日時等：10月6日（木）12：55～14：40（研修105分）

◆登壇者：NPO法人 ふわり ケアコンサルタント／有限会社 SNOW DREAM 取締役 山口 久美氏

◆学びのポイント：○障害の疑いがある人への日常生活支援や就労支援の考え方、また、障害受容に向けた本人の関わり方について学ぶ。

○インテーク場面での関わり方については、前期共通研修で学習しているため、当該セッションではアセスメント段階の関わり方を中心に学ぶ。なお、【前期】のインテーク場面での関わり方についても、復習をしていただく。軽度知的の方もいるため、何でも発達障害として捉えないことについても少し説明していただく。

◆備品：なし ◆進行案：講義形式

◆科目：地域を基盤とした相談支援のあり方

◆日時等：10月6日（木）14：55～16：35（研修100分）

◆登壇者：大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之氏

豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子氏

◆学びのポイント：○地域の人をどのように巻き込んでいくのか、

地域社会から協力者をどのように増やしていくかについて学ぶ。

◆グループ：前の休憩で机を2本合わせて、グループ形式。6人グループ（偏りなし）

◆ステージ：中央に机2本 ◆備品：なし

◆進行案

進行時刻	内容
14:55～15:00	1. 前半（50分）※「事例シート1」、「ワークシート1」をレジュメ集に綴じている ①プログラムの趣旨説明（5分） 岩間先生
15:00～15:20	②「事例シート1」の共有（20分） 岩間先生・勝部氏 岩間先生が勝部氏に話を振りながら事例を紹介する。
15:20～15:25	③個人ワーク（5分） ※「ワークシート1」について、記入する。
15:25～15:35	④グループミーティング（10分） ※3人グループで共有する。
15:35～15:45	⑤グループ発表、講師まとめ（10分） ※講師まとめ中に事務局が「事例シート2」、「ワークシート2」を配付
15:45～16:05	2. 後半（50分） ①「事例シート2」の共有（20分） 岩間先生・勝部氏 岩間先生が勝部氏に話を振りながら事例を紹介する。
16:05～16:10	②個人ワーク（5分） ※「ワークシート2」について、記入する。
16:10～16:20	③グループミーティング（10分） ※3人グループで共有する。
～16:35 終了	④グループ発表、講師まとめ（15分）

◆科目：相談支援の展開 2日目、3日目 進行案

(時間) 2日目 60分+3日目 410分=470分

(目的) ○自立相談支援事業における相談支援の本質を学ぶ
○各帳票類の意義と有意義な活用方法を学ぶ

(構成)

■【2日目】10月6日 16:50~17:05【15分】

〔導入講義〕

■【2日目】10月6日 17:05~17:50【45分】

〔セッション1〕包括的な相談受付

■【3日目】10月7日 9:00~12:20【合計 200分 研修時間 185分 休憩 15分】

〔セッション2〕アセスメント

◇昼食休憩 12:20~13:20【60分】

■【3日目】10月7日 13:20~14:35【75分】

〔セッション3〕プラン

◇休憩 14:35~14:50

■【3日目】10月7日 14:50~17:05【135分】

〔セッション4〕評価・終結

■【3日目】10月7日 17:05~17:20【15分】

〔3日間の総括〕

17:20 研修終了

(受講者の席)

6人グループで進行する。2日目と3日目のグループメンバーは同じ。グループの受講者属性は偏りなし。

(ステージ)

【2日目】中心に机3本 岩間先生、朝比奈氏、上原氏

【3日目】(下手)机2本 岩間先生、朝比奈氏(スクリーン)机2本 鈴木氏、上原氏(上手)スクリーンを挟むシンポジウム形式

■【2日目】10月6日 16:50~17:00【10分】

〔導入講義〕

①本日で3日目最後までのおさらい 岩間先生 5分

②帳票類の意義と活用方法(【前期】のおさらい) 岩間先生 5分

◆配布資料

【前期】研修の資料(①〈講義〉帳票類の意義と活用方法(おさらい)、②みずほ報告書 課題のまとめと支援の方向性のポイント、③本人主体の援助課程の概念図)【レジュメ集に綴じている】

■【2日目】10月6日17:00～17:50【50分】

〔セッション1〕包括的な相談受付

①17:00～17:05 事例シート①の説明【5分】（事例シート①使用）

②17:05～17:10 個人ワーク【5分】（ワークシート①使用）

③17:10～17:30 グループワーク【20分】

講師が会場を回り、発表するグループを選定する。講師がマイクを持ち、このグループを選んだ理由もご発言いただく。これ以降のプログラムも基本的にこの方法で選定する。

④17:30～17:50 グループ発表と講師コメント【20分】

※先生の指示で〈参考〉相談受付・申込票を配付

17:50 講義終了

◆配布資料

- ・事例シート① 【レジュメ集に綴じている】
- ・ワークシート① 【レジュメ集に綴じている】
- ・〈参考〉相談受付・申込票【④全体共有まとめの終盤に配付】

■【3日目】10月7日9:00～12:20【合計200分 研修時間185分 休憩15分】

〔セッション2〕アセスメント

※事例シート②、ワークシート②を講義開始前に配布

1) 9:00～10:05【演習】面接課程と今後の支援 【合計65分】

①9:00～9:10 グループ内役割決定と読み上げ【10分】（事例シート②使用）

②9:10～9:20 個人ワーク【10分】

③9:20～9:45 グループワーク【25分】（ワークシート②使用）

④9:45～10:05 グループ発表と講師コメント【20分】

◇休憩10:05～10:20【15分】※事例シート③、インテークアセスメントシート（A4個人ワーク用、A1グループワーク用）を配布

2) 10:20～11:50【演習】インテークアセスメントシート 【合計65分】

①10:20～10:35 事例シート③共有【15分】（事例シート③使用）

②10:35～11:05 個人ワーク（15分）・グループ内シェア（15分）【30分】

※個人ワーク：一部空欄のインテークアセスメントシート（ワーク用）に記入

③11:05～11:50 グループワーク【45分】

※グループワーク：A1シートを使用して、アセスメント結果の整理と支援方針の検討「課題と背景要因」、「※課題のまとめと支援の方向性」、「※チェック項目」に記入発表するグループを3つ選ぶ

④11:50~12:20 グループ発表と講師コメント【30分】

発表は iPad で A1 シートを撮影し、画面を書画カメラで映しながら行う

※先生の指示で〈参考〉アセスメントシート配布

◇昼食休憩 12:20~13:20【60分】

◆配布資料

- ・事例シート② 【講義開始前配布】
- ・ワークシート② 【講義開始前配布】
- ・事例シート③ 【休憩中配布】
- ・インタークアセスメントシート（個人ワーク用） 【休憩中配布】
- ・A1 のアセスメントシート「課題と背景要因」、「※課題のまとめと支援の方向性」、「※チェック項目」（グループワーク用） 【休憩中配布】
- ・〈参考〉アセスメントシート【④講師コメント時に配付】

◆備品

- ・前日に事務局が各グループにプロッキーを1セット配付する。

■【3日目】10月7日13:20~14:35【75分】

〔セッション3〕プラン

※昼食休憩中に〈参考〉プランシート、ワークシート③（A4個人ワーク用）を配布する

①13:20~13:30〈参考〉プランシート説明【10分】

②13:30~13:35 課題の説明【5分】（〈参考〉プランシート使用）

③13:35~13:45 個人ワーク【10分】（ワークシート③使用）

④13:45~14:05 グループシェア【20分】

⑤14:05~14:35 グループ発表と講師コメント【30分】

◆配布資料

- ・〈参考〉プランシート、 【休憩中配布】
- ・ワークシート③（A4個人ワーク用）【休憩中配布】

◇休憩【15分】14:35~14:50 ※事例シート④、ワークシート④（個人ワーク用）、模造紙を配付

■【3日目】10月7日14:50~17:05【135分】

〔セッション4〕評価・終結

① 14:50~15:05 その後の経過の説明【15分】（事例シート④使用）朝比奈氏

② 15:05~15:15【講義】終結について【10分】（相談員ハンドブック Q&A 写し）岩間先生

- ③ 15:15～15:20 個人ワークの課題説明【5分】
- ④ 15:20～15:35 個人ワーク【15分】（ワークシート④使用）
- ⑤ 15:35～16:25 グループワーク【50分】模造紙に整理する
- ⑥ 16:25～16:40 グループ発表【15分】
- ⑦ 16:40～17:05 まとめ【25分】

■【3日目】10月7日 17:05～17:20【15分】

〔3日間の総括〕

17:20 研修終了

◆配布資料

- ・事例シート④（朝比奈氏作成） 【休憩中配布】
- ・ワークシート④（個人ワーク用） 【休憩中配布】
- ・模造紙 【休憩中配布】
- ・相談員ハンドブック Q&A 写し（岩間先生講義用）【レジュメ集に綴じている】

生活困窮者自立支援制度における相談支援員の役割

- 相談者は自尊心や自己有用感を喪失していることから、相談者との信頼関係を構築し、ストレングス視点を持つて支援を展開していくことが重要である。
 - また、良い支援を支援者に提供するためには、関係機関と連携しチームアプローチによる支援を展開していくことが求められる。
 - なお、社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発していく視点を持つ必要がある。
- ⇒ **相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しましょう。**

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- ・ 支援のコーディネートと適切な支援の提供
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した本人主体の支援

“みんなまで”

チームによる支援

- ・ 主任相談支援員、就労支援員との協働
- ・ 関係機関との連携、協働
- ・ 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援

“ずっと”

切れ目のない支援

- ・ アウトリーチによる発見・支援
- ・ 寄り添いながらの包括的、継続的支援
- ・ 定着支援や終結後のフォローアップ
- ・ 見守りのネットワークの構築

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 各種制度や地域資源に関する情報収集と活用
- ・ 関係機関・者のネットワークの構築
- ・ 働く場、参加する場の開拓

【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

平成28年度【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

科目	講師	“きちんと” 丁寧な相談支援			“すっと” 切れ目のない支援			“みんなで” チームによる支援			“つながる・つくる” 社会資源の活用と開発					
		包括的な相談 受付、アセス メント、プラン 作成	支援のコー ディネーションと適 切な支援の提 供	信頼関係の構 築と自尊感 の回復に向 けた支援	ストレンダスに 着目した本人 主体の支援	アウトリーチに よる意見・支 援	寄り添いなが らの包括的、 継続的支援	定着支援や終 後のフォロー アップ	見守りのホッ トワークの構 築	主任相談支援 員、助労支援 員との協働	相談機関との連 携、協働	自立相談支援事 業とは専門業と の一体的支援	関係機関・者 とのネットワー クの構築	各種制度や地 域資源に関す る情報収集と 活用	各種制度や地 域資源に関する 情報収集と 活用	関係機関・者 とのネットワー クの構築
1 目 日	【課題と学習①】 相談支援の基本	大阪市立大学大学院 若前 伸之 氏 八幡浜市社会福祉協議会 田中 崇美 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【課題と学習②】 アウトリーチの考え方	インクルージョンネットワークかながわ 鈴木 晶子 氏 認定NPO法人育て上げネット 高崎 大介 氏 浜松市役所 側溝福祉部 精神 保健福祉センター 河合 龍紀 氏 厚生労働省 部外 斎藤千氏 ユニバーサルライフネットワークらぽ 早田 智子 氏 クルーニエーゴ学院 名島 千恵 氏 東横経理集団 上原 久 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 目 日	【課題③】 任意事業主との連携のあり方		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【課題④】 援助関係をつくりこむための 支援	SNOW DEAM 山口 久美 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【課題と学習⑤】 地域を基盤とした相談支援の あり方	大阪市立大学大学院 若前 伸之 氏 豊中市社会福祉協議会 藤野 麗子 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 目 日	【課題と学習⑥】 相談支援の展開	大阪市立大学大学院 若前 伸之 氏 市川市生涯サポートセンター る(seru) 朝比奈 ミカ 氏 インクルージョンネットワークかながわ 鈴木 晶子 氏 理髪福祉推進団 上原 久 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 目 日	【課題と学習⑦】 相談支援の展開		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【後期】相談支援員養成研修（第1回） 研修会の様子



≪【後期】相談支援員養成研修【第2回】プログラムシート≫

■期日：11月30日（水）～12月2日（金） ■受講者数：159名 ■会場：OMM Cホール

■会場の着席形式 3日間終日6人のグループ形式で着席する。全27グループ。

1日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく

2日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる

3日目：2日目と同じグループ

■各科目の内容について

◆科目：個別支援の基本

◆日時等：11月30日（水）10：10～12：30（研修125分＋休憩15分、計140分）

◆登壇者：大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏

八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課長 田中 奈美 氏

◆学びのポイント：○個別支援の基本姿勢について学ぶ。

○援助関係を構築するとはどういう意味を持つのか、構築することでどういう援助が可能になるのかを学ぶ。

○前半は講義、後半は事例検討を行う。扱う事例は地域と個別支援の関係性が分かる内容とする。

◆ステージ：中央に机2本 岩間先生、田中氏

◆備品：なし

◆進行案

進行時刻	内容
	※事前に「事例シート」、「ワークシート」を配付済み
10:10～10:35	①講義（25分） 岩間先生
10:35～11:00	テキストを使用する
11:00～11:10	②事例の共有（25分） 岩間先生・田中氏 6人グループでロールプレイ（読み合わせ）
	③個人ワーク（10分）
11:10～11:25	ワークシートの設問1について、記入する。
	④グループミーティング（15分） 6人グループで共有する。
11:25～11:35	⑤グループ発表（10分）
11:35～11:45	⑥講師まとめ（10分）
11:45～12:00	【休憩（15分）】省略する場合あり
12:00～12:10	
12:10～12:20	⑦グループミーティング（10分） ※ワークシート設問2について話し合う。
～12:30 終了	⑧グループ発表（10分） ⑨講師まとめ（10分）

◆科目：地域を基盤とした相談支援のあり方

◆日時等：11月30日（水）13：30～15：10（研修100分）

◆登壇者：大阪市立大学大学院 教授 岩間 伸之 氏

豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏

◆学びのポイント：○地域の人をどのように巻き込んでいくのか、

地域社会から協力者をどのように増やしていくかについて学ぶ。

◆グループ：前の休憩で机を2本合わせて、グループ形式。6人グループ（偏りなし）

◆ステージ：中央に机2本 ◆備品：なし

◆進行案

進行時刻	内容
	1. 前半（合計50分）※「事例シート1」、「ワークシート1」をレジュメ集に綴じている
13:30～13:35	①プログラムの趣旨説明（5分） 岩間先生
13:35～13:55	②「事例シート1」の共有（20分） 岩間先生・勝部氏 岩間先生が勝部氏に話を振りながら事例を紹介する。
13:55～14:00	③個人ワーク（5分） 「ワークシート1」について、記入する。
14:00～14:10	④グループミーティング（10分） ※3人グループで共有する。
14:10～14:20	⑤グループ発表、講師まとめ（10分） ※講師まとめ中に事務局が「事例シート2」、「ワークシート2」を配付
	2. 後半（合計50分）
14:20～14:40	①「事例シート2」の共有（20分） 岩間先生・勝部氏 岩間先生が勝部氏に話を振りながら事例を紹介する。
14:40～14:45	②個人ワーク（5分） 「ワークシート2」について、記入する。
14:45～14:55	③グループミーティング（10分） ※3人グループで共有する。
～15:10 終了	④グループ発表、講師まとめ（15分）

◆科目：援助関係をつくりにくい人への支援

◆日時等：11月30日（水）15：25～17：10（研修105分）

◆登壇者：NPO法人 ふわり ケアコンサルタント／有限会社 SNOW DREAM 取締役 山口 久美 氏

◆学びのポイント：○障害の疑いがある人への日常生活支援や就労支援の考え方、また、障害受容に向けた本人の関わり方について学ぶ。

○インテーク場面での関わり方については、前期共通研修で学習しているため、当該セッションではアセスメント段階の関わり方を中心に学ぶ。なお、【前期】のインテーク場面での関わり方についても、復習をしていただく。軽度知的の方もいるため、何でも発達障害として捉えないことについても少し説明していただく。

◆備品：なし

◆進行案：

進行時刻	内容
15:25～15:40	1. <u>概念の説明（15分）</u>
15:40～16:35	2. <u>「自閉症スペクトラム 11 の特性」の解説（55分）</u>
16:35～17:05	3. <u>場面ごとの対応方法例を解説（合計 30分）</u>
	■場面 1 窓口対応（相談に来て話が止まらない方）
(16:35-16:38)	①山口氏が場面の状況を説明（3分）
(16:38-16:41)	②受講者は隣の席の2人で、どう対応するのか話し合う（3分）
(16:41-16:55)	③山口氏の解説（14分）
	■場面 2 就労の相談（正社員や年収の条件にこだわりがある方）
(16:55-17:05)	①山口氏の解説（10分）
17:05～17:10	4. <u>振り返り・まとめ（5分）</u>
	終了

◆科目：任意事業との連携の在り方

◆日時等：12月1日（木） 9：10～11：55（研修150分＋休憩15分、合計165分）

◆登壇者：【コーディネーター】社会福祉法人 聖隷福祉事業団

浜松市生活自立相談支援センターつながり 所長 上原 久 氏

【実践報告者】・ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子 氏

・グリーンコープ生活協同組合ふくおか 家計相談支援員 北島 千恵 氏

◆学びのポイント：

【ねらい】

自立相談支援事業と任意事業との連携の在り方を学ぶ。

①任意事業実施側から「自立のプランに組み込まれていない」「プラン作成中に関与させてもらっていない」といった声があることに対応し、任意事業実施者によるミニシンポとしている。

②任意事業を実施していない事業者に向けた本講義のねらい

任意事業との連携方法を学ぶことは、地域の人や関係機関を巻き込む方法や連携手法を学ぶことにもつながる。（例えば、就労準備支援事業との連携は、ハローワークとの連携方法にも応用可能。）

【留意点】

任意事業を実施していない事業者の中には、任意事業の存在すら認識していない者もいる。

実践報告を通して、任意事業の意味合いや制度の効果的運用について理解を深める機会とする。

「連携のあり方」は、関係機関との関係性や地域性に左右させる場合もあるが、その概念やプロセスについては、共通する考え方があることを理解する。

◆備品：なし

◆進行案：

時刻	時間	内容
9:10- 9:20	10分 【上原】 (10分)	<p>導入</p> <p>「このセッションは、「任意事業との連携のあり方」について学ぶことを目的としています。学びを深めるために、①「任意事業とは何か」ということを復習の意味もこめて概観し、②「任意事業の実際」について実践報告を行い、その上で、③「連携する上での諸課題」について整理したいと思います。</p> <p>「任意事業をやっていない」という自治体もありますが、今回のセッションを通して、「そもそも任意事業って何?」「そういうことか!」「事業化できたら便利ジャン!」というようなことをご理解いただければと思います。また、「連携」ということは任意事業ばかりでなく、他の関係機関と一緒に業務を進めて行く上でも重要な鍵概念ですので、このセッションで改めて整理できればと思います。」</p> <p>任意事業の復習</p> <p>必須事業と任意事業のスライドを提示。「家計支援事業」「就労準備支援事業」の位置づけと概要を確認。家計・就労の各事業については、「任意事業の実際」としてパネラーより具体的な実践例をお願いします。</p>
9:20-10:00	40分 【パネラー】 (50分)	<p>任意事業の実際</p> <p>①事業の経緯、②各事業の実践報告（こんなことやっています!）、③PRポイント（家計・就労と連携すると、自立相談機関にはこんなメリットがある!）という点について力説してください。</p> <p>※時間にして20分（PPT15-20枚以内）でご発表ください。それ以外のPPTは「添付資料」としてご活用ください。</p>
10:00-10:20	20分 【上原】 【パネラー】 (70分)	<p>司会とパネラーとの質疑</p> <p>上原とパネラーとの間で、発表内容について再確認 or 疑問点等を質問させていただきます。内容は主に①～③を考えていますが、実践報告で言い足りなかった部分があれば、ここで補足してください。</p> <p>①自立相談の立場から：家計・就労と「組めると便利!」と思う点</p>
		<p>②家計・就労の立場から：支援の基軸となる視点・考え方 （主に自立とは異なる視点、スキル、外部機関とのネットワークなど）</p> <p>③家計・就労の立場から：「連携」する上での課題 （ここでは、課題提示のみでOKです。後半で改めて触れます）</p>
10:20-10:35	15分 (85分)	休憩（15分）

10:35-10:45	10分 【上原】 (95分)	個人ワーク 課題：①任意事業と連携する上で、②自立の中で家計 or 就労を展開する上で、③他機関と連携する上で、…いずれかの場面で「上手く行った・いかない」ことを教えてください。 ①どのような事例ですか？（性別、年齢、主訴、課題、現状等々） ②どのようなことが「上手く行った・いかない」のですか？ ③あなたが考える要因を教えてください（“お手上げ状態”でも可）
10:45-11:10	25分 【全員】 (120分)	会場とパネラーとの質疑：「パネラーに質問しよう！」コーナー 会場から質問を募り（挙手制）、パネラーのお二人にお答えいただきたいと思えます。（1件8分以内×3-5件≒25分）
11:10-11:30	20分 【上原】 (140分)	ミニ講義：「連携について」 ①「連携」の実情 ②「連携」の定義とプロセス ③「連携」の質（関係性）
11:30-11:45	15分 【パネラー】 (155分)	自立に対するリクエスト・応援のエール！ 最後に、家計・就労の立場から自立相談に対して、応援のエール、リクエスト、連携のコツなど…をお願いします。
11:45-11:55	10分 【上原】 (165分)	まとめ：以下の3点を強調 ①連携する相手が家計や就労に限らず、「作法」や「スキル」が必要 ②連携後のメンテナンスが、「その後の連携」を深める。 ③個別支援における連携の先に、「地域作り」がある。

◆科目：アウトリーチの考え方

◆日時等：12月1日（木）12：55～16：40（研修210分+休憩15分、合計225分）

◆登壇者：

【コーディネーター】一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事 鈴木 晶子 氏

【実践者】認定NPO法人 育て上げネット 若年支援事業部 関西担当部長 高崎 大介 氏

浜松市役所 健康福祉部 精神保健福祉センター 副主幹 河合 龍紀 氏

◆学びのポイント：○アウトリーチの基本的考え方と概要を説明する

（テキスト追補に掲載した、アウトリーチの3つの種類についても説明）。

○具体的な実践事例や具体的な支援方法を説明する。

◆備品：各受講者に青と赤の付箋を1冊、グループに黄の付箋を1冊

◆進行案

進行時刻	内容
	<u>1. 講義（前半）（合計125分）</u>
12:55～13:05	①鈴木さんから、セッションの趣旨、付箋の使い方、アウトリーチの考え方について説明（10分） ※付箋の使い方…講師の講義を聴きながら、各自で付箋に「参考になったこと」（青、「今の自分や地域では難しいと感じたこと」（赤）、「質問したいこと」（黄）を記入する。
13:05～13:35	②高崎さん、河合さんの事業・自己紹介（お一人15分×2人 計30分）
13:35～14:55	③アウトリーチの目的別種類4つのテーマを1つずつ紹介する。 各テーマについて、鈴木さんが解説（10分）、高崎さん、河合さんから実践紹介（各自5分）（各テーマ20分 計80分）
14:55～15:00	④まとめ（5分）
15:00～15:15	【休憩（15分）】
	<u>2. 演習（後半）（合計85分）</u>
15:15～15:30	①記入した付箋を使って、6人グループで意見をシェア（15分） 講師陣は会場を回る。
15:30～15:45	②シェアした内容を発表（15分） 3グループ程度を予定。2つのグループは講師が指名。1つのグループは挙手。
15:45～16:20	③質疑応答（35分）ここの時間で進行を調整する。
16:20～16:30	④アクションポリシーを作成（10分） 各自でワークシートに「今日からできること」と「長期的に取り組みたいこと」を記入してもらう。時間があれば、グループ内で共有してもらう。
16:30～16:40	<u>3. まとめ（10分）</u>
終了	お三方から受講者へメッセージ

◆科目：相談支援の展開 2日目、3日目 進行案

(時間) 2日目 60分+3日目 410分=470分

(目的) ○自立相談支援事業における相談支援の本質を学ぶ
○各帳票類の意義と有意義な活用方法を学ぶ

(構成)

■【2日目】12月1日 16:55~17:05【10分】

〔導入講義〕

■【2日目】12月1日 17:05~17:55【50分】

〔セッション1〕包括的な相談受付

■【3日目】12月2日 9:00~12:30【合計 210分 研修時間 195分 休憩 15分】

〔セッション2〕アセスメント

◇昼食休憩 12:30~13:30【60分】

■【3日目】12月2日 13:30~14:30【60分】

〔セッション3〕プラン

◇休憩 14:30~14:45

■【3日目】12月2日 14:45~17:10【145分】

〔セッション4〕評価・終結

■【3日目】12月2日 17:10~17:20【10分】

〔3日間の総括〕

17:20 研修終了

(受講者の席)

6人グループで進行する。2日目と3日目のグループメンバーは同じ。グループの受講者属性は人口規模が近い。

(ステージ)

(下手) 机2本 岩間先生、朝比奈氏(スクリーン) 机2本 鈴木氏、上原氏(上手) スクリーンを挟むシンポジウム形式

■【2日目】12月1日 16:55~17:05【10分】

〔導入講義〕

①本日で3日目最後までのおさらい 岩間先生 5分

②帳票類の意義と活用方法(【前期】のおさらい) 岩間先生 5分

◆配布資料

【前期】研修の資料(①〈講義〉帳票類の意義と活用方法(おさらい)、②みずほ報告書 課題のまとめと支援の方向性のポイント、③本人主体の援助課程の概念図)【レジュメ集に綴じている】

■【2日目】12月1日17:05~17:55【50分】

〔セッション1〕包括的な相談受付

①17:05~17:10 事例シート①の説明【5分】(事例シート①使用)

②17:10~17:15 個人ワーク【5分】(ワークシート①使用)

③17:15~17:35 グループワーク【20分】

講師が会場を回り、発表するグループを選定する。講師がマイクを持ち、このグループを選んだ理由もご発言いただく。これ以降のプログラムも基本的にこの方法で選定する。

④17:35~17:55 グループ発表と講師コメント【20分】

※先生の指示で〈参考〉相談受付・申込票を配付

17:55 講義終了

◆配布資料

- ・事例シート① 【レジュメ集に綴じている】
- ・ワークシート① 【レジュメ集に綴じている】
- ・〈参考〉相談受付・申込票【④全体共有まとめの終盤に配付】

■【3日目】12月2日9:00~12:30【合計210分 研修時間195分 休憩15分】

〔セッション2〕アセスメント

※事例シート②、ワークシート②を講義開始前に配布

1) 9:00~10:20【演習】面接課程と今後の支援 【合計80分】

①9:00~9:20 グループ内役割決定と読み上げ【20分】(事例シート②使用)

②9:20~9:30 個人ワーク【10分】

③9:30~9:50 グループワーク【20分】(ワークシート②使用)

④9:50~10:10 グループ発表【20分】

⑤10:10~10:20 講師コメント【10分】

◇休憩10:20~10:35【15分】※事例シート③、インテークアセスメントシート(A4個人ワーク用、A1グループワーク用)を配布

2) 10:35~12:30【演習】インテークアセスメントシート 【合計115分】

①10:35~10:50 事例シート③共有【15分】(事例シート③使用)

②10:50~11:05 個人ワーク【15分】

※個人ワーク：一部空欄のインテークアセスメントシート(ワーク用)に記入

③11:05~12:00 グループワーク【55分】

※グループワーク：A1シートを使用して、アセスメント結果の整理と支援方針の検討「課題と

背景要因」、「※課題のまとめと支援の方向性」、「※チェック項目」に記入
発表するグループを3つ選ぶ

④12:00~12:30 グループ発表と講師コメント【30分】

発表はA1シートをデジカメで撮影し、プロジェクターで投影する。

※先生の指示で<参考>アセスメントシート配布

◇昼食休憩 12:30~13:30【60分】

◆配布資料

- ・事例シート② 【講義開始前配布】
- ・ワークシート② 【講義開始前配布】
- ・事例シート③ 【休憩中配布】
- ・インタークアセスメントシート（個人ワーク用） 【休憩中配布】
- ・A1のアセスメントシート「課題と背景要因」、「※課題のまとめと支援の方向性」、「※チェック項目」（グループワーク用） 【休憩中配布】
- ・<参考>アセスメントシート【④講師コメント時に配付】

◆備品

- ・前日に事務局が各グループにプロッキーを1セット配付する。

■【3日目】12月2日13:30~14:30【60分】

〔セッション3〕プラン

※昼食休憩中に<参考>プランシート、ワークシート③（A4個人ワーク用）を配布する

- ①13:30~13:40<参考>プランシート説明【10分】朝比奈氏
- ②13:40~13:45 課題の説明【5分】（<参考>プランシート使用）
- ③13:45~13:55 個人ワーク【10分】（ワークシート③使用）
- ④13:55~14:10 グループシェア【15分】
- ⑤14:10~14:30 グループ発表と講師コメント【20分】

◆配布資料

- ・<参考>プランシート 【休憩中配布】
- ・ワークシート③（A4個人ワーク用）【休憩中配布】

◇休憩【15分】14:30~14:45 ※事例シート④、ワークシート④（個人ワーク用）、模造紙を配付

■【3日目】12月2日14:45~17:10【145分】

〔セッション4〕評価・終結

- ⑧ 14:45~15:00 その後の経過の説明【15分】（事例シート④使用）朝比奈氏

- ⑨ 15:00～15:15【講義】終結について【15分】（相談員ハンドブック Q&A 写し）岩間先生
- ⑩ 15:15～15:20 個人ワークの課題説明【5分】
- ⑪ 15:20～15:35 個人ワーク【15分】（ワークシート④使用）
- ⑫ 15:35～16:40 グループワーク【65分】白紙の模造紙にグループ独自に整理する。
- ⑬ 16:40～17:00 グループ発表【20分】デジカメで撮影して投影する。5グループ発表。
- ⑭ 17:00～17:10 講師コメント【10分】

■【3日目】12月2日17:10～17:20【10分】

〔3日間の総括〕講師コメント

17:20 研修終了

◆配布資料

- ・事例シート④（朝比奈氏作成）【休憩中配布】
- ・ワークシート④（個人ワーク用）【休憩中配布】
- ・模造紙【休憩中配布】
- ・相談員ハンドブック Q&A 写し（岩間先生講義用）【レジュメ集に綴じている】

【後期】相談支援員養成研修(第2回) 学びの見取り図

平成28年度【後期】相談支援員養成研修 学びの見取り図

科目	講師	"まっちんど"			"すっど"			"みんな"			"つながる・つくる"		
		包括的な相談支援のコア・ネットワークと適切な支援の提供	信頼関係の構築と自尊感・適情、自己有用感の回復に向けた支援	ストロングスに着眼した本人主体の支援	アウトリーチに寄り添いながらの包括的・継続的支援	定着支援や終了後のフォローアップ	見守りのネットワークの構築	主任相談支援員、就労支援員との協働	チームによる支援	自立相談支援事業と任意事業との一体的支援	関係機関・者とのネットワークの構築	各種制度や地域・育福に関する情報収集と活用	社会資源の活用と開発
1 日目	<p>【研修と学習①】 研修基礎の基本</p> <p>大阪市立大学大学院 岩間 伸之 氏 八幡浜市社会福祉協議会 田中 奈美 氏</p> <p>大阪市立大学大学院 岩間 伸之 氏 豊中市社会福祉協議会 藤部 麗子 氏</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 日目	<p>【研修と学習②】 地域を基盤とした相談支援のあり方</p> <p>SNOW DREAM 山口 久美 氏</p> <p>聖徳福祉事業団 上原 久 氏</p> <p>ユニバーサル福祉ネットワーク ばば 平田 智子 氏 グリーンコープ連合 北島 千恵 氏</p> <p>インクルージョンネットワークかながわ 鈴木 晶子 氏 障害者の法人育て上げネット 高崎 大介 氏 浜松市医師 健康福祉部 精神 保健福祉センター 河合 龍也 氏</p>	○											
3 日目	<p>【研修と学習③】 相談支援の展開</p> <p>大阪市立大学大学院 岩間 伸之 氏 市川市生活支援センター と(sera) 朝比奈 ミカ 氏</p> <p>インクルージョンネットワークかながわ 鈴木 晶子 氏 聖徳福祉事業団 上原 久 氏</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【後期】相談支援員養成研修（第2回） 研修会の様子



4 【後期】就労支援員養成研修

《【後期】就労相談支援員養成研修 プログラムシート》

■期日：12月7日（水）～9日（金） ■受講者数：229名 ■会場：中央福祉学院（ロフォス湘南）

■会場の着席形式 机1本に3人グループで着席。3日間終日机を2本合わせたグループ形式で進行

1日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる

2日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく

3日目：1日目と同じグループ

■各科目の内容について

◆科目：【講義と演習①】はじめに

◆日時等：12月7日（水） 9：15～11：45（90分）

◆登壇者：【講師】 明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◆学びのポイント：○前期の振り返り

○生活困窮者自立支援制度における就労支援の内容の確認

○後期研修の目的

○「支援を育てる」事例の確認と共有（事前課題に基づき事例を持ち帰る）

◆科目：【講義と演習②】包括的な相談支援の視点

◆日時等：12月7日（水） 12：45～14：40（115分）

◆登壇者：【報告者】 白水 崇真子 氏

【コーディネーター】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◆学びのポイント：○就労支援の進め方を学ぶ、「ゴールイメージを描く」

○「出口支援」の考え方と具体的な方法。

◆備品：付箋（各自 赤・青1冊ずつ）、模造紙（6人グループ1枚）、プロッキー（6人グループ1つ）

◆進行案：

進行時刻	内容
12:45～13:45	1. 白水氏の講義（60分） 2. 加留部先生と白水氏の演習（合計55分）
13:45～13:50	①事例紹介（5分）白水氏 「こんな方が窓口に来たらどう対応するか」
13:50～13:55	②個人ワーク（5分）「支援策を30個書き出し」
13:55～14:05	③グループワーク（10分）アイデアの共有・整理
14:05～14:15	④全体共有（10分）他グループの様子を歩き見る
14:15～14:25	⑤グループワーク（10分）他グループの情報を整理
14:25～14:30	⑥グループ発表（5分）
～14:40 終了	⑦講師コメント（10分）

◆科目：【講義と演習③】支援関係の構築

◆日時等：12月7日（水）14：55～16：25（90分）

◆登壇者：【講師】岡野 みゆき 氏 公益財団法人 沖縄県労働者福祉協会
就職・生活支援パーソナル・サポート・センター

鈴木 晶子 氏 一般社団法人 インクルージョンネットかながわ

【コーディネーター】 鍋木 奈津子 氏 厚生労働省 生活困窮者自立支援室

◆講義・演習のねらい：<テーマ> 支援員と相談者の関係性の構築に向けた関わり方

<目標> 就労意欲が低い人、支援員との関係性が構築できにくい（と支援員が感じている）人との関わり方や関係性の作り方。

◆ステージレイアウト：（下手）鍋木氏（スクリーン）岡野氏、鈴木氏（上手）

◆進行案：

経過時間	内容
14:55～14:57	1. 導入：ねらいの説明（2分） ・スライドに基づき鍋木氏が説明。
14:57～15:02	2. 登壇者自己紹介（5分） ・スライドに書かれている2点についてお一人2分程度で自己紹介 ・岡野さん→鈴木さん（鈴木さんはやや長めに）
15:02～15:20	3. 支援のあり方を考える①（18分） ・インシデントにもとづき、受講生に対応を検討してもらい、最後に鈴木さん・岡野さんだったらどうするかお話いただく。 ①「インシデント」の説明（2分） ②個人での検討（3分） ③チームによるわかちあい（3分） ④鈴木さんのお話（5分）→岡野さんのお話（5分）
15:20～15:55	4. 就労に向けたモチベーションを高めるために：鈴木さんの講義＋バズ等（25分） ①鈴木さんの講義（15分程度） 「支援に生かせる3つのポイント」として、就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたりポイントとなることを3つに絞り、お話していただく。 ②参加者バズセッション（3分） 鈴木さんのお話における「気づき」をチームで共有する。 ③鍋木氏からのまとめ、フィードバック（3分）
15:55～16:10	5. 就労に向けたモチベーションを高めるために：岡野さんの講義＋バズ（25分） ①岡野さんの講義（15分程度） 「支援に生かせる3つのポイント」として、就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたりポイントとなることを3つに絞り、お話していただく。 ②参加者バズセッション（3分） 岡野さんのお話における「気づき」をチームで共有する。 ③鍋木氏からのまとめ、フィードバック（3分）

16:10~16:25	<u>6. まとめ (15分)</u> ・ 鈴木氏が鈴木さんと岡野さんのご講義の全体を振り返ってのまとめ。テキストの内容を踏まえて解説。(10分) ・ 全体のコメント、感想(鈴木さん→岡野さん お1人2分程度(5分))
-------------	---

◆科目：【講義と演習④】個人への就労支援

◆日時等：12月7日(水) 16:40~18:40(120分)

◆登壇者：【コーディネーター】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

【報告者】・ 釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏

・ 社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会

地域福祉課係長/相談支援員・就労支援員 前田 善明 氏

◆学びのポイント：○学びの見取り図「丁寧な相談支援」「チームによる支援」「切れ目のない支援」「社会資源の活用と開発」について、実際にどのように実践しているのか説明する。

○特に、「チームによる支援」を中心に検討する。

○受講者と立場に近い就労支援員養成研修の修了者が講師を担う。

◆ステージレイアウト：(下手)加留部先生(スクリーン)前田氏、櫛部氏(上手)

◆進行案：

進行時刻	内容
16:40~16:50	<u>1. 導入 講義の趣旨説明(10分)</u> 最初から全員登壇している。 加留部先生から趣旨説明。簡単に前田氏、櫛部氏にも話を振る。
16:50~17:10	<u>2. 前田氏の職場紹介(合計30分)</u> ①DVDも使用して職場紹介(20分) ②バズセッション(自分の職場と比較して)(10分)
17:10~17:20	
17:20~17:40	<u>3. 事例①の紹介(前田氏)(合計30分)</u> ①事例①の紹介(主に一般的な資源を活用(NHK連ドラ))(20分) ②バズセッション(自分の地域ではどうか)(10分)
17:40~17:50	
17:50~18:10	<u>4. 事例②の紹介(櫛部氏)(合計30分)</u> ①事例②の紹介(無名なゆるい資源を活用(テラスハウス))(20分) ②バズセッション(自分の地域ではどうか)(10分)
18:10~18:20	
18:20~18:40	<u>5. ミニシンポジウム(20分)</u>
終了	

◆科目：【講義と演習⑤】アウトリーチの実際と危機管理

◆日時等：12月8日（木）9：10～11：15（125分）

◆登壇者：【講師】 NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏

◆学びのポイント：○アウトリーチの実際
○危機管理の視点など

◆科目：【講義と演習⑥】労働行政について

◆日時等：12月8日（木）11：30～12：45（75分）

◆登壇者：【講師】 高木 剛 氏 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課
生活困窮者自立支援室 室長補佐

◆学びのポイント：○地方版ハローワークについて
○ナビ事業について
○雇用情勢や基本法等

◆科目：【講義と演習⑦】自治体による就労支援

◆日時等：12月8日（木）13：45～15：45（120分）

◆登壇者：【講師】 ・西岡 正次 氏 A'ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）
・常松 順子 氏 豊中市 無料職業紹介所 企業支援チーム

【報告者】・金川 浩人 氏 弘前市 健康福祉部 就労自立支援室

【コーディネーター】加留部 貴行 氏 九州大学 客員准教授

◆学びのポイント：○自治体が行う就労支援の現状と強みについて
○就労訓練事業との連携についても触れる

就労支援における出口づくり・出口支援

- ①労働行政について
- ②自治体による就労支援
- ③多様なプログラム

自治体による就労支援 13：45～15：45（全体120分）（進行：加留部先生）

◆13：45～14：30（45分） 自治体に期待される就労支援（西岡氏）
地域経済（雇用労働市場）と自治体
就労支援をめぐる誤解
制度が拓く「オーダーメイドの求人」「オーダーメイドの支援メニュー」
就労支援 期待されることと課題
自治体の政策として就労支援を展開 弘前モデルほか

14：30～14：35（5分）（バズセッション：加留部先生）

◆14：35～14：55（20分） 事例報告（金川氏 弘前市）
事例報告：自治体政策と就労支援 ～弘前市の就労支援プログラム～

(弘前市・就労自立支援室、生活・仕事応援センター)
地方創生と「ひろさきワークチャレンジ」、就労支援プログラム
生活困窮者自立支援と自治体政策
生活・仕事応援センターと無料職業紹介所

◆ 14:55～15:35 (合計40分) 演習 (常松氏 豊中市 無料職業紹介所)

14:55～15:00 (5分) 常松氏 自己紹介

15:00～15:05 (5分)

就労体験案を企業等にプレゼンする (演習課題の説明)

就労体験の受入れについて協議を進めてきた A 社。1週間後に同社に対して、就労体験の企画案をプレゼンすることになった。グループで就労体験案を企画してみてください。

- ① A社の概要
- ② 事業所・仕事に関する写真
- ③ 就労体験の希望者 (3タイプ) の情報

15:05～15:10 (5分) (演習 個人ワーク)

15:10～15:20 (10分) (演習 グループワーク (6人グループ))

15:20～15:25 (5分) (2～3のグループに発表)

15:25～15:35 (10分) (講評)

◆ 15:35～15:45 (10分) まとめ (加留部先生が進行)

◆科目:【講義と演習⑧】多様なプログラムづくり

◆日時等:12月8日(木)16:00～17:40(100分)

◆登壇者:【講師】岡野みゆき氏 沖縄県労働福祉基金協会

就職・生活支援パーソナル・サポート・センター

◆学びのポイント:○プログラム作りの方法や考え方

○スモールステップを意識した支援の考え方

○就労準備支援事業所との連携についても触れる

◆科目：【講義と演習⑨】就労支援と地域づくり

◆日時：12月9日（金）9：15～10：40（85分）

◆登壇者：【講師】釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏

【コーディネーター】明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◆学びのポイント：○就労支援を通じた地域づくりの考え方

- ・第1部・第2部の構成とし、2つのテーマに分けて櫛部氏に講義していただく。
- ・テーマごとに参加者バズセッションを行い講義内容への理解を深める。

◆進行案

進行時刻	内容
9:15～ 9:45	<u>1. 櫛部氏 発表 第1部（30分）</u>
9:45～ 9:50	<u>2. バズセッション（5分）</u> 同じ机の3人で、発表を聴いての感想（自分の業務に活かせること、今の自分や地域では難しいと感じたこと、櫛部氏に質問したいこと等）を共有する。
9:50～10:20	<u>3. 櫛部氏 発表 第2部（30分）</u>
10:20～10:25	<u>4. バズセッション（5分）</u>
10:25～10:35	<u>5. 質疑応答（10分）</u> 挙手制で会場から質問を受け付ける。
10:35～10:45 終了	<u>6. まとめ（5分）</u> 櫛部氏から受講者へメッセージ

◆科目：【講義と演習⑩】企業へのアプローチ

◆日時等：12月9日（金）10：55～14：05（研修130分+昼食休憩60分、計190分）

前半10：55～12：00（65分）、後半13：00～14：05（65分）

◆登壇者：【講師】 山本 樹 氏 社会福祉法人 光明会 社会貢献部長

◆学びのポイント：○企業開拓、企業支援の具体的な方法

- 社会資源開拓の支店とは
- 定着支援の必要性とその方法

◆科目：【講義と演習①】研修全体のまとめ

◆日時等：12月9日（金）14：20～16：20（120分）

◆登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◆学びのポイント：総合演習 受講者自ら就労支援を組み立てる

◆備品：付箋（各自 赤・青1冊ずつ）、模造紙（6人グループ1枚）、プロッキー（6人グループ1つ）

◆進行案：

進行時刻	内容
終了	<p>1. 導入 趣旨説明（10分）</p> <p>2. 振り返り演習（合計35分）</p> <p>①個人ワーク（10分）支援検討シートに支援を育てるシートの内容を追記する</p> <p>②個人ワーク（10分）1年後、半年後、3か月後の見通し記入（各3分×3回）</p> <p>③グループワーク（15分）支援の見通し（タイムマシーン法）を3名で共有</p> <p>3. これからに向けた演習（ワールドカフェ方式）（合計75分）</p> <p>テーマ：これからの就労支援であなたが踏み出したい第一歩は何ですか？</p> <p>①グループワーク1（20分）模造紙に記入</p> <p>②グループワーク2（20分）一人を残して他グループに移動して模造紙に記入</p> <p>③グループワーク3（15分）グループに戻り、情報を共有して模造紙に記入</p> <p>④個人ワーク（5分）</p> <p>「あなたが持ち帰って、他職員に伝えたいキーワードは何ですか」を付箋に記入</p> <p>⑤講師まとめ（15分）</p>

生活困窮者自立支援制度における就労支援

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊心や自己有用感を喪失している。

このため、本制度における就労支援は、常に本人を起点とし、

- ・ 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、包括的な支援の一環として展開する。
- ・ 本人の状態に合わせ、必要に応じてステップアップも意識しながら支援する。

⇒ 就労支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した支援
- ・ 就労意欲の喚起

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 主任相談支援員、相談支援員との協働
- ・ 就労準備支援事業等の活用
- ・ ハローワークその他の関係機関・者との協働

“ずっと”

切れ目のない支援

- ・ アウトリーチによる発見・支援
- ・ 多様なプログラムの用意
- ・ 個別のニーズに応じた職業紹介
- ・ 定着支援と企業支援

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者のネットワークの構築
- ・ 企業との関係づくり
- ・ 中間的就労や実習場所等の開拓
- ・ 居場所づくり
- ・ 町おこし、地域づくり

【後期】就労支援員養成研修 学びの見取り図

平成28年度【後期】就労支援員養成研修 学びの見取り図

科目	講師	"まわらば" 丁寧な相談支援			"みんな" チームによる支援			"すっど" 切れ目のない支援			"つながる・つくる" 社会資源の開発				
		包括的な相談支援の構築と自己啓発プログラムの作成	信頼関係の構築と自己啓発プログラムの作成	包括的な相談支援の構築と自己啓発プログラムの作成	主任相談支援員、相談支援員、関係機関・事業者との協働	ハローワークその他の関係機関・事業者との協働	アウトリーチによる発見・支援	多様なプログラムの活用	個別のニーズに応じた職業紹介	定着支援と企業支援	関係機関・事業者のネットワークの構築	企業との関係づくり	中間的就労や実習場所の確保	居場所づくり	町おこし、地域づくり
1 日目	【講義と演習①】はじめに	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習②】包括的な相談支援の視点	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習③】支援関係の構築	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習④】個人への就労支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習⑤】アウトリーチの実践と危機管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 日目	【講義と演習⑥】労働行政について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習⑦】自治体による就労支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習⑧】多様なプログラムづくり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習⑨】就労支援と地域づくり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【講義と演習⑩】企業へのアウトリーチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【講義と演習⑪】研修全体のまとめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【後期】就労支援員養成研修 研修会の様子



5 就労準備支援事業従事者養成研修

《就労準備支援事業従事者養成研修 プログラムシート》

■期日：9月26日（月）～29日（木） ■受講者数：235名 ■会場：タイム24ビル（4日間）

■会場の着席形式 最小単位を3人のグループとして、2つのグループ（計6人）で着席する。

1日目：地域、所属、年齢、性別を偏りなく、人口規模を合わせる

2日目：近隣

3日目：1日目の3人グループは同じで、組み合わせるグループを別にする

■各科目の内容について

◆科目：【講義①】生活困窮者自立支援法と就労準備支援事業の基本的な考え方

◆日時：＜1日目＞ 9/26（月）13：50～14：50（60分）

◆登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
室長補佐 高木 剛 氏

- ◆学びのポイント：○生活困窮者自立支援制度の創設背景、理念、事業概要等について説明する。
○就労準備支援事業の目的と必要性を理解してもらうとともに、支援の内容と流れを説明する。
○就労訓練事業、自立相談支援事業の就労支援員、ハローワーク、生活保護受給者等就労自立促進事業の役割と、就労準備支援事業との連携について説明する。

◆科目：【講義②】ハローワークとの連携

◆日時：＜1日目＞ 9/26（月）15：05～15：55（50分）

◆登壇者：埼玉労働局 地方訓練受講者支援室 室長 渋沢 修一 氏

- ◆学びのポイント：○ハローワークの役割や職業紹介の考え方、支援の流れについて説明する。
○「就労準備が一定程度整った状態」の考え方を示し、一般就労を目指す人の状態像を理解する。

◆科目：【講義と演習③】就労準備支援担当の役割と基本姿勢

◆日時：＜1日目＞ 9/26（月）16：10～17：10（60分）

◆登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏

- ◆学びのポイント：○研修全体の流れと学びの全体像を示し、研修に向けた動機付けを行う。
○担当者が生活困窮者自立支援制度に携わる支援員の心構えや基本倫理、基本姿勢を、演習等を通じて具体的に説明する。

【備考】前期共通プログラム『支援員に求められる基本倫理と基本姿勢』に類する位置づけ。

◆科目：【講義④】本人の状態像に応じた支援のあり方

◆日時：＜2日目＞ 9/27（火） 9：40～12：20（160分）

◆登壇者：【コーディネーター】

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室
自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏

【実践報告者】

- ・釧路社会的企業創造協議会 副代表 櫛部 武俊 氏
- ・ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子 氏
- ・名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター センター長 大熊 宗麿 氏

◆学びのポイント：○各地で雑多な形で行われている準備事業の状況を踏まえ、やり方の幅を広げてもらう。

○本人の状態像に応じた支援のあり方について理解をしてもらう。

- ・各報告者が行っている実践の内容について紹介する。事業において、各報告者が重視している視点を中心に報告。
- ・準備事業の方法（実習、講義、体験、グループ等）。個人に合わせたオーダーメイド型、事前プログラム等、何を採用しているか。
- ・日常生活自立、社会生活自立、就労自立のためにどんな支援をしているか。
- ・自立を含め、関係機関とどんな連携をしているか。
- ・中間的就労は地域にあるか。ある場合の役割分担について。

※各地域で実践している就労準備のバリエーションを包括的に理解する。

◆科目：【講義と演習⑤】支援に向けたインテークとアセスメントのあり方

/就労準備支援プログラムの作成

◆日時：＜2日目＞ 9/27（火） 13：20～17：15（研修 220分＋休憩 15分）

◆登壇者：NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏

◆学びのポイント：○対象者へのアセスメントの視点・方法を説明する（日常生活自立・社会生活自立・就労自立のどの段階にいるか）。

○アセスメントに基づいた就労支援プログラムの策定方法を説明する。

◆科目：【講義と演習⑥-1】支援プログラム・メニューの開発

◆日時：＜3日目＞ 9/28（水） 9：40～12：00（140分）

◆登壇者：沖縄県労働者福祉基金協会 就職・生活パーソナル・サポート・センター
次長 岡野 みゆき 氏

◆学びのポイント：○就労準備支援プログラムの作成と多様な支援メニューの準備と開発について説明する。

○対象者の状態に合わせた支援メニューの必要性について説明する。

◆科目：【講義と演習⑥-2】支援プログラム・メニューの開発

◆日時：＜3日目＞ 9/28（水）13：00～14：15（75分）

◆登壇者：【コーディネーター】厚生労働省 社会・援護局 地域福祉部 生活困窮者自立支援室
室長補佐 高木 剛 氏

【実践報告者】・釧路社会的企業創造協議会 事務局長 相原 真樹 氏
・パーソナルサポートセンター 理事 立岡 学 氏

◆学びのポイント：○就労体験の場所や実習先の発見・開拓の具体的な方法について説明する。

◆科目：【講義⑦】支援関係の構築Ⅰ

◆日時：＜3日目＞ 9/28（水）14：30～16：00（90分）

◆登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

◆学びのポイント：○支援関係の構築が全ての支援プロセスにおいて必須であることを理解する。
○就労意欲の喚起に向けた働きかけの方法や担当者の姿勢を説明する。

◆科目：【講義と演習⑧】支援関係の構築Ⅱ

◆日時：＜3日目＞ 9/28（水）16：15～18：10（115分）

◆登壇者：【コーディネーター】明治学院大学 教授 新保 美香 氏

【実践報告者】・インクルージョンネットかながわ 理事 鈴木 晶子 氏
・沖縄県労働者福祉基金協会
就職・生活パーソナル・サポート・センター 次長 岡野 みゆき 氏

◆学びのポイント：○就労自立の前段階にいる人、すなわちまだ就労意欲が低い等、就労に向けた準備がほとんど整っていない段階の人への支援のあり方について理解する。

進行案：

進行時刻	内容
16:15～16:17	<u>1. 導入：ねらいの説明（2分）</u> ・スライドに基づき新保先生が説明。
16:17～16:25	<u>2. 登壇者自己紹介（8分）</u> ・スライドに書かれているテーマに沿ってお一人2分程度で自己紹介 ・岡野さん→鈴木さん→新保先生の順番で。（鈴木さんはやや長めに）
16:25～16:45	<u>3. 支援のあり方を考える①（20分）</u> ・インシデントにもとづき、受講生に対応を検討してもらい、最後に鈴木さん・岡野さんだったらどうするかお話いただく。 ①「インシデント1」の説明（2分） ②個人での検討（3分） ③チームによるわかちあい（5分） ④鈴木さんのお話（5分）→岡野さんのお話（5分）

16:45~17:05	<p><u>4. 支援のあり方を考える② (20分)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデントにもとづき、受講生に対応を検討してもらい、最後に岡野さん・鈴木さんだったらどうするかお話いただく <p>①「インシデント2」の説明 (2分)</p> <p>②個人での検討 (3分)</p> <p>③チームによるわかちあい (5分)</p> <p>④岡野さんのお話 (5分) →鈴木さんのお話 (5分)</p>
17:05~17:35	<p><u>5. 就労に向けたモチベーションを高めるために：鈴木さんの講義+バズ等 (25分)</u></p> <p>①鈴木さんの講義 (20分)</p> <p>「支援に生かせる3つのポイント」として、就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたりポイントとなることを3つに絞り、お話していただく。</p> <p>②参加者バズセッション (5分)</p> <p>鈴木さんのお話における「気づき」をチームで共有する。</p>
17:35~18:00	<p><u>6. 就労に向けたモチベーションを高めるために：岡野さんの講義+バズ (25分)</u></p> <p>①岡野さんの講義 (20分)</p> <p>「支援に生かせる3つのポイント」として、就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたりポイントとなることを3つに絞り、お話していただく。</p> <p>②参加者バズセッション (5分)</p> <p>岡野さんのお話における「気づき」をチームで共有する。</p>
18:00~18:10	<p><u>7. まとめ (10分)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登壇者が、全体を振り返っての、まとめのコメントを伝える。 <p>鈴木さん→岡野さん→新保先生</p>
終了	

岡野さん・鈴木さんをお願いしたいこと：

①「インシデント1」「インシデント2」の内容の検討

→修正したほうがよい点、もっとこのような場面のほうがよいというようなご意見や修正案をお願いします。(インシデントは、スライド1枚に収まる内容にしたいと思います。)

この部分については、口頭での解説として、スライド等の事前準備は必要ないと考えています。

②「インシデント1」「インシデント2」に対するコメントの準備

それぞれ、5分ずつ、ご自身だったらどのように対応するか、お話いただきたいと思います。その準備をお願いいたします。

③「就労に向けたモチベーションを高めるために」における20分の講義の準備

就労意欲が低い方や、準備が必要な方への支援にあたり、ポイントと思われることを3つに絞り、講義をお願いします。あわせて、スライド、資料の準備もお願いいたします。

◆科目：【講義と演習⑨】4日間の振り返りとまとめ

◆日時：＜4日目＞ 9/29（木）9：30～12：35（研修170分＋休憩15分、計185分）

◆登壇者：明治学院大学 教授 新保 美香 氏

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

室長補佐 高木 剛 氏

生活困窮者自立支援制度における就労準備支援事業

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊心や自己有用感を喪失している。

このため、常に本人を中心としながら、

- ・ 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、日常生活自立・社会生活自立・就労自立に関する支援を行う。
- ・ 本人の状況に応じた多様な支援メニューを用意し、必要に応じてステップアップを意識しながら支援を展開する。

⇒ 支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ アセスメントに基づくプログラムの作成
- ・ 信頼関係の構築と自尊心、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレングスに着目した支援
- ・ 就労意欲の喚起

“ぴったり”

きめの細かい支援

- ・ 本人の状態像に応じた多様なメニューの用意
- ・ 職場定着支援
- ・ 居場所づくり

“みんなで”

チームによる支援

- ・ 自立相談支援機関との一体的支援
- ・ 協力関係事業所やハローワーク、地域の企業等との協働

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者とのネットワークの構築
- ・ 企業との関係づくり
- ・ 就労体験場所や実習場所等の開拓

就労準備支援事業従事者養成研修 学びの見取り図

平成28年度 就労準備支援事業従事者養成研修 学びの見取り図

科目	講師	“きちんと”		“びったり”		“みんな”		“つながる・つくる”					
		丁寧な相談支援	就業意欲の喚起	本人の状態に応じた多様なメニューの用意	職場定着支援	居場所づくり	自立相談支援機関との一体的支援	協力関係事業所やハローワーク、地域の企業等との協働	関係機関・者とのネットワークの構築	企業との関係づくり	就業体験の場所や実習場所等の開拓		
生活困難者自立支援法と就労準備支援事業の基本的な考え方	講師 厚生労働省 室長補佐 高木氏	信頼関係の構築、自尊感情、自己有用感の回復に向けた支援	就労意欲の喚起										
1 日目	増玉労働局 地方訓練受講者支援室長 洪沢氏												
ハローワークとの連携													
就労準備支援担当者の役割と基本姿勢	厚生労働省 自立支援企画調整官 鈴木氏												
2 日目	・厚生労働省 自立支援企画調整官 鈴木氏 ・創設社会的企業創造協議会 柳部氏 ・ユニバーサル就労ネットワーク 平田氏 ・名古屋布仕事・暮らし自立サポートセンター 大庭氏												
本人の状態像に応じた支援のあり方													
支援に向けたインターネットとアクセスメントのあり方/就労準備支援プログラムの作成	ステューデントサポートフェイス 谷口氏												
3 日目	【前半】沖縄県ハローワークサポートセンター 岡野氏 【後半】厚生労働省 高木氏 創設社会的企業創造協議会 柳部氏 ・ハローワークサポートセンター 立岡氏												
支援プログラム・メニューの開発													
支援関係の構築 I	明治学院大学 教授 新保氏												
支援関係の構築 II	・明治学院大学 新保氏 ・インクルーシブ・ネットワークかながわ 鈴木氏 ・沖縄県ハローワークサポートセンター 岡野氏												
4 日目	・明治学院大学 教授 新保氏 ・厚生労働省 室長補佐 高木氏												
3日間の振り返りとまとめ													

就労準備支援事業従事者養成研修 研修会の様子



6 家計相談支援事業従事者養成研修

《家計相談支援事業従事者養成研修 プログラムシート》

■期日：【第1回】7月26日（火）～29日（金） ■受講者数：64名 ■会場：全社協・会議室

【第2回】12月19日（月）～22日（木） ■受講者数：64名 ■会場：全社協・会議室

■会場の着席形式 1日目：近隣 2日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく

3,4日目：地域、所属、年齢、性別、人口規模を偏りなく（2日目と別）

■各科目の内容について

◆科目：【講義①】家計相談支援の基本的考え方

◆日時：第1回 <1日目> 7/26（火）13：40～14：10（30分）

第2回 <1日目> 12/19（月）13：40～14：15（35分）

◆登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏（第1回）

相談支援係長 三森 雅之 氏（第2回）

◆学びのポイント：

○生活困窮者自立支援制度の創設背景、理念、事業概要等について説明する

○家計相談支援事業の目的と必要性を理解してもらうとともに、支援の内容と流れを説明する

○自立相談支援事業及び就労準備支援事業等と家計相談支援事業との関係性や連携のあり方について事例を交えながら理解を促す

○生活困窮者自立支援制度に携わる支援員に求められる基本理念、基本姿勢について説明する

○加えて、家計相談支援員が特に配慮すべき、基本姿勢や倫理等について説明する

◆科目：【講義②】生活福祉資金貸付制度について

◆日時：第1回 <1日目> 7/26（火）14：10～15：10（60分）

第2回 <1日目> 12/19（月）14：20～15：10（50分）

◆登壇者：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

相談支援係長 三森 雅之 氏

全国社会福祉協議会 民生部 副部長 伊藤 浩司

◆学びのポイント：

○厚生労働省の制度担当者および実施主体である社会福祉協議会の担当者から、制度について説明する

◆科目：【講義③-1】利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解①

◆日時：第1回 <1日目> 7/26（火）15：25～16：55（90分）

第2回 <1日目> 12/19（月）15：25～16：55（90分）

◆登壇者：野洲市役所 市民生活相談課 課長補佐 生水 裕美 氏

◆学びのポイント：

○多重・過剰債務を理解するために、債務整理等の基礎や多重・過剰債務問題の要因を説明する

○活用できる各種の減免、給付制度、生活福祉資金の貸付、その他活用できる制度等について説明する

◆科目：【講義③-2】利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解②

◆日時：第1回 <2日目> 7/27（水） 9：30～10：30（60分）

第2回 <2日目> 12/20（火） 9：30～10：30（60分）

◆登壇者：日本司法支援センター 総務部付 常勤弁護士 馬場 真由子 氏（第1回）

第一事業部付 常勤弁護士 浅川 剛志 氏（第2回）

◆学びのポイント：

○多重・過重債務を理解するために、債務整理等の基礎や多重・過重債務問題の要因を説明する

○活用できる各種の減免、給付制度、生活福祉資金の貸付、その他活用できる制度等について説明する

◆科目：【講義④】ある相談窓口の事例から家計相談支援へのアプローチを探る

◆日時：第1回 <2日目> 7/27（水） 10：40～11：40（60分）

第2回 <2日目> 12/20（火） 10：40～11：40（60分）

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

自立の第一歩につながる家計相談支援

（1）講義—25分

社協の事例を使って現状を説明し、1つの事例を使って具体的な説明を行い、家計相談でどのような事をするのかイメージして頂く。

（2）演習 事例を使って、家計相談支援で何が出来るかグループ討議する

①演習説明— 3分

②グループ検討—10分

③発表・まとめ—20分

◆科目：【講義⑤-1】家計相談支援の基本的な考え方と相談の流れ～相談者のエンパワメントを！！～

◆日時：第1回 <2日目> 7/27（水） 12：40～14：40（研修110分＋休憩10分、計120分）

第2回 <2日目> 12/20（火） 12：40～14：40（研修110分＋休憩10分、計120分）

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

グリーンコープ生活協同組合ふくおか生活再生相談室福岡相談室相談員 春日市家計相談支援員 藤浦 久美 氏

福岡県域（朝倉郡・三井郡・三潴郡・八女郡）自立相談支援事務所 主任相談支援員 一丸 直子 氏

グリーンコープ生活協同組合おいた生活再生相談室相談員 大分県域（姫島村、日出町、九重町、玖珠町）家計相談支援員 大分市・臼杵市・宇佐市・佐伯市・豊後大野市・豊後高田市・由布市家計相談支援員 近澤 和子氏

講義5-1 110分	12:40 ~	13:20	0:40	講義5「家計相談支援の基本的な考え方と相談の流れ」 ～相談者のエンパワメントを!!～ 5-1【前半】「家計相談支援の前提となる考え方、基本姿勢や心構えを理解する」 (1)講義 ①「2. 前提となる考え方」「3. 基本姿勢」は、事例を交えながら説明。「3. 家計相談のすすめ方」は、3パターンの流れとそれに使用する帳票が分るように説明。	一丸
	13:20 ~	13:30	0:10	休憩	
	13:30 ~	14:05	0:35	講義5-1【後半】「家計相談支援の一連の流れを理解する」 (1)講義 ①相談の流れを理解し、各帳票の作成の流れを理解する。 ②「3」電話対応のすすめ方」は読んでおいていただくとする。 ③「4」初回面談のすすめ方」は、何を意識して家計をききとるのか、何が課題なのか意識しながら、留意事項に繋がるよう説明する。 ④自立相談支援事業所ほかとの連携の仕方や必要性について理解する。	近澤
	14:05 ~	14:25	0:20	⑤事例紹介(母子家庭の相談事例)	藤浦
	14:25 ~	14:30	0:05	⑥母子家庭等の収入計算の押さえ方を学ぶ	
	14:30 ~	14:40	0:10	⑦「5. 家計管理・出納管理・金銭管理の違い」	行岡

◆科目：【講義⑤-2】家計相談支援の基本的な考え方と相談の流れ～相談者のエンパワメントを！！～

◆日時：第1回 <2日目> 7/27(水) 14:55～16:25(90分)

第2回 <2日目> 12/20(火) 14:55～16:25(90分)

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

グリーンコープ生活協同組合ふくおか生活再生相談室福岡相談室相談員 春日市家計相談支援員 藤浦 久美 氏

福岡県域(朝倉郡・三井郡・三潴郡・八女郡)自立相談支援事務所 主任相談支援員 一丸 直子 氏

熊本県域(熊本市、玉名市、水俣市、天草市を除く全域)家計相談支援員 中島 明美 氏

グリーンコープ生活協同組合おおいた生活再生相談室相談員 大分県域(姫島村、日出町、九重町、玖珠町)家計

相談支援員 大分市・臼杵市・宇佐市・佐伯市・豊後大野市・豊後高田市・由布市家計相談支援員 近澤 和子氏

名張市社会福祉協議会 事務局次長 福井 浩司 氏

講義5-2 90分	14:55 ~	15:05	0:10	講義5-2 「演習:支援場面における具体的な対応方法」 (2)貸付斡旋が出来ないのに言い張る人 ①ロープレ説明、実演—10分	中島 近澤
	15:05 ~	15:10	0:05	②演習討議—5分	行岡 福井
	15:10 ~	15:15	0:05	③発表—5分	
	15:15 ~	15:25	0:10	④まとめ—10分	
	15:25 ~	15:55	0:30	(1)家計相談支援の進め方 ①ロープレ説明、実演 —30分 相談者入室から相談時家計表作成、家計計画表作成まで	一丸 藤浦
	15:55 ~	16:05	0:10	②演習討議—10分	行岡 福井
	16:05 ~	16:15	0:10	③発表—10分	
	16:15 ~	16:25	0:10	④まとめ—10分	

◆科目：【講義⑥】家計相談支援の失敗事例の検討～相談時の留意点や連携のあり方～

◆日時：第1回 <2日目> 7/27(水) 16:40～17:30(50分)

第2回 <2日目> 12/20(火) 16:40～17:30(50分)

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

福岡県域(朝倉郡・三井郡・三潁郡・八女郡)自立相談支援事務所 主任相談支援員 一丸 直子 氏

講義6 50分	16:40 ~	16:50	0:10	講義6「家計相談支援の失敗事例の検討」 —相談時の留意点や連携のあり方— ①失敗事例1(一度は立て直したが自己管理が出来なかった)失敗事例の説明	一丸
	16:50 ~	16:55	0:05	②演習1 書き込み	行岡 一丸
	16:55 ~	17:10	0:15	分かち合い	
	17:10 ~	17:30	0:20	発表、まとめ	

◆科目：【実習①】家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表作成

◆日時：第1回 <3日目> 7/28(木) 9:30～11:15(105分)

第2回 <3日目> 12/21(水) 9:30～11:15(105分)

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

福岡県域(筑紫郡・糟屋郡)家計相談支援事務所 家計相談支援員 北島 千恵 氏

実習1 105分	9:30 ~	9:50	0:20	実習1「家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表作成」 ①「(2)家計表・キャッシュフロー表の意味と役割」	北島 行岡
	9:50 ~	10:00	0:10	②「(3)チャレンジ演習」記入	
	10:00 ~	10:05	0:05	感想	
	10:05 ~	10:10	0:05	③「2. 家計表の作成」 事例の説明	
	10:10 ~	10:20	0:10	家計表への記入	
	10:20 ~	10:30	0:10	答え合わせ	
	10:30 ~	10:40	0:10	④実習問題 質問記入	
	10:40 ~	10:55	0:15	分かち合い	
10:55 ~	11:15	0:20	発表		

◆科目：【実習②】家計表とライフイベント表の作成

◆日時：第1回 <3日目> 7/28 (木) 11:25~15:05 (研修150分+休憩70分、計220分)

第2回 <3日目> 12/21 (水) 11:25~15:05 (研修150分+休憩70分、計220分)

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

北九州市家計相談支援員 福岡県域(遠賀郡・鞍手郡・嘉穂郡) 家計相談支援員 丸山 恵子 氏

実習2 150分	11:25 ~	11:40	0:15	実習2「家計表とライフイベント表の作成」 ①実習2の進め方と帳票の説明 ②「1. 事例相談者の説明」	丸山 行岡
	11:40	12:00	0:20	③「2.相談時家計表の作成」作成	
	12:00 ~	12:05	0:05	答え合わせ	
	12:05 ~	13:05	1:00	昼食休憩	
	13:05 ~	13:25	0:20	④「3. 家計計画表の作成」説明	
	13:25 ~	13:35	0:10	作成	
	13:35 ~	13:40	0:05	答え合わせ	
	13:40 ~	13:55	0:15	⑤2つの家計表を見て気付いたことを発表(数人)	
	13:55 ~	14:05	0:10	休憩	
	14:05 ~	14:20	0:15	⑥「4. ライフイベント表の作成」説明	
	14:20 ~	14:35	0:15	作成	
	14:35 ~	14:42	0:07	答え合わせ	
	14:42 ~	14:52	0:10	⑦グループワーク	
	14:52 ~	15:05	0:13	⑧発表、コメント	

◆科目：【実習③-1】キャッシュフロー表の作成と家計再生プランなどの立案

◆日時：第1回 <3日目> 7/28 (木) 15:20~18:00 (160分)

第2回 <3日目> 12/21 (水) 15:20~18:00 (160分)

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

北九州市家計相談支援員 福岡県域(遠賀郡・鞍手郡・嘉穂郡) 家計相談支援員 丸山 恵子 氏

熊本県域(熊本市、玉名市、水俣市、天草市を除く全域) 家計相談支援員 中島 明美 氏

実習3-1 160分	15:20 ~	15:50	0:30	実習3「キャッシュフロー表の作成と家計再生プランなどの立案」 実習3-1「キャッシュフロー表の作成」 ①キャッシュフロー表の構成説明 ~二つの家計表の入力(実習)	中島 (平本) 丸山 行岡
	15:50 ~	16:00	0:10	②キャッシュフロー表の入力説明~自動入力の答え合わせ	
	16:00 ~	16:20	0:20	③次男のライフイベントの入力	
	16:20 ~	16:40	0:20	④収入金額の(手入力)の入力~答え合わせ	
	16:40 ~	16:50	0:10	⑤支出金額の入力要領の説明	
	16:50 ~	17:50	1:00	⑥支出金額の入力 費目の金額修正~答え合わせ(3)…個別 ⑦一時的な支出金額の金額入力 ⑧作成したキャッシュフロー表の月末推移の記入と答え合わせ(4)…全員 ⑨月末推移を見ながら課題など気付いた事の記入	
	17:50 ~	18:00	0:10	⑩月末推移を見ながら課題など気付いた事の発表	

◆科目：【実習③-2】キャッシュフロー表の作成と家計再生プランなどの立案

◆日時：第1回 <4日目> 7/29 (金) 9:00~10:50 (110分)

第2回 <4日目> 12/21 (木) 9:00~10:50 (110分)

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

北九州市家計相談支援員 福岡県域(遠賀郡・鞍手郡・嘉穂郡) 家計相談支援員 丸山 恵子 氏

グリーンコープ生活協同組合ふくおか生活再生相談室福岡相談室相談員 春日市家計相談支援員 藤浦 久美 氏

グリーンコープ生活協同組合おいた生活再生相談室相談員 大分県域(姫島村、日出町、九重町、玖珠町)家計相談支援員 大分市・臼杵市・宇佐市・佐伯市・豊後大野市・豊後高田市・由布市家計相談支援員 近澤 和子氏

実習3-2 110分	9:00 ~	9:10	0:10	実習3-2「家計再生プランの立案、貸付けあっせん書の作成」 ①家計再生プラン 説明	藤浦
	9:10 ~	9:35	0:25	作成(演習)	行岡 丸山
	9:35 ~	9:50	0:15	発表とまとめ	
	9:50 ~	10:00	0:10	②貸付けあっせん書 説明	近澤
	10:00 ~	10:25	0:25	作成(演習)	
	10:25 ~	10:40	0:15	発表とまとめ	行岡 丸山
	10:40 ~	10:50	0:10	③感想・質問・応答	

◆科目：【講義⑦】家計相談支援の帳票の書き方、全体の質疑・応答

◆日時：第1回 <4日目> 7/29 (金) 11:00~12:30 (90分)

第2回 <4日目> 12/21 (木) 11:00~12:30 (90分)

◆登壇者：グリーンコープ連合 常務理事・生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏

福岡県域(筑紫郡・糟屋郡) 家計相談支援事務所 家計相談支援員 北島 千恵 氏

講義7 90分	11:00 ~	11:50	0:50	講義7「家計相談支援の帳票の書き方」 ①「1. 相談受付票・申込書A・B」 ②「2. インテーク・アセスメントシート」 ③「3. 相談時家計表、4. 家計計画表、5. キャッシュフロー表」 ④「6. 家計再生プラン」 ⑤「7. 支援経過記録シート、8. 評価シート」 ⑥「9. 貸付けあっせん書」	北島
	11:50 ~	12:30	0:40	全体の質疑・応答	行岡

生活困窮者自立支援制度における家計相談支援員の役割

- 家計に課題のある人に対し、信頼関係を構築しながら、相談者自身が家計の状況を理解し、家計管理に向けて前向きに取り組むよう支援する。
- 家計に関する専門的知識に基づき、適切な情報を提供したり、家計表やキャッシュフロー表等の帳票を作成する。
- 各種帳票を活用し、家計の課題を明らかにし、支援の方向性を整理する。
- 家計相談支援機関だけでなく、自立相談支援機関や法テラス、多重債務相談窓口、公的給付や減免等の担当部局等と連携する。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- ・ 対象者の把握
- ・ 信頼関係の構築
- ・ 本人主体による丁寧なアセスメント
- ・ 家計の現状理解に向けた支援
- ・ 家計管理に向けた意欲喚起

“みんなまで”

チームによる支援

- ・ 自立相談支援事業との連携
- ・ 他事業との連携による効果的な支援の推進
- ・ 各種貸付機関との連携
- ・ 法テラスや多重債務相談窓口、消費生活相談窓口など関係機関との連携
- ・ 公的給付窓口（減免等）との連携

“しつかり”

専門的な支援技術の活用

- ・ 一般的な家計の支出額に関する知識の活用
- ・ 家計表やキャッシュフロー表等の作成を通じた家計状況の「見える化」
- ・ 各種帳票の読み解きと課題の整理
- ・ 家計の視点からの情報提供や助言
- ・ 債務整理全般や改正貸金業法、消費者安全法等の基礎的把握と活用

家計相談支援事業従事者養成研修 学びの見取り図

平成28年度 家計相談支援事業従事者養成研修 学びの見取り図

日程	講義のポイント	講師	「専ら」で			「みんな」で			「しっかり」			
			対象者の把握	年間計画の構築	本人主体による家計の現状把握に向けた支援	家計管理に向けた意識啓発	自立相談支援事業との連携	結果志向の連携	各員が得意とする分野での連携	各員が得意とする分野での連携	法的な観点からの連携	専門的な支援技術の活用
1 日目	<p>〈講義〉各課支援事業の概要</p> <p>【研修①】 ○家計相談支援の基本の考え方</p> <p>【研修②】 ○生活福祉資金貸付制度について</p> <p>【研修③-1】 ○利用できる制度および多量・連判債票の解決方法の理解①</p> <p>【研修③-2】 ○利用できる制度および多量・連判債票の解決方法の理解②</p> <p>【研修④】 ○ある程度以上の事例から家計相談支援へのアプローチを学ぶ ～自立の第一歩につながる家計相談支援～</p> <p>【研修⑤-1】 ○家計相談支援の基本の考え方と相談の流れ～相談者のエンパワメントを11～</p> <p>【研修⑤-2】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p>	田中 芳樹 氏 自立支援センター 相談室長 藤本 泰典 子 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		伊藤 啓 氏 相談支援係長 三原 隆之 氏 全国社会福祉協議会 阪生部 副部長 伊藤 洋司 氏 野洲市役所 生水 裕美 氏										
		日本司法支援センター 労働弁護士 奥野 昌由 子 氏										
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 日目	<p>〈講義〉グループワーク 家計相談の方法</p> <p>【研修⑥-1】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p> <p>【研修⑥-2】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p> <p>【研修⑦-1】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p> <p>【研修⑦-2】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p> <p>【研修⑧】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p>	クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
3 日目	<p>〈講義〉各課連携の作成</p> <p>【研修⑨】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p> <p>【研修⑩】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p> <p>【研修⑪】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p>	クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
4 日目	<p>〈講義〉各課連携の作成</p> <p>【研修⑫】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p> <p>【研修⑬】 ○家計相談支援の提供となる場、基本姿勢や心構えを説明する</p>	クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										
		クリーンコープ連合 行田 明子 氏 行田 明子 氏 川口 明子 氏 近藤 和子 氏										

家計相談支援事業従事者養成研修 研修会の様子



7 都道府県研修に係る担当者研修

《都道府県研修に係る担当者研修 プログラムシート》

■期日：2月3日（金） ■受講者数：64名 ■会場：全社協 灘尾ホール

■受講対象者：都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者

①都道府県の研修担当者 33名

②国が実施する研修の修了者 31名

■会場の着席形式 終日6名のグループ形式で進行（地域、所属、性別を偏りなく）

■各科目の内容について

◆科目：都道府県における研修の取り組み事例紹介

◆時間： 11：15～12：15（60分）

◆事例発表者：・埼玉県 福祉部 社会福祉課 主幹 服部 孝 氏

・宮城県 保健福祉部 社会福祉課 主事 木村 秀和 氏

◆コーディネーター：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏

◆ねらい：

○都道府県研修の取り組みは徐々に拡がってきています。このような中、他県がどのような取り組みをしているかについて知りたいという意見が多く聞かれます。そこで、当該セッションでは、研修開催までの過程、カリキュラム内容や進行方法、講師選定などについて、お二方の取り組みを共有することを目的とします。

○特に、今年度どのような研修を開催したのか、また開催に向けてどのように準備を進めたかを中心に紹介するセッションにします。

◆進行：

11：15－11：20（5分） セッションの内容と意図を紹介（鍋木氏）

11：20－11：40（20分） 取り組み事例の報告1（宮城県 木村氏）

11：40－12：00（20分） 取り組み事例の報告2（埼玉県 服部氏）

12：00－12：15（15分） 質疑応答・まとめ

◆科目：【講義と演習】研修の企画立案について

◆時間： 13：15～16：30（研修180分、休憩15分）

【講師】九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏

◆ねらい：

都道府県での研修の企画立案・運営の方法やポイントを学ぶ。

◆到達目標：

1. 研修の企画立案・運営の方法を理解し、説明できるようになる。
2. 自らの研修企画を見直し、よりよいものにする。
3. 今後の研修の実施に向けて、「具体的に取り組むこと」を明確にする。

都道府県研修に係る担当者研修 研修会の様子



第5章 研修の評価

1 本研修の特色

企画・運営委員会および各研修企画部会における議論を受けて、次の特色を持たせるべく研修講師と協議して研修を実施した。

(1) 事業従事者の役割や求められる力量を踏まえたカリキュラムづくり

①自立相談支援事業従事者養成研修【前期】共通研修

主任相談支援員、相談支援員、就労支援員それぞれの職種を対象とした前期共通研修は、理念、地域づくり、対象者の特性、相談支援の展開、就労支援の基礎を深める研修内容に留意した。また、詳細は後述するが、新たに研修ニーズを考慮したプログラムも実施した。

②自立相談支援事業従事者養成研修【後期】研修

各職種の後期研修については、それぞれに必要とされる役割や力量を取得できるよう演習を中心としたプログラム作りを行い、より専門性を高める内容に努めた。それぞれの後期研修企画部会としての考え方の整理は次のとおりである。

ア) 主任相談支援員

生活困窮者への相談に関し高度な相談支援能力を持ち、支援困難ケースに対応し、自立相談支援機関において相談業務のマネジメントを行うとともに、社会資源開発と地域づくりを行う能力を獲得するプログラムとした。

イ) 相談支援員

生活困窮者への個別的・継続的・包括的な支援（アセスメント、自立支援計画の策定、支援調整会議の実施等の一連の支援プロセス）を習得するプログラムとした。

ウ) 就労支援員

自立相談支援機関において、生活困窮者への就労支援（能力開発、職業訓練、就職支援、無料職業紹介、求人開拓など）やキャリアコンサルティング等を行う知識や技術を学ぶプログラムとした。

③就労準備支援事業従事者養成研修

就労準備支援担当者に求められる基本理念や責務、役割について理解するとともに、援助関係の構築、アセスメントの手法、就労準備支援プログラムの作成、支援方法、評価の視点を教示した。また、自立相談支援機関やハローワーク等関係機関との連携、社会資源の開発等、就労準備支援を進めていくために必要な体制づくりについて学ぶプログラムとした。

④家計相談支援事業従事者養成研修

相談者の状況・背景や家計相談支援員に求められる倫理・責務・役割を理解し、相談者自身が主体的に家計を管理する意欲を引き出すことに配慮した。また、多重・過重債務問題の理解と利用できる制度や法律を教示した。そして、初回面接から終結に至るまでの一連の流れを学ぶとともに、家計表等の作成において求められる情報収集の方法や分析視点を理解するプログラムとした。なお、研修実施については、昨年度と同様にグリーンコープ連合に一部業務を再委託した。

⑤都道府県研修に係る担当者研修

担当者研修は本年度から新たに国の養成研修に位置づけられたが、前年度において本会独自で実施していた同様の趣旨である担当者研修の内容を踏まえたうえで企画検討を行った。プログラムとしては、都道府県が実施する研修の企画立案・運営に携わる中核的な役割を担う者を養成することを目的に、先駆的な事例紹介やファシリテーターの専門家の講義を行った。

(2) 多様な演習（グループワーク）による学習

多様な演習（グループワーク）を通じて問題意識を深めることや事例の見立ての際の重要な視点などについて共通理解を図った。また、多様な手法を経験することで、自身のファシリテーション技術の向上に寄与した。

(3) 地域に戻って研修内容を伝える機会づくりを受講者に求めた

自立相談支援事業従事者養成研修【前期】研修における研修会の目標として、①基本を学ぶ、②学んだことを実践できる、③伝達できる（講師になれる）の3点を受講者に伝え、伝達できるようになることを前提として学習することを促した。各講師も受講者が講師になることを意識して、講義・演習を組み立てや資料作成を行った。

(4) 振り返り時間の設定と学びのポイントの可視化

昨年度に引き続き、研修期間中毎日「振り返り時間」を設けた。これは、個々の受講者が、その日の学びや気づきについてのディスカッションやアンケート記入などの時間を設けることで、一日の整理と翌日への心構えやモチベーション向上を図る意図から導入した。

また、全従事者養成研修において「学びの見取り図」を作成した。研修で何をどう学ぶのか、プログラム別に講師が伝えたいことを可視化し、その日の開始時や振り返り時間にて共通理解を図った。

(5) 受講者向けの課題の設定

研修の学びの効果や相談員としての意識の醸成を図るため、適宜、事前課題を受講者に課した。全従事者養成研修において、他の参加者との自己紹介ツールとしても利用するアンケート形式の課題を設定した。また、【後期】主任相談支援員研修、【後期】就労支援員研修については、実際の事例を整理したシートを作成してもらい、グループワークをはじめとした研修プログラムにて活用した。

(6) テーマ別交流会の設定

一部の研修について、研修終了後に自由参加のテーマ別交流会を開催した。講師の専門分野のテーマを設け、講師を囲んで車座になり、悩み相談や講義内容をより深く理解する機会を提供した。また、同じ悩みを持った受講者のネットワーク構築の場になった。

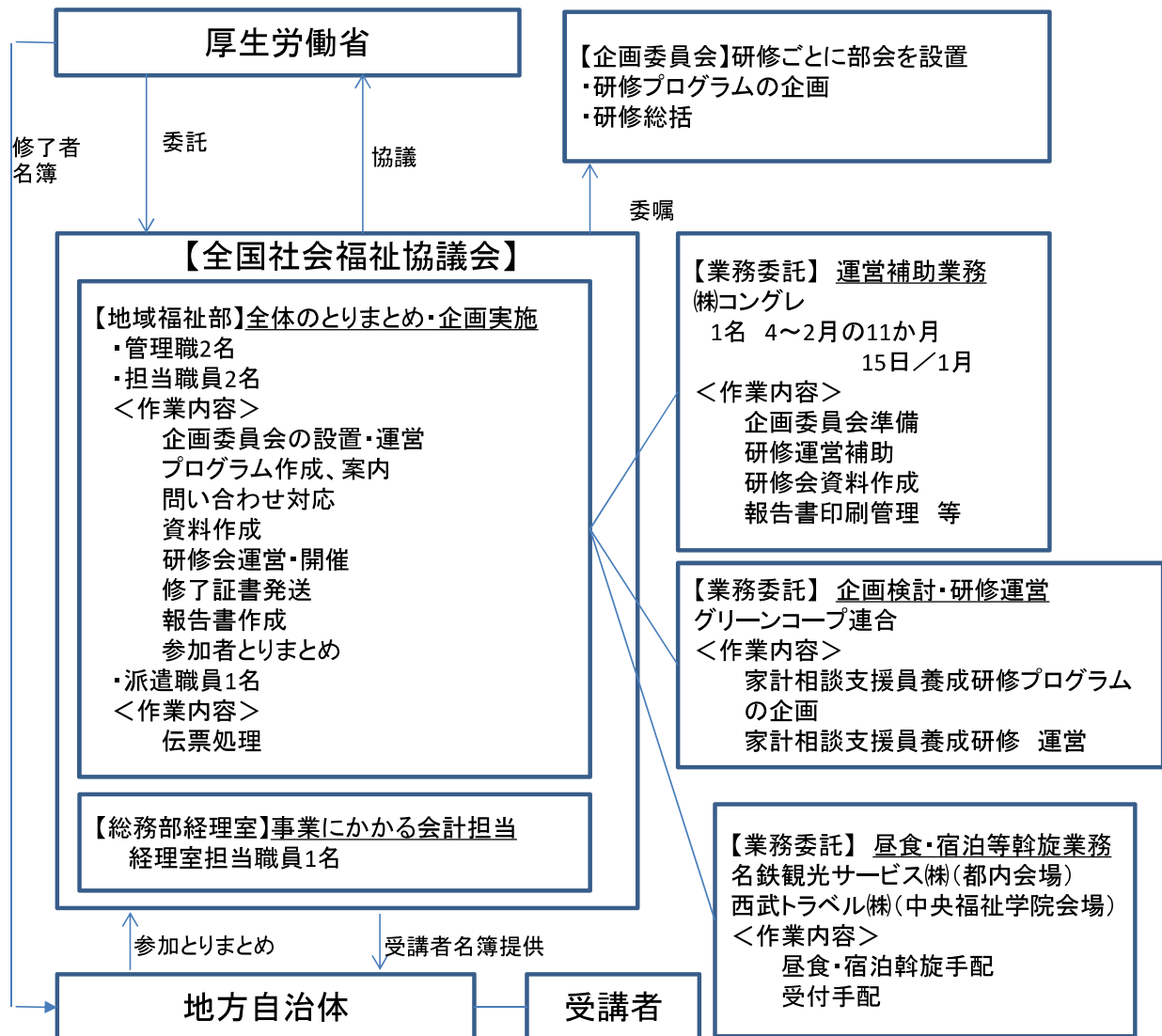
第6章 業務の運営

1 受け入れから実施報告までのスケジュール

◇受け入れから報告までのスケジュール(日程)

4/11	第1回企画・運営委員会の開催	事業実施計画の確認 研修プログラム検討(講師選定含)	企画委員選定協議 会場調整等
4月中旬～	研修プログラムの作成	企画委員会で協議された内容に沿って、研修プログラムを作成する ※講師の確保について可能な範囲で進める ※会場確保(演習に必要な会場等)	プログラム案作成 開催要綱等作成
5月下旬	開催案内	開催要綱作成、発送、募集	講師確保
6月上旬	受講者の決定・案内	行政が取りまとめた申込の集約、厚労省と調整・確認のうえ受講決定案内	問い合わせ対応 (～1月)
6/8	第1回家計相談企画部会の開催	研修の企画検討 今後の進め方確認	企画委員会検討準備
6/16～18	【前期】 共通カリキュラム(第1回)		研修資料作成 備品等研修準備
6/23	第1回就労準備企画部会の開催	研修のカリキュラム検討 今後の進め方確認	企画委員会検討準備
7/19～21	【前期】 共通カリキュラム(第2回)		修了証書発行
7/26～29	第1回家計相談支援員養成研修		受講決定案内
8/8	第1回相談支援員企画部会の開催	【後期】相談プログラム検討 今後の進め方確認	企画委員会検討準備 演習講師打ち合わせ準備
8/17～19	【後期】 主任相談支援員養成研修		修了証書発行
8/31～9/2	【前期】 共通カリキュラム(第3回)		
9/26～29	就労準備支援員養成研修		
10/5～7	【後期】 相談支援員養成研修(第1回)		修了証書発行
10/17	第1回就労支援員企画部会の開催	【後期】就労プログラム検討 今後の進め方確認	企画委員会検討準備
11/30～12/2	【後期】 相談支援員養成研修(第2回)		研修資料作成 備品等研修準備
1/10	第1回都道府県研修に係る担当者研修企画部会	研修の企画・検討 今後の進め方確認	修了証書発行 アンケート集約
12/7～9	【後期】 就労支援員養成研修		修了証書発行
12/19～22	第2回家計相談支援員養成研修		修了証書発行
2月3日	都道府県研修に係る担当者研修		アンケート集約
2月上旬～	実施報告書作成	事業の実績をとりまとめ、報告書を作成する。	報告書作成
～2月末	研修完了業務	会計処理 修了者名簿の作成と厚生労働省へ提供	

2 実施体制



付録

- 1 開催要項
- 2 修了証書（ひな形）

生活困窮者自立支援制度人材養成研修（厚生労働省委託事業）

平成 28 年度 自立相談支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の種類

生活困窮者自立支援制度の自立相談支援事業において配置される主任相談支援員、相談支援員、就労支援員それぞれを対象とした3種の養成研修を実施します。

2. 日程・定員・会場

研修名	日程	定員	会場
【前期】共通カリキュラム	【第1回】6月16日(木)～18日(土)	計320名 (主任:240名、 相談:80名)	全社協・灘尾ホール
	【第2回】7月19日(火)～21日(木)	計320名 (相談:320名)	全社協・灘尾ホール
	【第3回】8月31日(水)～9月2日(金)	計320名 (相談:80名 就労:240名)	全社協・灘尾ホール
【後期】主任相談支援員養成研修	8月17日(水)～19日(金)	240名	全社協・中央福祉学院
【後期】相談支援員養成研修	【第1回】10月5日(水)～7日(金)	240名	全社協・中央福祉学院
	【第2回】11月30日(水)～12月2日(金)	240名	大阪市内
【後期】就労支援員養成研修	12月7日(水)～9日(金)	240名	全社協・中央福祉学院

<会場>

【前期】全国社会福祉協議会 灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

※アクセスはwebサイト(<http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html>)でご確認ください。

【後期】全国社会福祉協議会 中央福祉学院

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL 046-858-1355 FAX 046-858-1356

※アクセスはwebサイト(<http://www.gakuin.gr.jp/>)でご確認ください。

【後期】OMM Cホール（大阪市内、【後期】相談支援員養成研修【第2回】のみ）

〒540-6591 大阪府中央区大手前 1-7-31

TEL 06-6943-2020

FAX 06-6943-2021

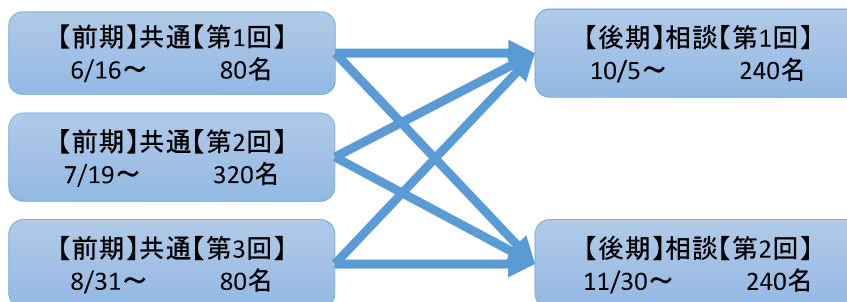
※アクセスはweb サイト (<http://www.omm.co.jp/access/index.html>) でご確認ください。

3. 職種別の受講パターン

(1) 主任相談支援員 (240名)



(2) 相談支援員 (480名)



相談支援員は、【前期】、【後期】それぞれ受講希望回を受講申込書にて確認します。各回の内容は同様です。受講回の決定は事務局および厚生労働省が行い、基本的に変更はできません。あらかじめご了承ください。

(3) 就労支援員 (240名)



4. 受講対象

(1) 主任相談支援員養成研修

自立相談支援事業において主任相談支援員として配置されている者。

なお、以下の①～③までのいずれかに該当する者。

①社会福祉士、精神保健福祉士、保健師として保健、医療、福祉、就労、教育等の分野における業務に5年以上従事している者であり、かつ、生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に3年以上従事している者

②生活困窮者への相談支援業務その他の相談支援業務に5年以上従事している者

③相談支援業務に準ずる業務として、実施主体である地方自治体の長が認めた業務に5年以上従事している者

(2) 相談支援員養成研修

自立相談支援事業において相談支援員として配置されている者。なお、相談支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への相談支援を適切に行うことができる者。

(3) 就労支援員養成研修

自立相談支援事業において就労支援員として配置されている者。なお、キャリアコンサルタント、

産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる者。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成28年4月1日付社援発0401第9号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成28年4月21日付厚生労働省事務連絡）（研修受講者の選定基準、都道府県別の受講者枠等が示されています）

5. 研修内容

（1）主任相談支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】（別表1）及び主任相談支援員養成研修カリキュラム【後期】（別表2）により構成されています。

（2）相談支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】（別表1）及び相談支援員養成研修カリキュラム【後期】（別表3）により構成されています。

（3）就労支援員養成研修

共通カリキュラム【前期】（別表1）及び就労支援員養成研修カリキュラム【後期】（別表4）により構成されています。

※本年度、1人の受講者が2つ以上の研修を受講する場合は、共通カリキュラム【前期】は1回だけ受講することとします。なお、【後期】研修を先に受講することはできません。また、昨年度までにおいて自立相談支援事業従事者養成研修の共通カリキュラム【前期】を受講した方は、本年度の共通カリキュラム【前期】は受講免除となります。過去の受講状況については受講申込書にて確認します。

※カリキュラムの詳細は受講決定通知と併せてご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

6. 受講料

無料

※テキスト代、食事代、交流会参加費（【前期】研修会1日目、【後期】研修会1日目に予定、希望者のみ）は負担ください。なお、旅費及び宿泊費については、事業の対象経費として支出が可能とされています（社会・援護局長通知参照）。

7. テキスト

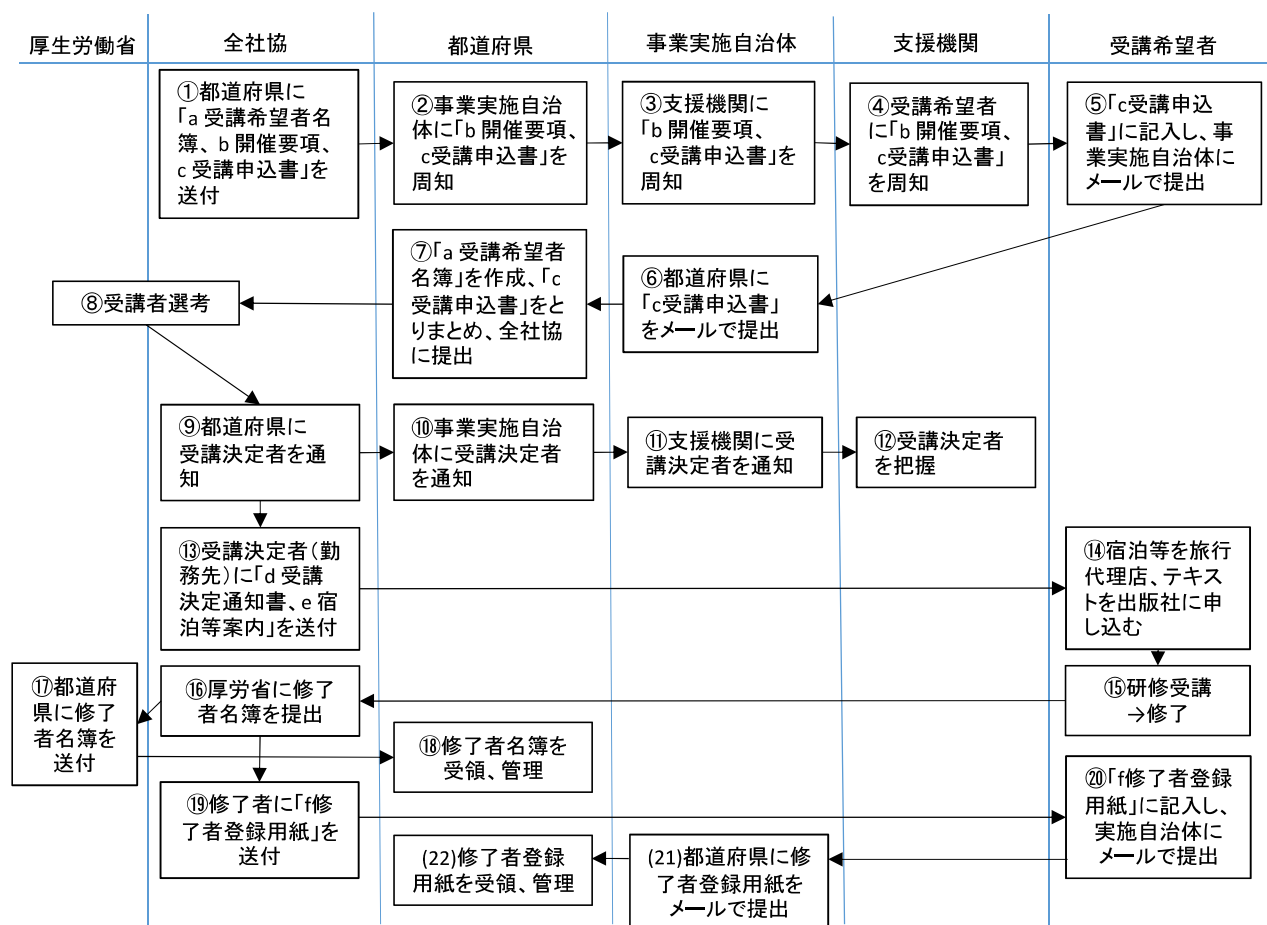
各研修で使用するテキストは下記の1冊となります。各自ご用意ください（自己負担）。

①『生活困窮者自立支援法 自立相談支援事業従事者養成研修テキスト』（中央法規出版株式会社）

※昨年「平成27年度自立相談支援事業従事者養成研修」に使用したテキストと同じです。

※書店等でお買い求めください。

8. 申込みから受講、修了までの流れ



※ 【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

8-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出(締切日：平成28年5月18日(水))【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」(5月下旬予定)に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 研修終了後、修了者名簿および修了者登録用紙を受領し管理【⑯, (22)】

8-2. 事業実施自治体

- (1) 自立相談支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付(直営の場合は受講者に周知)【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 自立相談支援機関に受講決定者を通知(直営の場合は受講者に通知)(5月下旬予定)【⑪】
- (4) 研修終了後、修了者登録用紙を受領し都道府県に提出【(21)】

8-3. 自立相談支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

8-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】
 - ※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、自立相談支援機関経由でメールにてお送りします。
 - ※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。
 - ※受講申込書のファイル名は、「別添1」受講申込書（1主任、2相談、3就労）（フルネームを漢字で記入）」の1つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。
 - ※「別添2」受講申込書（記入例）」をご参照ください。
- (2) 受講決定後、テキスト、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：6月上旬予定）【⑭】
 - ※受講決定通知、テキスト、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（5月下旬予定）。
 - ※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。
 - ※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、自立相談支援機関にも通知します。
- (3) 研修修了後、全社協から送付する「修了者登録用紙（自宅住所を記入）」に記入して、事業実施自治体にメールで提出【⑳】

9. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①前・後期のすべての科目に出席すること。
 - ②前期終了後の事後課題を提出すること（課題を課した場合）。
- (3) 修了証書は、後期研修終了時に受講者本人にお渡しします。
- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

別表1 共通カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
生活困窮者支援の基本的な考え方について	生活困窮者自立支援制度創設の背景及び制度の概要、生活困窮者支援の理念について理解する。	講義：1.5時間
生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業の重要性について	自立相談支援事業の目的、機能、各支援員の役割、支援の流れについて理解する。	講義：1時間
	自立相談支援事業と任意事業について理解する。	講義：1時間
支援員に求められる基本倫理と基本姿勢について	各支援員に求められる基本倫理と基本姿勢について理解する。	講義：1.5時間 演習：2時間
生活困窮者支援に必要と考えられる視点について	生活困窮者支援に関係する各制度・施策やその他の社会資源の活用、それらとの連携・協働の目的とその方法について理解する。	講義：1.5時間 演習：2時間
生活困窮者支援を通じた地域づくりについて	誰もが地域の中で安心して暮らすことができる（自立生活ができる）地域づくりに必要な視点について理解する。	講義：1時間 演習：2.5時間
相談支援の展開について	生活困窮者の自立支援計画について、基本的な考え方等について理解する。	講義：2時間 演習：1.5時間
就労支援の実施方法について	生活困窮者の就労支援について、基本的な考え方等について理解する。	講義：1.5時間 演習：2時間

※計21時間（講義11時間、演習10時間）

※実施予定時刻

- 【第1回】 第1日目 9:00~18:30 交流会（自由参加）18:50~19:50
 第2日目 9:00~17:40
 第3日目 9:00~17:30
- 【第2,3回】 第1日目 9:00~18:30 交流会（自由参加）18:50~19:50
 第2日目 9:00~18:35
 第3日目 9:00~16:35

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表2 主任相談支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
主任相談支援員の役割について	生活困窮者自立支援制度における主任相談支援員に求められる役割について理解する。	講義：1時間
職員の資質向上と職場（組織）づくりについて	職員の育成・教育について学習するとともに、スーパービジョンの手法等について十分に理解する。	講義：1時間 演習：2時間
生活困窮者支援を通じた地域づくりの意義について	生活困窮者支援を通じた地域づくりの考え方を学習するとともに、地域の関係機関・関係者との協働・連携のあり方について理解する。	講義：1時間
個を支える地域づくりの視点について	事例検討を通じて、個を支えるために必要な地域ネットワークを考察することにより、地域づくりの視点について理解する。	演習：3時間
社会資源とネットワーク開発について	地域の社会資源の把握、地域に不足する社会資源の開発等の考え方やその手法について理解する。	演習：3時間
支援困難事例の検討について	高度な相談支援（支援困難ケースへの対応）について、具体的な支援の考え方やその手法について理解する。	講義：1時間 演習：2時間
アウトリーチ・インテーク	アウトリーチとインテークの考え方やその手法について理解する。	講義：1時間
アセスメント・プラン作成について	事例を通じて、インテーク・アセスメントシートの考え方について理解する。	講義：2時間 演習：2時間
支援調整会議について	支援調整会議の考え方や主任相談支援員としての役割について理解する。	講義：1時間
研修全体のまとめ	共通カリキュラムを含めた研修全体について振り返りを行う。	講義：1時間

※計 21 時間（講義 9 時間、演習 12 時間）

※実施予定時刻 第1日目 10：00～19：20 交流会（自由参加）19：30～21：00

第2日目 9：00～18：30 テーマ別交流会（自由参加）18：40～19：40

第3日目 9：00～16：30

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表3 相談支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
個別支援の基本について	相談支援において援助関係を構築する大切さやその手法について理解する。	講義：1時間 演習：1時間
援助関係をつくりにくい人への支援について	発達障害やメンタルヘルスに配慮すべき人の特性や支援方法について理解する。	講義：1時間 演習：1時間
アウトリーチについて	生活困窮者自立支援制度におけるアウトリーチの重要性とその手法について理解する。	演習：1.5時間
観察と記録について	プランや経過記録シートなど相談支援員が記録すべき帳票類について、客観的な事実を正確に表現する手法を理解する。	講義：1時間 演習：0.5時間
自立相談支援員が持つべき就労支援の視点について	相談支援員にとっての就労支援のポイントについて理解する。	講義：0.5時間 演習：1時間
任意事業との連携のあり方について	自立相談支援事業と任意事業との連携のあり方を確認し、効果的な支援策について理解する。	講義：1時間 演習：1.5時間
地域を基盤とした相談支援の方法について	地域づくりの重要性やその手法を通じて、地域を基盤にした支援方法について理解する。	演習：1.5時間
相談支援の展開について	演習を通じて自立相談支援事業における帳票類が持つ意味について理解する。	講義：1.5時間 演習：7時間

※計 21 時間（講義 6 時間、演習 15 時間）

※実施予定時刻 第1日目 10：00～18：50 交流会（自由参加）19：00～20：30

第2日目 9：00～18：00 テーマ別交流会（自由参加）18：10～19：10

第3日目 9：00～17：30

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

別表4 就労支援員養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
就労支援員の役割について	生活困窮者自立支援制度における就労支援員に求められる役割を理解する。	講義：1時間 演習：0.5時間
包括的な相談支援の視点について	自立を意識した就労支援の重要性や働く場の開拓といった「出口支援」の考え方と具体的な方法について理解する。	講義：0.5時間 演習：1.5時間
ハローワークにおける就労支援について	ハローワークの役割や自立相談支援機関との連携方策について理解する。	講義：0.5時間 演習：0.5時間
	ハローワークで実施している相談支援、取組等の支援手法について理解する。	講義：1時間
	労働法制やハローワークの視点からの企業支援、企業訪問、求人開拓などについて理解する。	講義：0.5時間 演習：0.5時間
個人への相談支援について	事例を通して、個別相談支援への支援プロセス等について理解する。	講義：1時間 演習：2時間
アウトリーチの実施と危機管理について	アウトリーチの重要性や手法の理解や危機管理の視点について理解する。	講義：0.5時間 演習：1.5時間
多様なプログラムの作成について	プログラム作りの方法や考え方や意欲喚起の手法について理解する。	講義：1.5時間 演習：0.5時間
職場内のチームづくり、地域のネットワークづくりについて	働きやすい職場づくりや地域の様々な関係づくりの実践を通じて、その手法について理解する。	講義：0.5時間 演習：0.5時間
自治体による就労支援について	自治体が行う就労支援とその強みについて理解する	講義：0.5時間 演習：1.5時間
企業へのアプローチについて	企業開拓、企業支援の具体的な方法や定着支援の必要性とその方法などについて理解する。	講義：1時間 演習：1.5時間
研修全体のまとめ	研修全体の振り返りを実施し、就労支援員の役割の再認識を行う。	講義：1時間 演習：1時間

※計 21 時間（講義 9.5 時間、演習 11.5 時間）

※実施予定時刻 第1日目 10：00～18：25 交流会（自由参加）18：45～20：00

第2日目 9：00～18：50 テーマ別交流会（自由参加）19：00～20：00

第3日目 9：00～17：00

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （高橋、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

生活困窮者自立支援制度人材養成研修（厚生労働省委託事業）

平成 28 年度 就労準備支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の概要

生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業において配置される就労準備支援担当者を対象とした養成研修を実施します。

2. 日程・定員・会場

研修名	日程	定員	会場
就労準備支援事業従事者養成研修	9月26日(月)～9月29日(木)	120名	タイム24ビル

<会場>

タイム24ビル HALL 1 (1階)

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32

TEL:03-5531-0024 FAX:03-5531-0025

※アクセスについては

web サイト(<http://www.tokyo-bigsight.co.jp/time/access/index.html>)でご確認ください。

3. 受講対象

就労準備支援事業において就労準備支援担当者として配置されている者。

なお、対象者の選定に当たっては、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー等の資格を有する者や就労支援業務に従事している者（これまで従事していた者も含む。）など、生活困窮者への就労支援を適切に行うことができる人材が望ましい。

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成28年4月1日付社援発0401第9号厚生労働省社会・援護局長通知）
- ・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」（平成28年4月21日付厚生労働省事務連絡）

4. 研修内容

就労準備支援事業従事者養成研修カリキュラム（別表1）により構成されています。

※カリキュラムの詳細は、改めてメールでご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 受講料

無料

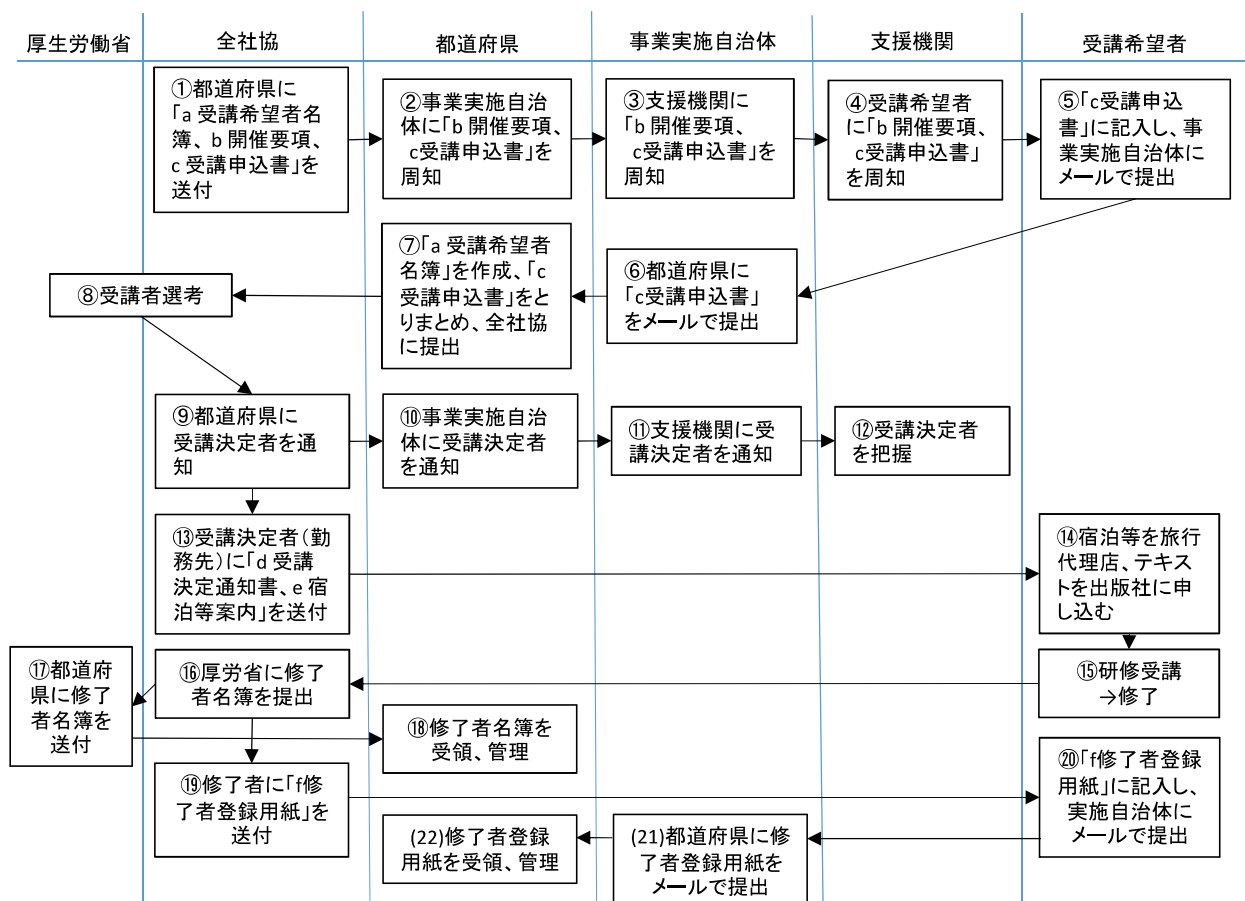
※交通費、食事代、宿泊費、交流会参加費（研修会1日目、希望者のみ）は負担ください。

なお、旅費及び宿泊費については、事業対象経費として支出が可能とされています（厚生労働省社会・援護局長通知参照）。

6. テキスト

有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。

7. 申込みから受講までの流れ



※次のページの【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

7-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：平成28年6月23日（木））【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」（7月上旬予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 研修終了後、修了者名簿および修了者登録用紙を受領し管理【⑱, (22)】

7-2. 事業実施自治体

- (1) 支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）（5月下旬予定）【⑪】
- (4) 研修終了後、修了者登録用紙を受領し都道府県に提出【(21)】

7-3. 支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

7-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】
 - ※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、支援機関経由でメールにてお送りします。
 - ※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。
 - ※受講申込書のファイル名は、「別添1」受講申込書 就労準備（フルネームを漢字で記入）の1つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。
 - ※「別添2」受講申込書 就労準備（記入例）をご参照ください。
- (2) 受講決定後、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：7月中旬予定）【⑭】
 - ※受講決定通知、テキスト、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（7月上旬予定）。
 - ※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。
 - ※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、支援機関にも通知します。
- (3) 研修終了後、全社協から送付する「修了者登録用紙（自宅住所を記入）」に記入して、事業実施自治体にメールで提出【⑳】

8. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。
- (2) 修了要件は以下のとおりです。
 - ①すべての科目に出席すること。

- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。
 (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

別表1 就労準備支援事業従事者養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
生活困窮者自立支援制度と就労準備支援事業の基本的な考え方について	生活困窮者自立支援制度及び就労準備支援事業の目的と必要性を理解する。	講義：1時間 演習：0.5時間
就労準備支援担当者の役割と基本姿勢について	就労準備支援担当者に求められる基本理念や責務、役割について理解する。	演習：2時間
本人の状態像に応じた支援のあり方について	多様な課題や社会的背景を抱える就労準備支援事業の対象者像に応じた支援のあり方について理解する。	講義：3時間
支援に向けたインテークとアセスメントのあり方と就労準備支援プログラムの作成について	支援にあたっての視点を理解するとともに、就労準備支援プログラムの策定方法等について理解する。	講義：1時間 演習：3時間
支援関係の構築について	支援プロセスにおいて支援関係の構築の重要性を理解するとともに、演習を通じて支援手法を理解する。	講義：1時間 演習：3.5時間
支援プログラム・メニューの開発について	多様な支援メニューの準備と開発の必要性やその方法について理解する。	講義：1時間 演習：2時間
ハローワークとの連携について	ハローワークの役割や職業紹介の考え方などについて理解する。	講義：1時間
研修全体のまとめ	研修全体の振り返りを実施し、就労準備支援事業と担当者の役割の再認識を行う。	演習：2時間

※計 21 時間（講義 8 時間、演習 13 時間）

※実施予定時刻 第1日目 13：30～17：25 交流会（自由参加）17：45～18：45

第2日目 9：30～18：20

第3日目 9：30～18：30

第4日目 9：30～12：50

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （高橋（広）、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9：30～17：30 土日祝日休業

生活困窮者自立支援制度人材養成研修（厚生労働省委託事業）

平成 28 年度 家計相談支援事業従事者養成研修

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

1. 研修の概要

生活困窮者自立支援制度の家計相談支援事業において配置される家計相談支援員を対象とした養成研修を実施します。同じ内容の研修を 2 回実施します。

2. 日程・定員・会場

研修名	日程	定員	会場
第1回 養成研修	7月26日(火)～ 7月29日(金)	60名	全社協・会議室
第2回 養成研修	12月19日(月)～ 12月22日(木)	60名	全社協・会議室

<会場>

全国社会福祉協議会（5階 会議室）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

※アクセスについては

web サイト（<http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html>）でご確認ください。

3. 受講対象

家計相談支援事業において家計相談支援員として配置されている者。

なお、対象者の選定に当たっては、相談支援に関わる知識・技術、家計管理に関わる知識・技術、社会保障制度や金融に関わる知識等を有していることが必要であり、以下の①から⑤のような人材が考えられる。

- ① 消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー又は消費生活コンサルタントの資格を有する者
- ② 社会福祉士の資格を有する者
- ③ 社会保険労務士の資格を有する者
- ④ ファイナンシャルプランナーの資格を有する者
- ⑤ 上記①～④に掲げる者と同等の能力または実務経験を有する者

※受講者は選考を行い決定します。選考は下記に基づいて行われます。

・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 28 年 4 月 1 日付社援発 0401 第 9

号厚生労働省社会・援護局長通知)

・「生活困窮者自立支援制度人材養成研修の開催について」(平成 28 年 4 月 21 日付厚生労働省事務連絡)

4. 研修内容

家計相談支援事業従事者養成研修カリキュラム(別表 1)により構成されています。

※カリキュラムの詳細は、改めてメールでご案内します。なお、内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

5. 受講料

無料

※交通費、食事代、宿泊費、交流会参加費(研修会 1 日目、希望者のみ)は負担ください。

なお、旅費及び宿泊費については、事業対象経費として支出が可能とされています(厚生労働省社会・援護局長通知参照)。

6. テキストおよびノートパソコンについて

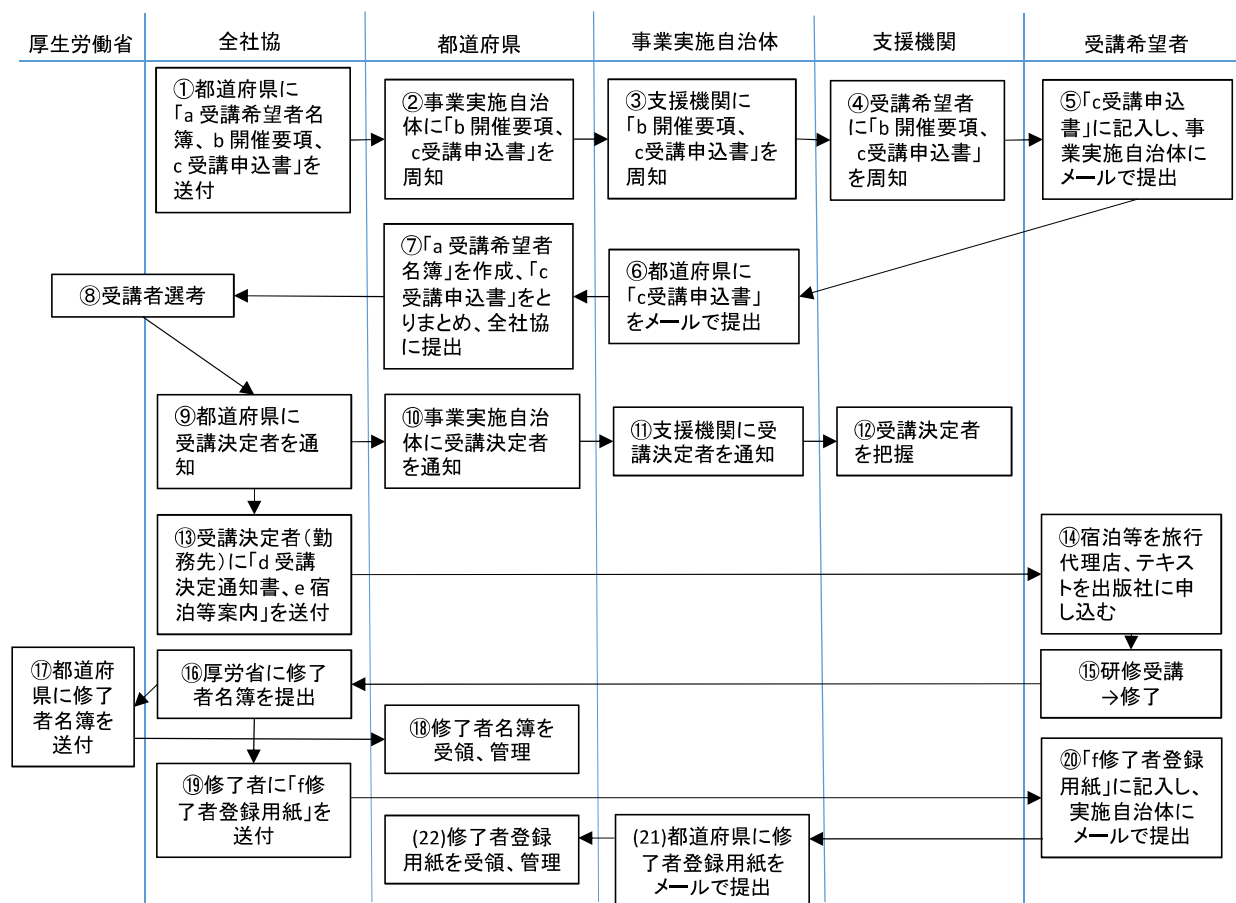
(1) 有償の書籍をテキストとして使用することは予定しておりません。

(2) 第 3 日目においてノートパソコン(Microsoft Word、Microsoft Excel を使用)を使用します。

持参できない方には、レンタルサービスを提供する予定です。

※詳細は受講決定通知にてご案内いたします。

7. 申込みから受講までの流れ



※ 【】内の数字は上記「申込みから受講までの流れ」の図の番号と一致します。

7-1. 都道府県

- (1) 事業実施自治体に開催要項、受講申込書をメールで送付【②】
- (2) 記入済み受講申込書に基づいて受講希望者を集約し、受講希望者名簿を作成、受講申込書と併せて全社協にメールで提出（締切日：平成28年6月23日（木））【⑦】
- (3) 全社協から送られる「受講決定者名簿」（7月上旬予定）に基づき、事業実施自治体に受講決定者を通知【⑩】
- (4) 研修終了後、修了者名簿および修了者登録用紙を受領し管理【⑱, (22)】

7-2. 事業実施自治体

- (1) 支援機関に開催要項、受講申込書をメールで送付（直営の場合は受講者に周知）【③】
- (2) 受講希望者から記入済み受講申込書を受領し、都道府県にメールで提出【⑥】
- (3) 支援機関に受講決定者を通知（直営の場合は受講者に通知）（5月下旬予定）【⑪】
- (4) 研修終了後、修了者登録用紙を受領し都道府県に提出【(21)】

7-3. 支援機関

- (1) 受講希望者に開催要項、受講申込書を周知【④】
- (2) 受講決定者を把握【⑫】

7-4. 受講希望者

- (1) 記入した受講申込書をメールにて事業実施自治体に提出【⑤】

※受講申込書は都道府県、事業実施自治体、支援機関経由でメールにてお送りします。

※受講申込書は受講者選考や研修のグループ編成に使用します。

※受講申込書のファイル名は、「**別添3**受講申込書 家計（フルネームを漢字で記入）」の1つ目のカッコ内を受講する研修の種類のみに変更し、2つ目のカッコ内を受講希望者のフルネーム（漢字）に変更してご提出ください。

※「**別添4**受講申込書 家計（記入例）」をご参照ください。

- (2) 受講決定後、食事、宿泊、交流会の申し込み（締切日：7月中旬予定）【⑭】

※受講決定通知、テキスト、宿泊等の案内は全社協より直接、受講希望者に通知します（7月上旬予定）。

※研修を受講できるのは受講決定通知書を受け取った方のみです。

※受講決定者は別途、都道府県、事業実施自治体、支援機関にも通知します。

- (3) 研修修了後、全社協から送付する「修了者登録用紙（自宅住所を記入）」に記入して、事業実施自治体にメールで提出【⑳】

8. 修了証書の交付

- (1) 所定の修了要件を満たした方には「修了証書」を交付します。

- (2) 修了要件は以下のとおりです。

①すべての科目に出席すること。

- (3) 修了証書は、研修終了時に受講者本人にお渡しします。

- (4) 都道府県には、厚生労働省から修了者名簿をお送りします。

別表 1 家計相談支援事業従事者養成研修カリキュラム

科目	目標	形式・時間数
家計相談支援の基本的な考え方について	家計相談支援事業の目的や必要性、支援の流れなどを理解する。	講義：1時間
家計相談支援員の基本姿勢と役割について	生活困窮者の状況の理解と、家計相談支援員に求められる倫理・責務・役割を理解する。	講義：0.5時間
利用できる制度および多重・過剰債務の解決方法の理解について	債務整理等の基礎知識やその要因、活用できる各種制度等について理解する。	講義：2時間
相談者像の理解について	相談者が抱える課題や社会的背景を理解し、家計相談支援事業の対象となる相談者像について理解する。	講義：0.5時間 演習：0.5時間
家計相談支援の基本的な考え方と相談の流れについて	初回面接から終結に至るまでの一連の流れ、家計相談支援における基本的対応方法等について理解する。	講義：2時間 演習：2.5時間
家計相談支援の失敗事例の検討について	事例を通して、相談時の注意点や面接の過程で配慮すべき支援員の姿勢について理解する。	講義：0.5時間 演習：0.5時間
家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表等の作成について	家計表やキャッシュフロー表等にもとづき、家計管理の方法等について理解や家計再生プランの書き方等について理解する。	講義：4.5時間 演習：6.5時間

※計 21 時間（講義 11 時間、演習 10 時間）

※実施予定時刻 第 1 日目 13：20～17：10 交流会（自由参加）17：15～18：15

第 2 日目 9：30～18：20

第 3 日目 9：30～18：30

第 4 日目 9：00～12：50

内容と時刻は予定であり、変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

<個人情報の取り扱いについて>

受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。

<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<本件に関する連絡・お問い合わせ先>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部 （高橋（広）、三輪）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4655 FAX03-3581-7858 メールアドレス z-jiritsu@shakyo.or.jp

受付時間 9:30~17:30 土日祝日休業

平成 28 年度 生活困窮者自立支援制度人材養成研修（厚生労働省委託事業）

都道府県研修に係る担当者研修 開催要項

1. 目的

法施行から一定期間経過後、都道府県が主体となって自立相談支援機関の支援員の修了者要件となる研修を開催することとなります。そこで、都道府県研修の内容の充実を図るため、効果的な都道府県研修の企画検討に関して、研修の企画立案・運営に携わり中核的な役割を担う者を養成することを目的に開催します。

2. 日程 平成 29 年 2 月 3 日（金）

3. 会場 全国社会福祉協議会 灘尾ホール

（〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階）

4. 参加対象

都道府県研修の企画検討メンバーおよび予定者 ※主に①又は②を想定。

①都道府県の研修担当者

②国が実施する研修の修了者（条件：平成 26-28 年度自立相談支援事業従事者養成研修を含めた各種国研修の修了者）

③その他、都道府県研修の企画立案や実施に関わる者。

5. 定員 140 名程度

※原則として各都道府県から 3 名まで申込み可能（都道府県の研修担当者が 1 名以上いることが望ましい）

※参加対象者かつ貴都道府県において 3 名までの申込みの場合、受講選考から漏れることはございません。

6. 受講料 無料

※食事代は負担ください。なお、旅費及び宿泊費については、事業の対象経費として支出が可能とされています（「生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業の実施について」（平成 28 年 4 月 1 日付社援発 0401 第 9 号厚生労働省社会・援護局長通知 参照）。

※昼食・宿泊の斡旋はございません。

7. 申込みについて

(1) 都道府県担当者の方へ

- ①受講希望者から提出される「受講申込書」に基づいて「受講希望者名簿」を作成し、受講申込書と併せて全社協にメールで提出してください。(締切日：平成29年1月23日(月)13:00まで)
- ②全社協から送られる「受講決定者名簿」に基づき、事業実施自治体にも受講決定者を通知してください。なお、受講が決定した方に限り、全社協から個別に受講決定通知(受講票)を送付します。

(2) 受講希望者の方へ

- ①都道府県担当者から送られる開催要項に添付の「受講申込書(Excelファイル)」に記入のうえ、都道府県担当者にメールで提出してください。
 - ②受講が決定次第、全社協から受講決定通知(受講票)をお送りします。
- ※都道府県担当者の方が受講される場合も必ず記入してください。
- ※受講申込書は受講者選考や受講決定通知(受講票)の送付、研修のグループ編成に使用します。

8. プログラム

10:30~11:00 (30分)	受付
11:00~11:15 (15分)	<u>挨拶・オリエンテーション</u> 厚生労働省、全国社会福祉協議会
11:15~12:15 (60分)	<u>都道府県における研修の取り組み事例紹介</u> 発表者：埼玉県 福祉部 社会福祉課 主幹 服部 孝 氏 宮城県 保健福祉部 社会福祉課 主事 木村 秀和 氏 コーディネーター：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室 自立支援企画調整官 鍋木 奈津子 氏
12:15~13:15 (60分)	昼食休憩
13:15~16:30 研修 (180分) 途中休憩(15分)	<u>研修の企画立案について</u> 講師：九州大学 客員准教授 加留部 貴行 氏 自立相談支援事業従事者養成研修の研修企画委員を担当。 <ねらい> 効果的な企画立案・運営の方法やポイントを学び、 <u>すぐに都道府県研修の開催に生かせる実践的な内容を学ぶ。</u> <到達目標> 1. 研修の企画立案・運営の方法を理解する。 2. 自らの研修企画を見直し、よりよいものにする。 3. 今後の研修の実施に向けて、「具体的に取り組むこと」を明確にする。
16:30~16:40 (10分)	アンケート記入、事務連絡等
16:50~17:50 (60分)	個別相談会（任意参加）…加留部先生に相談・質問することができます。

※プログラムの内容については、現時点における予定であることから、今後、変更となる場合があります。

9. 個人情報の取り扱いについて

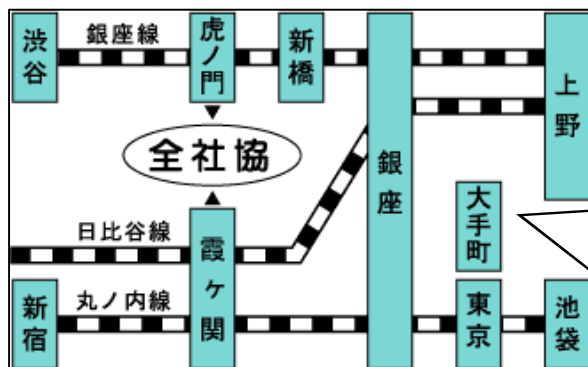
受講者及び申込者の皆様に関する個人情報は、研修事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

ご不明な点等ございましたら、全国社会福祉協議会地域福祉部までご連絡ください
全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、全社協ホームページに記載しています。
全社協ホームページ：<http://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

<会場のご案内>



<交通機関のご案内>



- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より 徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線 「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 地下鉄千代田線／丸の内線 「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

※アクセスはweb サイト (<http://www.shakyo.or.jp/jncsw/access.html>) でもご確認いただけます。

【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 地域福祉部 (担当: 三輪、高橋)
 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
 TEL: 03-3581-4655 FAX: 03-3581-7858
 E-Mail: z-jiritsu@shakyo.or.jp
 受付時間 平日 9:30~17:30 土日祝日休業

修了証書（ひな形）

修了証書

平成●●年度
自立相談支援事業従事者養成研修
【●●支援員養成研修】

修了番号 << 修了番号 >>

<< 氏名 >> 殿

<< 生年月日 >> 生

貴殿はこの度 厚生労働省委託の
自立相談支援事業従事者養成研修
●●支援員養成研修を受講し所定の
課程を修了したことを証する

平成●●年●●月●●日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

会長 斎藤 十郎

